

土木関係積算標準・積算要領

6 - 5

(役 務 編)

新 旧 対 照 表

令和元年版

(令和元年9月)

ページ	改正	現行
目次-4	測量業務参考資料	測量業務参考資料
	目次	目次
	第1編 総則	第1編 総則
	第1章 総則	第1章 総則
	第1節 用語の定義…………… 参 1-1-1	第1節 用語の定義…………… 参 1-1-1
	第2節 設計等における数値の扱い…………… 参 1-1-1	第2節 設計等における数値の扱い…………… 参 1-1-1
	2-1 積算における価格等の扱い…………… 参 1-1-1	2-1 積算における価格等の扱い…………… 参 1-1-1
	2-2 端数処理等の方法…………… 参 1-1-1	2-2 端数処理等の方法…………… 参 1-1-1
	第2章 積算基準	第2章 積算基準
	第1節 積算基準…………… 参 1-2-1	第1節 積算基準…………… 参 1-2-1
	1-1 技術者の職種区分…………… 参 1-2-1	1-1 技術者の職種区分…………… 参 1-2-1
	1-2 工期の算定…………… 参 1-2-1	1-2 工期の算定…………… 参 1-2-1
	1-3 旅費交通費…………… 参 1-2-2	1-3 旅費交通費…………… 参 1-2-2
	1-3-1 旅費交通費の率を用いた積算 …………… 参 1-2-2	1-3-1 <u>通勤及び宿泊の区分</u> …………… 参 1-2-2
	1-3-2 旅費交通費の率を用いない積算 …………… 参 1-2-2	1-3-2 <u>旅費交通費の扱い</u> …………… 参 1-2-2
	1-3-3 旅費交通費の構成…………… 参 1-2-4	1-3-3 旅費交通費の構成…………… 参 1-2-3
	1-3-4 旅費交通費積算例…………… 参 1-2-4	1-3-4 旅費交通費積算例…………… 参 1-2-3
	1-3-5 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定…………… 参 1-2-6	1-3-5 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定…………… 参 1-2-5
	1-4 打合せ…………… 参 1-2-6	1-4 打合せ…………… 参 1-2-5
	1-5 技術者単価…………… 参 1-2-6	1-5 技術者単価…………… 参 1-2-5
	1-6 技術者基準日額時間外手当の算出…………… 参 1-2-7	1-6 技術者基準日額時間外手当の算出…………… 参 1-2-6
	1-7 精度管理費係数の適用…………… 参 1-2-7	1-7 精度管理費係数の適用…………… 参 1-2-6
	1-8 諸経費率の扱い…………… 参 1-2-7	1-8 諸経費率の扱い…………… 参 1-2-6
	1-8-1 諸経費率の適用…………… 参 1-2-7	1-8-1 諸経費率の適用…………… 参 1-2-6
	1-8-2 近接して発注する場合…………… 参 1-2-7	1-8-2 近接して発注する場合…………… 参 1-2-6
	第2編 測量業務	第2編 測量業務
	第1章 測量業務積算基準	第1章 測量業務積算基準
	第1節 測量業務積算基準…………… 参 2-1-1	第1節 測量業務積算基準…………… 参 2-1-1
	1-1 測量成果の検定…………… 参 2-1-1	1-1 測量成果の検定…………… 参 2-1-1
	1-1-1 成果検定の対象…………… 参 2-1-1	1-1-1 成果検定の対象…………… 参 2-1-1
	1-1-2 成果検定機関との成果の受渡し…………… 参 2-1-2	1-1-2 成果検定機関との成果の受渡し…………… 参 2-1-2
	1-1-3 成果検定料金…………… 参 2-1-2	1-1-3 成果検定料金…………… 参 2-1-2
	1-2 標準歩掛上の率計上費目…………… 参 2-1-2	1-2 標準歩掛上の率計上費目…………… 参 2-1-2
	1-3 全体計画及び現地踏査…………… 参 2-1-2	1-3 全体計画及び現地踏査…………… 参 2-1-2
	1-4 地域差による変化率適用区分…………… 参 2-1-2	1-4 地域差による変化率適用区分…………… 参 2-1-2

ページ	改正	現行																																																																																	
1-1-2	<p>1-3 測量業務費</p> <p>1-3-1 工事工種体系の構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>工種</th> <th>種別</th> <th>細別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">測量業務</td> <td rowspan="15">基準点測量</td> <td>基準点測量</td> <td rowspan="15">「工事工種体系の構成表」による</td> </tr> <tr> <td>基準点設置</td> </tr> <tr> <td>水準測量</td> <td>1～4級水準測量</td> </tr> <tr> <td>水準点設置</td> </tr> <tr> <td>路線測量</td> <td>路線測量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">空中写真測量</td> <td>撮影(デジタル)</td> </tr> <tr> <td>標定点及び同時調整</td> </tr> <tr> <td>数値図化</td> </tr> <tr> <td>現地測量</td> <td>現地測量</td> </tr> <tr> <td>航空レーザー測量</td> <td>航空レーザー測量</td> </tr> <tr> <td>三次元点群測量</td> <td>UAV写真測量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地上レーザー測量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測量業務共通</td> <td>直接経費</td> </tr> <tr> <td>技術管理費</td> </tr> <tr> <td>直接費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸経費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務価格</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税相当額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	工種	種別	細別	測量業務	基準点測量	基準点測量	「工事工種体系の構成表」による	基準点設置	水準測量	1～4級水準測量	水準点設置	路線測量	路線測量	空中写真測量	撮影(デジタル)	標定点及び同時調整	数値図化	現地測量	現地測量	航空レーザー測量	航空レーザー測量	三次元点群測量	UAV写真測量		地上レーザー測量	測量業務共通	直接経費	技術管理費	直接費		諸経費		業務価格		消費税相当額		業務費		<p>1-3 測量業務費</p> <p>1-3-1 工事工種体系の構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>工種</th> <th>種別</th> <th>細別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">測量業務</td> <td rowspan="15">基準点測量</td> <td>基準点測量</td> <td rowspan="15">「工事工種体系の構成表」による</td> </tr> <tr> <td>基準点設置</td> </tr> <tr> <td>水準測量</td> <td>1～4級水準測量</td> </tr> <tr> <td>水準点設置</td> </tr> <tr> <td>路線測量</td> <td>路線測量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">空中写真測量</td> <td>撮影(デジタル)</td> </tr> <tr> <td>標定点及び同時調整</td> </tr> <tr> <td>数値図化</td> </tr> <tr> <td>現地測量</td> <td>現地測量</td> </tr> <tr> <td>航空レーザー測量</td> <td>航空レーザー測量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(追加)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(追加)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(追加)</td> </tr> <tr> <td>測量業務共通</td> <td>直接経費</td> </tr> <tr> <td></td> <td>技術管理費</td> </tr> <tr> <td>直接費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸経費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務価格</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費税相当額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	工種	種別	細別	測量業務	基準点測量	基準点測量	「工事工種体系の構成表」による	基準点設置	水準測量	1～4級水準測量	水準点設置	路線測量	路線測量	空中写真測量	撮影(デジタル)	標定点及び同時調整	数値図化	現地測量	現地測量	航空レーザー測量	航空レーザー測量		(追加)		(追加)		(追加)	測量業務共通	直接経費		技術管理費	直接費		諸経費		業務価格		消費税相当額		業務費	
区分	工種	種別	細別																																																																																
測量業務	基準点測量	基準点測量	「工事工種体系の構成表」による																																																																																
		基準点設置																																																																																	
		水準測量		1～4級水準測量																																																																															
		水準点設置																																																																																	
		路線測量		路線測量																																																																															
		空中写真測量		撮影(デジタル)																																																																															
				標定点及び同時調整																																																																															
				数値図化																																																																															
		現地測量		現地測量																																																																															
		航空レーザー測量		航空レーザー測量																																																																															
		三次元点群測量		UAV写真測量																																																																															
				地上レーザー測量																																																																															
		測量業務共通		直接経費																																																																															
				技術管理費																																																																															
		直接費																																																																																	
諸経費																																																																																			
業務価格																																																																																			
消費税相当額																																																																																			
業務費																																																																																			
区分	工種	種別	細別																																																																																
測量業務	基準点測量	基準点測量	「工事工種体系の構成表」による																																																																																
		基準点設置																																																																																	
		水準測量		1～4級水準測量																																																																															
		水準点設置																																																																																	
		路線測量		路線測量																																																																															
		空中写真測量		撮影(デジタル)																																																																															
				標定点及び同時調整																																																																															
				数値図化																																																																															
		現地測量		現地測量																																																																															
		航空レーザー測量		航空レーザー測量																																																																															
				(追加)																																																																															
				(追加)																																																																															
				(追加)																																																																															
		測量業務共通		直接経費																																																																															
				技術管理費																																																																															
直接費																																																																																			
諸経費																																																																																			
業務価格																																																																																			
消費税相当額																																																																																			
業務費																																																																																			

ページ	改正	現 行
1-1-3	<p>1-3-2 測量業務費構成費目の内容</p> <p>(1) 測量作業費 測量作業費は、当該測量業務に要する費用である。</p> <p>①直接測量費 直接測量費は、次の各項目について計上する。</p> <p>1)直接人件費 業務に従事する者の人件費である。なお、名称及びその基準日額等は、別途定める。</p> <p>2)材料費 材料費は、業務を実施するのに要する材料の費用である。</p> <p>3)機械経費 機械経費は、業務に使用する機械に要する費用である。</p> <p>4)直接経費 ア. 旅費交通費 業務にかかる旅費・交通費を計上する。 イ. 基地関係費 基地関係費は、業務を実施するための基地設置又は使用に要する費用である。 ウ. 安全費 安全費は業務における安全対策に要する費用である。 エ. 電子成果品作成費 電子成果品作成費は、電子成果品作成費に要する費用を計上する。 オ. その他 器材運搬、伐木補償、車借上料等に要する費用を計上する。</p>	<p>1-3-2 測量業務費構成費目の内容</p> <p>(1) 測量作業費 測量作業費は、当該測量業務に要する費用である。</p> <p>①直接測量費 直接測量費は、次の各項目について計上する。</p> <p>1)直接人件費 業務に従事する者の人件費である。なお、名称及びその基準日額等は、別途定める。</p> <p>2)材料費 材料費は、業務を実施するのに要する材料の費用である。</p> <p>3)機械経費 機械経費は、業務に使用する機械に要する費用である。</p> <p>4)直接経費 ア. 旅費交通費 業務にかかる旅費・交通費であり、別に定める宿泊費及び日当により積算する。 ただし、空中写真測量及び航空レーザ測量の場合は撮影・計測に関する者の往復交通費は、本拠飛行場から前進基地までとする。操縦及び整備に関する者の往復交通費は計上しない。 イ. 基地関係費 基地関係費は、業務を実施するための基地設置又は使用に要する費用である。 ウ. 安全費 安全費は業務における安全対策に要する費用である。 エ. 電子成果品作成費 電子成果品作成費は、電子成果品作成費に要する費用を計上する。 オ. その他 器材運搬、伐木補償、車借上料等に要する費用を計上する。</p>

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																				
1-2-32	<p>5-1-7 旅費交通費等 撮影・計測に関する者の往復交通費は、本拠地飛行場から前進飛行場までとする。操縦及び整備に関する者の往復交通費は計上しない。 前進飛行場を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場～前進飛行場までの公共交通機関による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。</p>	<p>5-1-7 旅費交通費等 前進飛行場を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場～前進飛行場までの公共交通機関による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。</p>																																																																																																																																																																																																				
1-2-37	<p>5-3-2 標定点測量 (1) 標準歩掛等 本歩掛の適用範囲は、設置点数80点以下とする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">標準作業量</th> <th rowspan="2">作業工程</th> <th colspan="5">所要日数</th> <th rowspan="2">内外業の別</th> <th colspan="5">編 成</th> <th colspan="5">延 人 日 数</th> </tr> <tr> <th>測量主任技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> <th>測量主任技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> <th>計</th> <th>測量主任技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5点</td> <td rowspan="2">標定点測量</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td><td></td> <td>内</td> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>3</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td>2.5</td> </tr> <tr> <td>3.0</td><td>3.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td> <td>外</td> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>3</td> <td>3.0</td><td>3.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td>8.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td>11.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 機械経費、通信運搬費等、材料費については、「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。</p>	標準作業量	作業工程	所要日数					内外業の別	編 成					延 人 日 数					測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	5点	標定点測量	1.0	1.0	0.5			内	1	1	1		3	1.0	1.0	0.5						2.5	3.0	3.0	2.5			外	1	1	1		3	3.0	3.0	2.5						8.5	合計		4.0	4.0	3.0								4.0	4.0	3.0						11.0	<p>5-3-2 標定点測量 (1) 標準歩掛等 本歩掛の適用範囲は、設置点数80点以下とする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">標準作業量</th> <th rowspan="2">作業工程</th> <th colspan="5">所要日数</th> <th rowspan="2">内外業の別</th> <th colspan="5">編 成</th> <th colspan="5">延 人 日 数</th> </tr> <tr> <th>測量主任技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> <th>測量主任技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> <th>計</th> <th>測量主任技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5点</td> <td rowspan="2">標定点測量</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td><td></td> <td>内</td> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>3</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td>2.5</td> </tr> <tr> <td>3.0</td><td>3.0</td><td>2.5</td><td>1.5</td><td></td> <td>外</td> <td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>3</td> <td>3.0</td><td>3.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td>8.5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td>11.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。 2. 機械経費、通信運搬費等、材料費については、「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。</p>	標準作業量	作業工程	所要日数					内外業の別	編 成					延 人 日 数					測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	5点	標定点測量	1.0	1.0	0.5			内	1	1	1		3	1.0	1.0	0.5						2.5	3.0	3.0	2.5	1.5		外	1	1	1		3	3.0	3.0	2.5						8.5	合計		4.0	4.0	3.0								4.0	4.0	3.0						11.0
標準作業量	作業工程			所要日数						内外業の別	編 成					延 人 日 数																																																																																																																																																																																						
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	測量主任技師	測量技師	測量技師補		測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計																																																																																																																																																																																			
5点	標定点測量	1.0	1.0	0.5			内	1	1	1		3	1.0	1.0	0.5						2.5																																																																																																																																																																																	
		3.0	3.0	2.5			外	1	1	1		3	3.0	3.0	2.5						8.5																																																																																																																																																																																	
合計		4.0	4.0	3.0								4.0	4.0	3.0						11.0																																																																																																																																																																																		
標準作業量	作業工程	所要日数					内外業の別	編 成					延 人 日 数																																																																																																																																																																																									
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計																																																																																																																																																																																			
5点	標定点測量	1.0	1.0	0.5			内	1	1	1		3	1.0	1.0	0.5						2.5																																																																																																																																																																																	
		3.0	3.0	2.5	1.5		外	1	1	1		3	3.0	3.0	2.5						8.5																																																																																																																																																																																	
合計		4.0	4.0	3.0								4.0	4.0	3.0						11.0																																																																																																																																																																																		

ページ	改正																	現行																						
1-2-45	6-1-2 現地測量 (S=1/500) (1) 標準歩掛等																	6-1-2 現地測量 (S=1/500) (1) 標準歩掛等																						
標準 作業量	作業工程	所要日数					内外業の別	編成					延人日数					標準 作業量	作業工程	所要日数					内外業の別	編成					延人日数									
		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員		測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手			測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補		測量助手	測量補助員	計	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	計						
縮尺 1/500 0.1 km ²	作業計画	0.3	0.2	0.2			内	1	1	1			3	0.3	0.2	0.2			0.7	作業計画	0.3	0.2	0.2			内	1	1	1			3	0.3	0.2	0.2			0.7		
	細部測量		6.1	9.4	8.2			外		1	1	1		3		6.1	9.4	8.2		23.7	細部測量		6.1	9.4	8.2			外		1	1	1		3		6.1	9.4	8.2		23.7
					3.1			内			1			1			3.1			3.1					3.1			内			1			1			3.1			3.1
	数値編集		1.5	3.5			内		1	1			2		1.5	3.5			5.0	数値編集		1.5	3.5			内		1	1			2		1.5	3.5			5.0		
	数値地図 データファイルの作成		1.4	1.2			内		1	1			2		1.4	1.2			2.6	数値地図 データファイルの作成		1.4	1.2			内		1	1			2		1.4	1.2			2.6		
	内 訳	外業計		6.1	9.4	8.2		外								6.1	9.4	8.2		23.7	内 訳	外業計		6.1	9.4	8.2		外								6.1	9.4	8.2		23.7
		内業計	0.3	3.1	8.0			内						0.3	3.1	8.0			11.4	内業計		0.3	3.1	8.0			内						0.3	3.1	8.0			11.4		
合計		0.3	9.2	17.4	8.2								0.3	9.2	17.4	8.2		35.1	合計		0.3	9.2	17.4	8.2								0.3	9.2	17.4	8.2		35.1			
<p>(注) 1. 本表はトータルステーションを用いた細部測量を行う場合に適用するものとし、GNSS 測量機等を用いた細部測量を行う場合には別途計上する。</p> <p>2. 本表は耕地、平地部の標準作業歩掛である。項目「作業計画」については、1業務あたりの人工数と、作業量に基づく人工数を加えて積算するものとする。</p> <p>3. 6-1-2 現地測量については、作業量の補正にあたり、本表の標準歩掛に対して下記補正式により算出した補正係数を乗じて求めるものとする。 なお、補正係数 (y/100) は小数2位 (小数3位四捨五入) まで算出する。 <u>ただし、この式の適用範囲は0.2km²以下とし、適用範囲を超えるものについては別途計上する。</u> 作業量補正式 $y=718.95 \times A + 28.105$ (%) A : 作業量 (km²)</p> <p>4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>5. 地域、地形、縮尺の異なる場合は変化率表を使用するものとする。</p> <p>6. 基準点測量 (基準点の設置) は、別途計上する。</p> <p>7. 機械経費、通信運搬費等、材料費については、「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。</p>																	<p>(注) 1. 本表はトータルステーションを用いた細部測量を行う場合に適用するものとし、GNSS 測量機等を用いた細部測量を行う場合には別途計上する。</p> <p>2. 本表は耕地、平地部の標準作業歩掛である。項目「作業計画」については、1業務あたりの人工数と、作業量に基づく人工数を加えて積算するものとする。</p> <p>3. 6-1-2 現地測量については、作業量の補正にあたり、本表の標準歩掛に対して下記補正式により算出した補正係数を乗じて求めるものとする。<u>ただし、この式の適用範囲は0.2km²以下とする。</u> なお、補正係数 (y/100) は小数2位 (小数3位四捨五入) まで算出する。 <u>また、下記作業量の適用範囲を超えるものについては別途計上する。</u> 作業量補正式 $y=718.95 \times A + 28.105$ (%) <u>ただし、 A : 作業量 (km²)</u></p> <p>4. 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <p>5. 地域、地形、縮尺の異なる場合は変化率表を使用するものとする。</p> <p>6. 基準点測量 (基準点の設置) は、別途計上する。</p> <p>7. 機械経費、通信運搬費等、材料費については、「測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合」に基づき別途計上する。</p>																							

ページ	改正	現行
1-2-51	<p>7-1-12 旅費交通費</p> <p>撮影・計測に関する者の往復交通費は、本拠地飛行場から前進飛行場までとする。操縦及び整備に関する者の往復交通費は計上しない。</p> <p>前進飛行場を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場～前進飛行場までの公共交通機関による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。</p>	<p>7-1-12 旅費交通費</p> <hr/> <p>前進飛行場を利用する場合は、操縦士、整備士各1名につき、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料、撮影士1名につき、本拠飛行場～前進飛行場までの公共交通機関による1往復分の運賃、2日分の基準日額、日当及び1日分の宿泊料を計上するものとする。</p>

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																
1-2-57	<p>第9節 機械経費等</p> <p>9-1 機械経費、通信運搬費等、材料費</p> <p>(1) 測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合</p> <table border="1" data-bbox="302 378 1492 1738"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>作 業 名</th> <th>機械経費率</th> <th>通信運搬費等率</th> <th>材料費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2-1-1</td><td>1級基準点測量 新点5点</td><td>7.0%</td><td>2.0%</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>2-2-1-1</td><td>2級基準点測量 新点10点 伐採有り</td><td>7.0%</td><td>8.0%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-2-1-2</td><td>2級基準点測量 新点10点 伐採なし</td><td>7.5%</td><td>2.0%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-3-1-1</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り</td><td>2.5%</td><td>5.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>2-3-1-2</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし</td><td>2.5%</td><td>5.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>2-3-1-3</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り</td><td>3.0%</td><td>2.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>2-3-1-4</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし</td><td>3.0%</td><td>2.0%</td><td>1.5%</td></tr> <tr><td>2-4-1-1</td><td>4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り</td><td>3.0%</td><td>9.0%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-4-1-2</td><td>4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし</td><td>3.0%</td><td>3.5%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-5-1</td><td>基準点設置 新点10点 地上埋設 (普通)</td><td>1.5%</td><td>3.5%</td><td>15.0%</td></tr> <tr><td>2-5-2</td><td>基準点設置 新点10点 地上埋設 (上面舗装)</td><td>1.5%</td><td>3.5%</td><td>16.0%</td></tr> <tr><td>2-5-3</td><td>基準点設置 新点10点 地下埋設</td><td>1.5%</td><td>3.5%</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>2-5-4</td><td>基準点設置 新点10点 屋上埋設</td><td>2.5%</td><td>2.0%</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>2-5-5</td><td>基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置</td><td>2.5%</td><td>2.5%</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>3-1-1</td><td>水準測量 1級水準測量観測</td><td>6.0%</td><td>1.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>3-1-2</td><td>水準測量 2級水準測量観測</td><td>3.5%</td><td>1.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>3-1-3</td><td>水準測量 3級水準測量観測</td><td>2.5%</td><td>1.0%</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>3-1-4</td><td>水準測量 4級水準測量観測</td><td>2.0%</td><td>1.0%</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>3-2-1</td><td>水準点設置 水準点設置 (永久標識)</td><td>2.5%</td><td>2.0%</td><td>19.5%</td></tr> <tr><td>3-2-2</td><td>水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)</td><td>1.5%</td><td>5.5%</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>4-1-1</td><td>路線測量 作業計画</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>4-1-2</td><td>路線測量 現地踏査</td><td>2.0%</td><td>0.0%</td><td>14.0%</td></tr> <tr><td>4-1-3</td><td>路線測量 伐採</td><td>1.5%</td><td>0.0%</td><td>3.5%</td></tr> </tbody> </table>	作 業	作 業 名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率	2-1-1	1級基準点測量 新点5点	7.0%	2.0%	3.0%	2-2-1-1	2級基準点測量 新点10点 伐採有り	7.0%	8.0%	2.5%	2-2-1-2	2級基準点測量 新点10点 伐採なし	7.5%	2.0%	2.5%	2-3-1-1	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り	2.5%	5.0%	1.0%	2-3-1-2	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし	2.5%	5.0%	1.0%	2-3-1-3	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り	3.0%	2.0%	1.0%	2-3-1-4	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし	3.0%	2.0%	1.5%	2-4-1-1	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り	3.0%	9.0%	2.5%	2-4-1-2	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし	3.0%	3.5%	2.5%	2-5-1	基準点設置 新点10点 地上埋設 (普通)	1.5%	3.5%	15.0%	2-5-2	基準点設置 新点10点 地上埋設 (上面舗装)	1.5%	3.5%	16.0%	2-5-3	基準点設置 新点10点 地下埋設	1.5%	3.5%	11.5%	2-5-4	基準点設置 新点10点 屋上埋設	2.5%	2.0%	10.0%	2-5-5	基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置	2.5%	2.5%	4.0%	3-1-1	水準測量 1級水準測量観測	6.0%	1.0%	1.0%	3-1-2	水準測量 2級水準測量観測	3.5%	1.0%	1.0%	3-1-3	水準測量 3級水準測量観測	2.5%	1.0%	2.0%	3-1-4	水準測量 4級水準測量観測	2.0%	1.0%	4.0%	3-2-1	水準点設置 水準点設置 (永久標識)	2.5%	2.0%	19.5%	3-2-2	水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)	1.5%	5.5%	3.0%	4-1-1	路線測量 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%	4-1-2	路線測量 現地踏査	2.0%	0.0%	14.0%	4-1-3	路線測量 伐採	1.5%	0.0%	3.5%	<p>第9節 機械経費等</p> <p>9-1 機械経費、通信運搬費等、材料費</p> <p>(1) 測量業務標準歩掛における各費目の直接人件費に対する割合</p> <table border="1" data-bbox="1567 378 2757 1738"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>作 業 名</th> <th>機械経費率</th> <th>通信運搬費等率</th> <th>材料費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2-1-1</td><td>1級基準点測量 新点5点</td><td>6.5%</td><td>2.0%</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>2-2-1-1</td><td>2級基準点測量 新点10点 伐採有り</td><td>7.0%</td><td>8.0%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-2-1-2</td><td>2級基準点測量 新点10点 伐採なし</td><td>7.0%</td><td>2.5%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-3-1-1</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り</td><td>2.5%</td><td>5.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>2-3-1-2</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし</td><td>2.5%</td><td>5.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>2-3-1-3</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り</td><td>3.0%</td><td>2.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>2-3-1-4</td><td>3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし</td><td>3.0%</td><td>2.0%</td><td>1.5%</td></tr> <tr><td>2-4-1-1</td><td>4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り</td><td>3.0%</td><td>9.5%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-4-1-2</td><td>4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし</td><td>3.0%</td><td>3.5%</td><td>2.5%</td></tr> <tr><td>2-5-1</td><td>基準点設置 新点10点 地上埋設 (普通)</td><td>1.5%</td><td>3.5%</td><td>15.5%</td></tr> <tr><td>2-5-2</td><td>基準点設置 新点10点 地上埋設 (上面舗装)</td><td>1.5%</td><td>3.5%</td><td>16.5%</td></tr> <tr><td>2-5-3</td><td>基準点設置 新点10点 地下埋設</td><td>1.5%</td><td>3.5%</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>2-5-4</td><td>基準点設置 新点10点 屋上埋設</td><td>2.5%</td><td>2.5%</td><td>10.5%</td></tr> <tr><td>2-5-5</td><td>基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置</td><td>2.5%</td><td>2.5%</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>3-1-1</td><td>水準測量 1級水準測量観測</td><td>5.5%</td><td>1.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>3-1-2</td><td>水準測量 2級水準測量観測</td><td>3.5%</td><td>1.0%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>3-1-3</td><td>水準測量 3級水準測量観測</td><td>2.5%</td><td>1.0%</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>3-1-4</td><td>水準測量 4級水準測量観測</td><td>2.0%</td><td>1.5%</td><td>4.0%</td></tr> <tr><td>3-2-1</td><td>水準点設置 水準点設置 (永久標識)</td><td>2.5%</td><td>2.0%</td><td>20.0%</td></tr> <tr><td>3-2-2</td><td>水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)</td><td>1.5%</td><td>6.0%</td><td>3.5%</td></tr> <tr><td>4-1-1</td><td>路線測量 作業計画</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>4-1-2</td><td>路線測量 現地踏査</td><td>2.5%</td><td>0.0%</td><td>14.5%</td></tr> <tr><td>4-1-3</td><td>路線測量 伐採</td><td>2.0%</td><td>0.0%</td><td>3.5%</td></tr> </tbody> </table>	作 業	作 業 名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率	2-1-1	1級基準点測量 新点5点	6.5%	2.0%	3.0%	2-2-1-1	2級基準点測量 新点10点 伐採有り	7.0%	8.0%	2.5%	2-2-1-2	2級基準点測量 新点10点 伐採なし	7.0%	2.5%	2.5%	2-3-1-1	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り	2.5%	5.0%	1.0%	2-3-1-2	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし	2.5%	5.0%	1.0%	2-3-1-3	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り	3.0%	2.0%	1.0%	2-3-1-4	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし	3.0%	2.0%	1.5%	2-4-1-1	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り	3.0%	9.5%	2.5%	2-4-1-2	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし	3.0%	3.5%	2.5%	2-5-1	基準点設置 新点10点 地上埋設 (普通)	1.5%	3.5%	15.5%	2-5-2	基準点設置 新点10点 地上埋設 (上面舗装)	1.5%	3.5%	16.5%	2-5-3	基準点設置 新点10点 地下埋設	1.5%	3.5%	11.5%	2-5-4	基準点設置 新点10点 屋上埋設	2.5%	2.5%	10.5%	2-5-5	基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置	2.5%	2.5%	4.0%	3-1-1	水準測量 1級水準測量観測	5.5%	1.0%	1.0%	3-1-2	水準測量 2級水準測量観測	3.5%	1.0%	1.0%	3-1-3	水準測量 3級水準測量観測	2.5%	1.0%	2.0%	3-1-4	水準測量 4級水準測量観測	2.0%	1.5%	4.0%	3-2-1	水準点設置 水準点設置 (永久標識)	2.5%	2.0%	20.0%	3-2-2	水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)	1.5%	6.0%	3.5%	4-1-1	路線測量 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%	4-1-2	路線測量 現地踏査	2.5%	0.0%	14.5%	4-1-3	路線測量 伐採	2.0%	0.0%	3.5%
作 業	作 業 名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率																																																																																																																																																																																																																																														
2-1-1	1級基準点測量 新点5点	7.0%	2.0%	3.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-2-1-1	2級基準点測量 新点10点 伐採有り	7.0%	8.0%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-2-1-2	2級基準点測量 新点10点 伐採なし	7.5%	2.0%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-1	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り	2.5%	5.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-2	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし	2.5%	5.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-3	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り	3.0%	2.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-4	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし	3.0%	2.0%	1.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-4-1-1	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り	3.0%	9.0%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-4-1-2	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし	3.0%	3.5%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-1	基準点設置 新点10点 地上埋設 (普通)	1.5%	3.5%	15.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-2	基準点設置 新点10点 地上埋設 (上面舗装)	1.5%	3.5%	16.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-3	基準点設置 新点10点 地下埋設	1.5%	3.5%	11.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-4	基準点設置 新点10点 屋上埋設	2.5%	2.0%	10.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-5	基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置	2.5%	2.5%	4.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-1	水準測量 1級水準測量観測	6.0%	1.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-2	水準測量 2級水準測量観測	3.5%	1.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-3	水準測量 3級水準測量観測	2.5%	1.0%	2.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-4	水準測量 4級水準測量観測	2.0%	1.0%	4.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-2-1	水準点設置 水準点設置 (永久標識)	2.5%	2.0%	19.5%																																																																																																																																																																																																																																														
3-2-2	水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)	1.5%	5.5%	3.0%																																																																																																																																																																																																																																														
4-1-1	路線測量 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																																																																																																																																																																														
4-1-2	路線測量 現地踏査	2.0%	0.0%	14.0%																																																																																																																																																																																																																																														
4-1-3	路線測量 伐採	1.5%	0.0%	3.5%																																																																																																																																																																																																																																														
作 業	作 業 名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率																																																																																																																																																																																																																																														
2-1-1	1級基準点測量 新点5点	6.5%	2.0%	3.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-2-1-1	2級基準点測量 新点10点 伐採有り	7.0%	8.0%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-2-1-2	2級基準点測量 新点10点 伐採なし	7.0%	2.5%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-1	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置有り	2.5%	5.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-2	3級基準点測量 新点20点 伐採有り 永久標識設置なし	2.5%	5.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-3	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置有り	3.0%	2.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
2-3-1-4	3級基準点測量 新点20点 伐採なし 永久標識設置なし	3.0%	2.0%	1.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-4-1-1	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採有り	3.0%	9.5%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-4-1-2	4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし 伐採なし	3.0%	3.5%	2.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-1	基準点設置 新点10点 地上埋設 (普通)	1.5%	3.5%	15.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-2	基準点設置 新点10点 地上埋設 (上面舗装)	1.5%	3.5%	16.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-3	基準点設置 新点10点 地下埋設	1.5%	3.5%	11.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-4	基準点設置 新点10点 屋上埋設	2.5%	2.5%	10.5%																																																																																																																																																																																																																																														
2-5-5	基準点設置 新点10点 コンクリート杭設置	2.5%	2.5%	4.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-1	水準測量 1級水準測量観測	5.5%	1.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-2	水準測量 2級水準測量観測	3.5%	1.0%	1.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-3	水準測量 3級水準測量観測	2.5%	1.0%	2.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-1-4	水準測量 4級水準測量観測	2.0%	1.5%	4.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-2-1	水準点設置 水準点設置 (永久標識)	2.5%	2.0%	20.0%																																																																																																																																																																																																																																														
3-2-2	水準点設置 水準点設置 (永久標識以外)	1.5%	6.0%	3.5%																																																																																																																																																																																																																																														
4-1-1	路線測量 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%																																																																																																																																																																																																																																														
4-1-2	路線測量 現地踏査	2.5%	0.0%	14.5%																																																																																																																																																																																																																																														
4-1-3	路線測量 伐採	2.0%	0.0%	3.5%																																																																																																																																																																																																																																														

6-5-1 土木関係外注測量積算要領 【新旧対照表 R元.9】

ページ	改正					現行				
1-2-58	作業	作業名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率	作業	作業名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率
	4-1-4	路線測量 線形決定 (条件点の観測)	2.5%	0.0%	5.5%	4-1-4	路線測量 線形決定 (条件点の観測)	2.5%	0.0%	6.0%
	4-1-5	路線測量 線形決定	1.0%	0.0%	4.0%	4-1-5	路線測量 線形決定	1.0%	0.0%	4.0%
	4-1-6	路線測量 IP設置	2.0%	0.0%	5.5%	4-1-6	路線測量 IP設置	2.5%	0.0%	6.0%
	4-1-7	路線測量 中心線測量	3.0%	0.0%	8.0%	4-1-7	路線測量 中心線測量	3.0%	0.0%	8.5%
	4-1-8	路線測量 仮BM設置測量	2.0%	0.0%	3.5%	4-1-8	路線測量 仮BM設置測量	2.0%	0.0%	3.5%
	4-1-9	路線測量 縦断測量	2.0%	0.0%	4.5%	4-1-9	路線測量 縦断測量	2.0%	0.0%	4.5%
	4-1-10	路線測量 横断測量	2.0%	0.0%	3.5%	4-1-10	路線測量 横断測量	2.0%	0.0%	4.0%
	4-1-11	路線測量 詳細測量 (縦断測量)	2.0%	0.0%	11.0%	4-1-11	路線測量 詳細測量 (縦断測量)	2.0%	0.0%	11.5%
	4-1-12	路線測量 詳細測量 (横断測量)	2.0%	0.0%	6.5%	4-1-12	路線測量 詳細測量 (横断測量)	2.0%	0.0%	7.0%
	4-1-13	路線測量 用地幅杭設置測量	2.5%	0.0%	7.0%	4-1-13	路線測量 用地幅杭設置測量	2.5%	0.0%	7.0%
	5-2-1-1	撮影 撮影 (デジタル) 撮影計画	0.0%	0.0%	0.5%	5-2-1-1	撮影 撮影 (デジタル) 撮影計画	0.0%	0.0%	0.5%
	5-2-1-2	撮影 撮影 (デジタル) 総運航				5-2-1-2	撮影 撮影 (デジタル) 総運航			
	5-2-1-3	撮影 撮影 (デジタル) 撮影				5-2-1-3	撮影 撮影 (デジタル) 撮影			
	5-2-1-4	撮影 撮影 (デジタル) 滞留	0.0%	1.5%	0.0%	5-2-1-4	撮影 撮影 (デジタル) 滞留	0.0%	1.5%	0.0%
	5-2-1-5	撮影 撮影 (デジタル) GNSS/IMU計算	0.5%	0.0%	0.0%	5-2-1-5	撮影 撮影 (デジタル) GNSS/IMU計算	0.5%	0.0%	0.0%
	5-2-1-6	撮影 撮影 (デジタル) 数値写真作成	70.0%	0.0%	11.5%	5-2-1-6	撮影 撮影 (デジタル) 数値写真作成	70.0%	0.0%	12.0%
	5-3-1	標定点及び同時調整 対空標識の設置 (写真縮尺 1/10,000 ~12,500)	1.0%	0.5%	2.5%	5-3-1	標定点及び同時調整 対空標識の設置 (写真縮尺 1/10,000 ~12,500)	1.0%	0.5%	2.5%
	5-3-2	標定点及び同時調整 標定点測量	4.5%	0.0%	0.5%	5-3-2	標定点及び同時調整 標定点測量	4.5%	0.0%	0.5%
	5-3-3	標定点及び同時調整 簡易水準測量	4.0%	0.5%	1.5%	5-3-3	標定点及び同時調整 簡易水準測量	4.0%	0.5%	1.5%
	5-3-4	標定点及び同時調整 同時調整	26.5%	0.0%	0.0%	5-3-4	標定点及び同時調整 同時調整	24.5%	0.0%	0.0%
	5-4-1-1	数値図化 数値図化 レベル1,000 作業計画	0.5%	0.0%	0.0%	5-4-1-1	数値図化 数値図化 レベル1,000 作業計画	0.5%	0.0%	0.0%
	5-4-1-2	数値図化 数値図化 レベル1,000 現地調査	3.0%	1.0%	2.0%	5-4-1-2	数値図化 数値図化 レベル1,000 現地調査	3.0%	1.0%	2.5%
	5-4-1-3	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値図化	28.0%	0.0%	0.5%	5-4-1-3	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値図化	25.5%	0.0%	0.5%
	5-4-1-4	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値編集	8.5%	0.0%	0.5%	5-4-1-4	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値編集	7.5%	0.0%	0.5%
	5-4-1-5	数値図化 数値図化 レベル1,000 補測編集	6.0%	0.5%	3.0%	5-4-1-5	数値図化 数値図化 レベル1,000 補測編集	5.5%	0.5%	3.0%
	5-4-1-6	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値地形図データファイルの作成	10.5%	0.0%	0.0%	5-4-1-6	数値図化 数値図化 レベル1,000 数値地形図データファイルの作成	9.5%	0.0%	0.0%

6-5-1 土木関係外注測量積算要領 【新旧対照表 R元.9】

ページ	改正					現行				
1-2-59	作業	作業名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率	作業	作業名	機械経費率	通信運搬費等率	材料費率
	5-4-2-1	数値図化 数値図化 レベル2,500 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%	5-4-2-1	数値図化 数値図化 レベル2,500 作業計画	0.0%	0.0%	0.0%
	5-4-2-2	数値図化 数値図化 レベル2,500 現地調査	2.0%	0.5%	2.0%	5-4-2-2	数値図化 数値図化 レベル2,500 現地調査	2.5%	0.5%	2.0%
	5-4-2-3	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値図化	39.0%	0.0%	0.5%	5-4-2-3	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値図化	36.0%	0.0%	0.5%
	5-4-2-4	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値編集	9.0%	0.0%	0.0%	5-4-2-4	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値編集	8.0%	0.0%	0.5%
	5-4-2-5	数値図化 数値図化 レベル2,500 補測編集	6.5%	0.5%	1.5%	5-4-2-5	数値図化 数値図化 レベル2,500 補測編集	6.0%	0.5%	1.5%
	5-4-2-6	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値地形図データファイルの作成	16.0%	0.0%	0.0%	5-4-2-6	数値図化 数値図化 レベル2,500 数値地形図データファイルの作成	14.0%	0.0%	0.0%
	6-1-1	現地測量 現地測量 (作業計画) (S=1/500)	0.0%	0.0%	0.0%	6-1-1	現地測量 現地測量 (作業計画) (S=1/500)	0.0%	0.0%	0.0%
	6-1-2	現地測量 現地測量 (S=1/500)	6.5%	1.0%	2.0%	6-1-2	現地測量 現地測量 (S=1/500)	6.0%	1.0%	2.0%
	7-2-1-1	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 全体計画	1.0%	0.0%	0.0%	7-2-1-1	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 全体計画	1.0%	0.0%	0.0%
	7-2-1-2	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 計測計画	5.5%	0.0%	0.0%	7-2-1-2	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 計測計画	5.0%	0.0%	0.0%
	7-2-1-3	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 総運航				7-2-1-3	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 総運航			
	7-2-1-4	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 計測				7-2-1-4	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 計測			
	7-2-1-5	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 滞留	0.0%	1.5%	0.0%	7-2-1-5	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 滞留	0.0%	1.5%	0.0%
	7-2-1-6	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 調整用基準点の設置	16.5%	0.0%	1.0%	7-2-1-6	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 調整用基準点の設置	14.5%	0.0%	1.0%
	7-2-1-7	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 三次元計測データ及びオリジナルデータ作成	7.0%	0.0%	0.0%	7-2-1-7	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 三次元計測データ及びオリジナルデータ作成	6.0%	0.0%	0.0%
	7-2-1-8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 グラウンドデータ作成	7.5%	0.0%	1.0%	7-2-1-8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 グラウンドデータ作成	6.5%	0.0%	1.0%
	7-2-1-8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 グリッド (標高) データ作成	7.0%	0.0%	0.0%	7-2-1-8	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 グリッド (標高) データ作成	6.0%	0.0%	0.0%
	7-2-1-10	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 等高線データ作成	7.0%	0.0%	0.0%	7-2-1-10	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 等高線データ作成	6.0%	0.0%	0.0%
	7-2-1-11	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 数値地形図データファイルの作成	6.5%	0.0%	2.5%	7-2-1-11	航空レーザ測量 数値図化 レベル1,000 数値地形図データファイルの作成	5.5%	0.0%	2.5%

ページ	改正	現行																																																														
<p>参 1-2-2</p>	<p>1-3 旅費交通費 旅費交通費の積算にあたっては、1-3-1を原則適用する。ただし、現地条件等により、1-3-1によりがたい場合や宿泊または滞在を伴う業務の場合は、1-3-2を適用する。なお、1-3-1によりがたい事象の発生や宿泊または滞在が生じ、業務の設計変更が生じた場合は、当初設計分も含めて1-3-2を適用する。</p> <p>1-3-1 旅費交通費の率を用いた積算 「測量業務」については、業務の直接人件費に対し、下表の率を乗じた額を旅費交通費として積算すること。 なお、率を適用する区分は積算標準に準拠する。 往復旅行時間にかかる直接人件費は積算上含まれているため、別途計上しない。 設計変更により業務が適用対象外となった場合、当初設計分もふくめ1-3-2を適用する。 同一業務の中で、複数区分（測量業務、地質調査業務、土木設計業務等）の積算を行う場合は、それぞれの区分の率を用いて算定すること。</p> <table border="1" data-bbox="388 667 1427 743"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>旅費交通費</th> <th>旅費交通費の上限（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測量業務</td> <td>直接人件費の 0.56%</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）測量業務における旅費交通費の率は、打合せ、関係機関協議の費用とする。現地作業での連絡車（ライトバン）運転に係る機械経費及び材料費は測量業務標準歩掛の機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p> <p>1-3-2 旅費交通費の率を用いない積算 （1）通勤及び宿泊・滞在の区分 ①通勤可能な目安は、積算上の基地から現地までの片道距離が30km程度（高速道路等を利用する場合は片道距離60km程度）もしくは片道所要時間1時間程度とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として、現地に最も近い指名業者の本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は、特定された業者が所在する市役所等とする。なお、本支店等とは参加表明説明書等に記載されている本支店等を指し、市役所等とは市役所、町・村役場とし、特別区の場合は区役所を指す。 現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算する。 なお、測量業務においては、連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費は測量業務標準歩掛の機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費 1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="368 1289 1448 1411"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6 ℓ/h×○h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン1.5L</td> <td>h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転にかかる運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計すること。 ②空中写真測量及び航空レーザ測量の場合は、撮影士及び撮影助手の往復交通費は、本拠飛行場から本拠飛行場に最も近い本支店等が所在する市役所までとする。なお、操縦士及び整備士の往復交通費については計上しない。 ③往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨特記仕様書等に明示するものとする。 ④上記①の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、別に定める宿泊費、日当によるものとする。なお、測量業務においては、滞在地から現地までのライトバン運転にかかる機械経費及び材料費は、測量業務標準歩掛の機械経費率に含まれているため、別途計上しない。</p>	区 分	旅費交通費	旅費交通費の上限（千円）	測量業務	直接人件費の 0.56%	230	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h	損 料	ライトバン1.5L	h				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料	<p>1-3 旅費交通費 1-3-1 通勤及び宿泊の区分 <u>（1）通勤により業務を行う場合</u> 通勤により業務を行えるかどうかの判断は下記を目安とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として、現地に最も近い指名業者の本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は、特定された業者が所在する市役所等とする。 なお、本支店等とは参加表明説明書等に記載されている本支店等を指し、市役所等とは市役所、町・村役場とし、特別区の場合は区役所を指す。 また、現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算することを標準とする。 ①積算上の基地から現地まで、連絡車（ライトバン）運転によるものとして積算する場合は、積算上の基地から現地までの片道距離が30km程度（高速道路等を利用する場合は片道距離60km程度）もしくは片道所要時間1時間程度等とする。 なお、測量業務においては、連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費は測量業務標準歩掛の機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費 1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1629 814 2709 936"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6 ℓ/h×○h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン1.5L</td> <td>h</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転にかかる運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計すること。 ②空中写真測量及び航空レーザ測量の場合は、撮影士及び撮影助手の往復交通費は、本拠飛行場から本拠飛行場に最も近い本支店等が所在する市役所までとする。なお、操縦士及び整備士の往復交通費については計上しない。 ③往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨特記仕様書等に明示するものとする。</p> <p><u>（2）現地に滞在して業務を行う場合</u> 上記（1）の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、別途定める宿泊費、日当によるものとする。 なお、測量業務においては、滞在地から現地までのライトバン運転費は、測量業務標準歩掛の機械経費率に含まれているため、別途計上しない。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h	損 料	ライトバン1.5L	h				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料
区 分	旅費交通費	旅費交通費の上限（千円）																																																														
測量業務	直接人件費の 0.56%	230																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																										
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h																																																										
損 料	ライトバン1.5L	h				運転時間当り損料																																																										
〃	〃	日	1			供用日当り損料																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																										
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h																																																										
損 料	ライトバン1.5L	h				運転時間当り損料																																																										
〃	〃	日	1			供用日当り損料																																																										

ページ	改正	現行
<p>改 参 1-2-3 現 参 1-2-2</p>	<p>(2) 旅費交通費の扱い</p> <p>①旅費交通費の算定において、普通日額旅費については積算上、計上しないものとする。</p> <p>②鉄道運賃等</p> <p>②-1 鉄道運賃等については、その乗車に要する運賃を計上する。</p> <p>②-2 複数の路線がある場合は、安い方の運賃を計上する。</p> <p>②-3 特急料金等については、下記により計上するものとする。</p> <p>1)特急列車を運行している区間については、片道 100 km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。</p> <p>2)急行列車を運行している区間については、片道 50 km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。</p> <p>③日当</p> <p>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。</p> <p>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</p>	<p>1-3-2 旅費交通費の扱い</p> <p>①旅費交通費の算定において、___日額旅費については積算上、計上しないものとする。</p> <p>② 鉄道運賃等</p> <p>①鉄道運賃等については、その乗車に要する運賃を計上する。</p> <p>②複数の路線がある場合は、安い方の運賃を計上する。</p> <p>③特急料金等については、下記により計上するものとする。</p> <p>1)特急列車を運行している区間については、片道 100 km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。</p> <p>2)急行列車を運行している区間については、片道 50 km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。</p> <p>③ 日当</p> <p>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。</p> <p>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</p>

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																
<p>改 参1-2-4 現 参1-2-3</p>	<p>1-3-3 旅費交通費の構成 (1) 旅費交通費の計算 旅費交通費 = (日当 + 交通費) + 宿泊料 × 必要日数 ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>1-3-4 旅費交通費等の積算例 (滞在時) (1) 15日までの旅費 (技術者単価は、平成31年度単価を用いている) ①積算条件 業務内容 : 測量業務 積算上の基地～現地までの距離 : 190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>測量技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量技師補</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量助手</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="width: 10%;">旅行 (往路)</td><td style="width: 10%;">0.5 日</td><td style="width: 10%;">泊</td><td style="width: 10%;">1.0 日</td><td style="width: 10%;">泊</td><td style="width: 10%;">1.0 日</td><td style="width: 10%;">泊</td><td style="width: 10%;">0.5 日</td><td style="width: 10%;">旅行 (復路)</td><td style="width: 10%;">0.5 日</td></tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> <div style="flex: 1; margin-left: 20px;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>測量技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量技師補</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量助手</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>②交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃 (片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 3,045円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,481円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 2,436円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表 1-3-4</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">宿 泊 費</th> <th colspan="2">日 当</th> </tr> <tr> <th>宿 泊 料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日 当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td style="color: red;">11,000</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="color: red; text-align: center;">2,440 (1,220)</td> <td rowspan="3" style="color: red; text-align: center;">2,218 (1,109)</td> </tr> <tr> <td>16から30日まで</td> <td style="color: red;">7,700</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td style="color: red;">5,500</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。() 内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td style="color: red;">1,109</td> <td>2</td> <td style="color: red;">5,481</td> <td>2</td> <td>10,000</td> <td>3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td style="color: red;">1,109</td> <td>2</td> <td style="color: red;">5,481</td> <td>2</td> <td>10,000</td> <td>3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td style="color: red;">1,109</td> <td>2</td> <td style="color: red;">5,481</td> <td>2</td> <td>10,000</td> <td>3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">旅費交通費計 = 43,180 × 1 + 43,180 × 2 + 43,180 × 2 = 215,900円</p> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費 (参考)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td style="color: red;">37,600</td> <td>1</td> <td>= 37,600円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td style="color: red;">29,500</td> <td>1</td> <td>= 29,500円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td style="color: red;">29,400</td> <td>1</td> <td>= 29,400円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 37,600 × 1 + 29,500 × 2 + 29,400 × 2 = 155,400円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	測量技師	1	3	3	測量技師補	2	3	3	測量助手	2	3	3	旅行 (往路)	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	測量技師	1	3	3	測量技師補	2	3	3	測量助手	2	3	3	鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	5,481円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円	区 分	宿 泊 費		日 当		宿 泊 料	消費税抜き	日 当	消費税抜き	15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)	16から30日まで	7,700	7,000	30日を超える	5,500	5,000		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		測量技師	1,109	2	5,481	2	10,000	3	= 43,180円	測量技師補	1,109	2	5,481	2	10,000	3	= 43,180円	測量助手	1,109	2	5,481	2	10,000	3	= 43,180円		基準日額	移動日数		測量技師	37,600	1	= 37,600円	測量技師補	29,500	1	= 29,500円	測量助手	29,400	1	= 29,400円	<p>1-3-3 旅費交通費の構成 (1) 旅費交通費の計算 旅費交通費 = (日当 + 交通費) + 宿泊料 × 必要日数 ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>1-3-4 旅費交通費等の積算例 (滞在時) (1) 15日までの旅費 (技術者単価は、平成30年度単価を用いている) ①積算条件 業務内容 : 測量業務 積算上の基地～現地までの距離 : 190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>測量技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量技師補</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量助手</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td style="width: 10%;">旅行 (往路)</td><td style="width: 10%;">0.5 日</td><td style="width: 10%;">泊</td><td style="width: 10%;">1.0 日</td><td style="width: 10%;">泊</td><td style="width: 10%;">1.0 日</td><td style="width: 10%;">泊</td><td style="width: 10%;">0.5 日</td><td style="width: 10%;">旅行 (復路)</td><td style="width: 10%;">0.5 日</td></tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> <div style="flex: 1; margin-left: 20px;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>測量技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量技師補</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>測量助手</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>②交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃 (片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 3,101円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,582円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 2,481円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表 1-3-4</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">宿 泊 費</th> <th colspan="2">日 当</th> </tr> <tr> <th>宿 泊 料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日 当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td style="color: red;">10,800</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="color: red; text-align: center;">2,400 (1,200)</td> <td rowspan="3" style="color: red; text-align: center;">2,222 (1,111)</td> </tr> <tr> <td>16から30日まで</td> <td style="color: red;">7,560</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td style="color: red;">5,400</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。() 内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td style="color: red;">1,111</td> <td>2</td> <td style="color: red;">5,582</td> <td>2</td> <td>10,000</td> <td>3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td style="color: red;">1,111</td> <td>2</td> <td style="color: red;">5,582</td> <td>2</td> <td>10,000</td> <td>3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td style="color: red;">1,111</td> <td>2</td> <td style="color: red;">5,582</td> <td>2</td> <td>10,000</td> <td>3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">旅費交通費計 = 43,386 × 1 + 43,386 × 2 + 43,386 × 2 = 216,930円</p> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費 (参考)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td style="color: red;">34,800</td> <td>1</td> <td>= 34,800円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td style="color: red;">28,100</td> <td>1</td> <td>= 28,100円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td style="color: red;">28,000</td> <td>1</td> <td>= 28,000円</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 34,800 × 1 + 28,100 × 2 + 28,000 × 2 = 147,000円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	測量技師	1	3	3	測量技師補	2	3	3	測量助手	2	3	3	旅行 (往路)	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	測量技師	1	3	3	測量技師補	2	3	3	測量助手	2	3	3	鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	5,582円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円	区 分	宿 泊 費		日 当		宿 泊 料	消費税抜き	日 当	消費税抜き	15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)	16から30日まで	7,560	7,000	30日を超える	5,400	5,000		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		測量技師	1,111	2	5,582	2	10,000	3	= 43,386円	測量技師補	1,111	2	5,582	2	10,000	3	= 43,386円	測量助手	1,111	2	5,582	2	10,000	3	= 43,386円		基準日額	移動日数		測量技師	34,800	1	= 34,800円	測量技師補	28,100	1	= 28,100円	測量助手	28,000	1	= 28,000円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師補	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量助手	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
旅行 (往路)	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日																																																																																																																																																																																																																																									
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師補	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量助手	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	5,481円																																																																																																																																																																																																																																													
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円																																																																																																																																																																																																																																															
区 分	宿 泊 費		日 当																																																																																																																																																																																																																																															
	宿 泊 料	消費税抜き	日 当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																														
15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)																																																																																																																																																																																																																																														
16から30日まで	7,700	7,000																																																																																																																																																																																																																																																
30日を超える	5,500	5,000																																																																																																																																																																																																																																																
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																												
測量技師	1,109	2	5,481	2	10,000	3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師補	1,109	2	5,481	2	10,000	3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																											
測量助手	1,109	2	5,481	2	10,000	3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																											
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																
測量技師	37,600	1	= 37,600円																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師補	29,500	1	= 29,500円																																																																																																																																																																																																																																															
測量助手	29,400	1	= 29,400円																																																																																																																																																																																																																																															
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師補	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量助手	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
旅行 (往路)	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日																																																																																																																																																																																																																																									
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師補	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
測量助手	2	3	3																																																																																																																																																																																																																																															
鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	5,582円																																																																																																																																																																																																																																													
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円																																																																																																																																																																																																																																															
区 分	宿 泊 費		日 当																																																																																																																																																																																																																																															
	宿 泊 料	消費税抜き	日 当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																														
15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)																																																																																																																																																																																																																																														
16から30日まで	7,560	7,000																																																																																																																																																																																																																																																
30日を超える	5,400	5,000																																																																																																																																																																																																																																																
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																												
測量技師	1,111	2	5,582	2	10,000	3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師補	1,111	2	5,582	2	10,000	3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																											
測量助手	1,111	2	5,582	2	10,000	3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																											
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																
測量技師	34,800	1	= 34,800円																																																																																																																																																																																																																																															
測量技師補	28,100	1	= 28,100円																																																																																																																																																																																																																																															
測量助手	28,000	1	= 28,000円																																																																																																																																																																																																																																															

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>改 参1-2-5 現 参1-2-4</p>	<p>(2) 15日を超える旅費（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>①積算条件 業務内容：測量業務 積算上の基地～現地までの距離：210km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>測量技師</td><td>1</td><td>35</td><td>35</td></tr> <tr><td>測量技師補</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>測量助手</td><td>2</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路)(復路)</p> </div> </div> <p>②交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃(片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>3,670円</td> <td>×</td> <td>$\frac{100}{110}$</td> <td>=</td> <td>3,336円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,972円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,900円</td> <td>×</td> <td>$\frac{100}{110}$</td> <td>=</td> <td>2,636円</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は、表1-3-4を参照。</p> <p>③旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+5,972</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+7,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=294,162円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+5,972</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+7,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=344,162円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+5,972</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+7,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=344,162円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td>=</td> <td>294,162</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>+344,162</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>+344,162</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 1,326,648円</td> </tr> </table> <p>④往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td>=</td> <td>37,600</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 37,600円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td>=</td> <td>29,500</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 29,500円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td>=</td> <td>29,400</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 29,400円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 37,600×1+29,500×1+29,400×2=125,900円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	測量技師	1	35	35	測量技師補	1	45	45	測量助手	2	45	45	鉄道運賃(片道)	普通運賃	3,670円	×	$\frac{100}{110}$	=	3,336円	}	5,972円		特急料金	2,900円	×	$\frac{100}{110}$	=	2,636円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数	測量技師	=	1,109	×	2	+5,972	×	2	+10,000									+7,000									×15									+5,000									×5									=294,162円	測量技師補	=	1,109	×	2	+5,972	×	2	+10,000									+7,000									×15									+5,000									×15									=344,162円	測量助手	=	1,109	×	2	+5,972	×	2	+10,000									+7,000									×15									+5,000									×15									=344,162円	旅費交通費計	=	294,162	×	1	+344,162	×	1	+344,162									×2									= 1,326,648円		基準日額	移動日数		測量技師	=	37,600	×				1				= 37,600円	測量技師補	=	29,500	×				1				= 29,500円	測量助手	=	29,400	×				1				= 29,400円	<p>(2) 15日を超える旅費（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>①積算条件 業務内容：測量業務 積算上の基地～現地までの距離：210km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>測量技師</td><td>1</td><td>35</td><td>35</td></tr> <tr><td>測量技師補</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>測量助手</td><td>2</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路)(復路)</p> </div> </div> <p>②交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃(片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>3,670円</td> <td>×</td> <td>$\frac{100}{108}$</td> <td>=</td> <td>3,398円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">6,083円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,900円</td> <td>×</td> <td>$\frac{100}{108}$</td> <td>=</td> <td>2,685円</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は、表1-3-4を参照。</p> <p>③旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+6,083</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+7,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=294,388円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+6,083</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+7,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=344,388円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+6,083</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+7,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=344,388円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td>=</td> <td>294,388</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>+344,388</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>+344,388</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 1,327,552円</td> </tr> </table> <p>④往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量技師</td> <td>=</td> <td>34,800</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 34,800円</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td>=</td> <td>28,100</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 28,100円</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td>=</td> <td>28,000</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 28,000円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 34,800×1+28,100×1+28,000×2=118,900円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	測量技師	1	35	35	測量技師補	1	45	45	測量助手	2	45	45	鉄道運賃(片道)	普通運賃	3,670円	×	$\frac{100}{108}$	=	3,398円	}	6,083円		特急料金	2,900円	×	$\frac{100}{108}$	=	2,685円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数	測量技師	=	1,111	×	2	+6,083	×	2	+10,000									+7,000									×15									+5,000									×5									=294,388円	測量技師補	=	1,111	×	2	+6,083	×	2	+10,000									+7,000									×15									+5,000									×15									=344,388円	測量助手	=	1,111	×	2	+6,083	×	2	+10,000									+7,000									×15									+5,000									×15									=344,388円	旅費交通費計	=	294,388	×	1	+344,388	×	1	+344,388									×2									= 1,327,552円		基準日額	移動日数		測量技師	=	34,800	×				1				= 34,800円	測量技師補	=	28,100	×				1				= 28,100円	測量助手	=	28,000	×				1				= 28,000円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師	1	35	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師補	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量助手	2	45	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄道運賃(片道)	普通運賃	3,670円	×	$\frac{100}{110}$	=	3,336円	}	5,972円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	特急料金	2,900円	×	$\frac{100}{110}$	=	2,636円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
測量技師	=	1,109	×	2	+5,972	×	2	+10,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+7,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								=294,162円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
測量技師補	=	1,109	×	2	+5,972	×	2	+10,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+7,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								=344,162円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
測量助手	=	1,109	×	2	+5,972	×	2	+10,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+7,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								=344,162円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
旅費交通費計	=	294,162	×	1	+344,162	×	1	+344,162																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								= 1,326,648円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
測量技師	=	37,600	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			= 37,600円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師補	=	29,500	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			= 29,500円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量助手	=	29,400	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			= 29,400円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師	1	35	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師補	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量助手	2	45	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄道運賃(片道)	普通運賃	3,670円	×	$\frac{100}{108}$	=	3,398円	}	6,083円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	特急料金	2,900円	×	$\frac{100}{108}$	=	2,685円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
測量技師	=	1,111	×	2	+6,083	×	2	+10,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+7,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								=294,388円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
測量技師補	=	1,111	×	2	+6,083	×	2	+10,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+7,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								=344,388円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
測量助手	=	1,111	×	2	+6,083	×	2	+10,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+7,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								+5,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								=344,388円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
旅費交通費計	=	294,388	×	1	+344,388	×	1	+344,388																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								×2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								= 1,327,552円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
測量技師	=	34,800	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			= 34,800円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量技師補	=	28,100	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			= 28,100円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
測量助手	=	28,000	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			= 28,000円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

ページ	改正	現 行
<p>参 2-2-41</p>	<p>8-1 UAV写真測量 機械経費等の主たる構成 UAV本体及び撮影機、トータルステーション、ライトバン、雑器材、パーソナルコンピュータ、写真解析及び点群処理ソフトウェア等</p> <p>8-2 地上レーザ測量 機械経費等の主たる構成 地上レーザスキャナ、トータルステーション、ライトバン、雑器材、パーソナルコンピュータ、点群処理ソフトウェア等</p> <p>5-2 測量業務標準歩掛における作業量に対する割合の計算例（UAV写真測量の場合）</p> <p>機械経費等（千円） = 3,405 × （作業量：km²） + 93 = 3,405 × 0.1 + 93 = 433.5（千円）</p> <p>※ 1円単位まで有効（1円未満切捨て）とする。</p>	<p>8-1 UAV写真測量 機械経費等の主たる構成 UAV本体及び撮影機、トータルステーション、ライトバン、雑器材、パーソナルコンピュータ、写真解析及び点群処理ソフトウェア等</p> <p>8-2 地上レーザ測量 機械経費等の主たる構成 地上レーザスキャナ、トータルステーション、ライトバン、雑器材、パーソナルコンピュータ、点群処理ソフトウェア等</p> <p>（追加）</p>

ページ	改正	現行
目次-1	土木関係地質調査 目次	土木関係地質調査 目次
	第1編 総則 第1章 総則 第1節 用語の定義 1-1-1 第2章 積算基準 第1節 積算基準 1-2-1 1-1 技術者の職種区分 1-2-1 1-2 工期の算定 1-2-1 1-3 旅費交通費 1-2-2 1-3-1 <u>旅費交通費の率を用いた積算</u> 1-2-2 1-3-2 <u>旅費交通費の率を用いない積算</u> 1-2-2 1-3-3 旅費交通費の構成 1-2-3 1-3-4 旅費交通費積算例 1-2-4 1-3-5 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定 1-2-6 1-4 技術者単価 1-2-6 1-5 技術者基準日額時間外手当の算出 1-2-6	第1編 総則 第1章 総則 第1節 用語の定義 1-1-1 第2章 積算基準 第1節 積算基準 1-2-1 1-1 技術者の職種区分 1-2-1 1-2 工期の算定 1-2-1 1-3 旅費交通費 1-2-2 1-3-1 <u>通勤及び宿泊の区分</u> 1-2-2 1-3-2 <u>旅費交通費の扱い</u> 1-2-2 1-3-3 旅費交通費の構成 1-2-2 1-3-4 旅費交通費積算例 1-2-3 1-3-5 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定 1-2-5 1-4 技術者単価 1-2-5 1-5 技術者基準日額時間外手当の算出 1-2-5

6-5-2 土木関係地質調査 【新旧対照表 R元.9】

ページ	改正	現行
目次-4	2-8-3 地盤情報データベースに登録するための検定費…………… 2-2-20	(追加)
	第3節 原位置試験…………… 2-2-21	第3節 原位置試験…………… 2-2-20
	3-1 適用範囲…………… 2-2-21	3-1 適用範囲…………… 2-2-20
	3-2 使用機械…………… 2-2-21	3-2 使用機械…………… 2-2-20
	3-3 地下水位観測…………… 2-2-21	3-3 地下水位観測…………… 2-2-20
	3-4 物理検層（孔内検層）…………… 2-2-21	3-4 物理検層（孔内検層）…………… 2-2-20
	1. 速度検層（P波）…………… 2-2-21	1. 速度検層（P波）…………… 2-2-20
	2. P S 検層…………… 2-2-22	2. P S 検層…………… 2-2-21
	3. 電気検層…………… 2-2-22	3. 電気検層…………… 2-2-21
	4. 密度検層…………… 2-2-23	4. 密度検層…………… 2-2-22
	5. 温度検層…………… 2-2-23	5. 温度検層…………… 2-2-22
	6. 孔径検層…………… 2-2-24	6. 孔径検層…………… 2-2-23
	7. 解析等調査業務費…………… 2-2-24	7. 解析等調査業務費…………… 2-2-23
	第4節 物理探査業務…………… 2-2-25	第4節 物理探査業務…………… 2-2-24
	4-1 電気探査…………… 2-2-25	4-1 電気探査…………… 2-2-24
	4-1-1 電気探査（比抵抗法2次元探査）…………… 2-2-25	4-1-1 電気探査（比抵抗法2次元探査）…………… 2-2-24
	4-2 弾性波探査業務…………… 2-2-27	4-2 弾性波探査業務…………… 2-2-26
	4-2-1 適用範囲…………… 2-2-27	4-2-1 適用範囲…………… 2-2-26
	4-2-2 業務区分…………… 2-2-27	4-2-2 業務区分…………… 2-2-26
	4-2-3 地域・地形区分…………… 2-2-27	4-2-3 地域・地形区分…………… 2-2-26
	4-2-4 解析等調査業務費及び直接調査費…………… 2-2-27	4-2-4 解析等調査業務費及び直接調査費…………… 2-2-26
	第5節 軟弱地盤技術解析…………… 2-2-32	第5節 軟弱地盤技術解析…………… 2-2-31
	5-1 軟弱地盤技術解析積算基準…………… 2-2-32	5-1 軟弱地盤技術解析積算基準…………… 2-2-31
	5-1-1 適用範囲…………… 2-2-32	5-1-1 適用範囲…………… 2-2-31
	5-1-2 軟弱地盤解析を実施する条件となる構造物…………… 2-2-32	5-1-2 軟弱地盤解析を実施する条件となる構造物…………… 2-2-31
	5-1-3 業務のフロー…………… 2-2-32	5-1-3 業務のフロー…………… 2-2-31
	5-1-4 業務内容…………… 2-2-32	5-1-4 業務内容…………… 2-2-31
	5-2 軟弱地盤技術解析業務…………… 2-2-33	5-2 軟弱地盤技術解析業務…………… 2-2-32
	5-2-1 標準歩掛…………… 2-2-33	5-2-1 標準歩掛…………… 2-2-32
	5-2-2 打合せ…………… 2-2-34	5-2-2 打合せ…………… 2-2-33
	第6節 地すべり調査…………… 2-2-35	第6節 地すべり調査…………… 2-2-34
	6-1 適用範囲と作業内容…………… 2-2-35	6-1 適用範囲と作業内容…………… 2-2-34
	6-2 計画準備…………… 2-2-37	6-2 計画準備…………… 2-2-36
	6-3 移動変形調査…………… 2-2-37	6-3 移動変形調査…………… 2-2-36
	6-3-1 伸縮計による調査…………… 2-2-37	6-3-1 伸縮計による調査…………… 2-2-36
	6-3-2 傾斜計による調査…………… 2-2-38	6-3-2 傾斜計による調査…………… 2-2-37
	6-3-3 パイプ式歪計による調査…………… 2-2-39	6-3-3 パイプ式歪計による調査…………… 2-2-38
	6-3-4 挿入式孔内傾斜計…………… 2-2-40	6-3-4 挿入式孔内傾斜計…………… 2-2-39
	6-4 解析…………… 2-2-41	6-4 解析…………… 2-2-40
	6-4-1 地盤特性検討…………… 2-2-41	6-4-1 地盤特性検討…………… 2-2-40
	6-4-2 機構解析…………… 2-2-41	6-4-2 機構解析…………… 2-2-40
	6-4-3 安全解析…………… 2-2-41	6-4-3 安全解析…………… 2-2-40
	6-4-4 対策工法選定…………… 2-2-42	6-4-4 対策工法選定…………… 2-2-41
	6-5 報告書作成…………… 2-2-42	6-5 報告書作成…………… 2-2-41
	6-6 その他…………… 2-2-42	6-6 その他…………… 2-2-41

ページ	改正	現行																																																														
1-2-2	<p>1-3 旅費交通費 旅費交通費の積算にあたっては、1-3-1を原則適用する。ただし、現地条件等により、1-3-1によりがたい場合や宿泊または滞在を伴う業務の場合は、1-3-2を適用する。なお、1-3-1によりがたい事象の発生や宿泊または滞在が生じ、業務の設計変更が生じた場合は、当初設計分も含めて1-3-2を適用する。</p> <p>1-3-1 旅費交通費の率を用いた積算 「地質調査業務」については、直接調査費の直接人件費に対し、下表の率を乗じた額を旅費交通費として積算すること。 なお、率を適用する区分は積算標準に準拠する。 往復旅行時間にかかる直接人件費は積算上含まれているため、別途計上しない。 設計変更により業務が適用対象外となった場合、当初設計分も含め1-3-2を適用する。 同一業務の中で、複数区分（地質調査業務、土木設計業務等）の積算を行う場合は、それぞれの区分の率を用いて算定すること。</p> <table border="1" data-bbox="388 699 1427 772"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>旅費交通費</th> <th>旅費交通費の上限（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>直接調査費の 2.14%</td> <td>1,026</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）地質調査業務における旅費交通費の率は、打合せ、関係機関協議、現地作業（現地踏査を含む）の費用とする。</p> <p>1-3-2 旅費交通費の率を用いない積算 (1) 通勤及び宿泊・滞在の区分 ①通勤可能な目安は、積算上の基地から現地までの片道距離が30km程度（高速道路等を利用する場合は片道距離60km程度）もしくは片道所要時間1時間程度とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として、現地に最も近い指名業者の本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は、特定された業者が所在する市役所等とする。 なお、本支店等とは参加表明説明書等に記載されている本支店等を指し、市役所等とは市役所、町・村役場とし、特別区の場合は区役所を指す。 現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算する。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転費 1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 1283 1463 1434"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6 ℓ/h×○h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン1.5L</td> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転にかかる運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計上すること。</p> <p>②往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨特記仕様書等に明示するものとする。 ③上記①の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、別途定める宿泊費、日当によるものとする。</p>	区 分	旅費交通費	旅費交通費の上限（千円）	地質調査業務	直接調査費の 2.14%	1,026	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h	損 料	ライトバン1.5L	H				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料	<p>1-3 旅費交通費 1-3-1 通勤及び宿泊の区分 (1) 通勤により業務を行う場合 通勤により業務を行えるかどうかの判断は下記を目安とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として、現地に最も近い指名業者の本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は、特定された業者が所在する市役所等とする。 なお、本支店等とは参加表明説明書等に記載されている本支店等を指し、市役所等とは市役所、町・村役場とし、特別区の場合は区役所を指す。 また、現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算することを標準とする。 ① 積算上の基地から現地まで、連絡車（ライトバン）運転によるものとして積算する場合は、積算上の基地から現地までの片道距離が30km程度（高速道路等を利用する場合は片道距離60km程度）もしくは片道所要時間1時間程度等とする。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転費 1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1614 743 2724 894"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6 ℓ/h×○h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン1.5L</td> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転にかかる運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計上すること。</p> <p>(2) 現地に滞在して業務を行う場合 上記(1)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、別途定める宿泊費、日当によるものとする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h	損 料	ライトバン1.5L	H				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料
区 分	旅費交通費	旅費交通費の上限（千円）																																																														
地質調査業務	直接調査費の 2.14%	1,026																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																										
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h																																																										
損 料	ライトバン1.5L	H				運転時間当り損料																																																										
〃	〃	日	1			供用日当り損料																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																										
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h×○h																																																										
損 料	ライトバン1.5L	H				運転時間当り損料																																																										
〃	〃	日	1			供用日当り損料																																																										

ページ	改正	現行
<p>改 1-2-2 1-2-3 現 1-2-2</p>	<p>(2) 旅費交通費の扱い</p> <p>①旅費交通費の算定において、普通日額旅費については積算上、計上しないものとする。</p> <p>②鉄道運賃等</p> <p>②-1 鉄道運賃等については、その乗車に要する運賃を計上する。</p> <p>②-2 複数の路線がある場合は、安い方の運賃を計上する。</p> <p>②-3 特急料金等については、下記により計上するものとする。</p> <p>1) 特急列車を運行している区間については、片道 100 km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。</p> <p>2) 急行列車を運行している区間については、片道 50 km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。</p> <p>③日当</p> <p>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。</p> <p>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</p>	<p>1-3-2 旅費交通費の扱い</p> <p>(1) 旅費交通費</p> <p>旅費交通費の算定において、___日額旅費については積算上、計上しないものとする。</p> <p>(2) 鉄道運賃等</p> <p>① 鉄道運賃等については、その乗車に要する運賃を計上する。</p> <p>② 複数の路線がある場合は、安い方の運賃を計上する。</p> <p>③ 特急料金等については、下記により計上するものとする。</p> <p>1) 特急列車を運行している区間については、片道 100 km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。</p> <p>2) 急行列車を運行して区間については、片道 50 km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。</p> <p>(3) 日当</p> <p>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。</p> <p>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</p>

ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>改 1-2-4 現 1-2-3</p>	<p>1-3-4 旅費交通費積算例 (1) 15日までの旅費計算（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>① 積算条件 業務内容：地質調査業務 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工程)</p> <table style="border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">旅行 (往路)</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">旅行 (復路)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> </tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路)(復路)</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>外業3日</p> </div> </div> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 3,045円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,481円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 2,436円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表 1-3-4</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">宿泊費</th> <th colspan="2">日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td style="color: red;">11,000</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="color: red;">2,440 (1,220)</td> <td rowspan="3" style="color: red;">2,218 (1,109)</td> </tr> <tr> <td>16～30日まで</td> <td style="color: red;">7,700</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td style="color: red;">5,500</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。（ ）内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td style="color: red;">1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td style="color: red;">1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td style="color: red;">1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 43,180+43,180+43,180 = 129,540円</td> </tr> </table> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>×</td> <td>移動日数</td> <td>=</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td style="color: red;">45,400</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td style="color: red;">45,400円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td style="color: red;">34,200</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td style="color: red;">34,200円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td style="color: red;">24,500</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td style="color: red;">24,500円</td> </tr> <tr> <td>往復旅行時間にかかる直接人件費計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=</td> <td style="color: red;">45,400×1+34,200×1+24,500×1 = 104,100円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	3	3	主任地質調査員	1	3	3	地質調査員	1	3	3	旅行 (往路)	泊	泊	泊	泊	旅行 (復路)	0.5 日	0.5 日	1.0 日	1.0 日	0.5 日	0.5 日	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	5,481円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円	区分	宿泊費		日当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)	16～30日まで	7,700	7,000	30日を超える	5,500	5,000		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		地質調査技師	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	主任地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	旅費交通費計							= 43,180+43,180+43,180 = 129,540円		基準日額	×	移動日数	=		地質調査技師	45,400	×	1	=	45,400円	主任地質調査員	34,200	×	1	=	34,200円	地質調査員	24,500	×	1	=	24,500円	往復旅行時間にかかる直接人件費計				=	45,400×1+34,200×1+24,500×1 = 104,100円	<p>1-3-4 旅費交通費積算例 (1) 15日までの旅費計算（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>① 積算条件 業務内容：地質調査業務 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工程)</p> <table style="border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">旅行 (往路)</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">泊</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">旅行 (復路)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> </tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路)(復路)</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>外業3日</p> </div> </div> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 3,101円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,582円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 2,481円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表 1-3-4</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">宿泊費</th> <th colspan="2">日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td style="color: red;">10,800</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="color: red;">2,400 (1,200)</td> <td rowspan="3" style="color: red;">2,222 (1,111)</td> </tr> <tr> <td>16～30日まで</td> <td style="color: red;">7,560</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td style="color: red;">5,400</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。（ ）内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td style="color: red;">1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td style="color: red;">1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td style="color: red;">1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 43,386+43,386+43,386 = 130,158円</td> </tr> </table> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>×</td> <td>移動日数</td> <td>=</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td style="color: red;">42,900</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td style="color: red;">42,900円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td style="color: red;">33,800</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td style="color: red;">33,800円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td style="color: red;">23,500</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td style="color: red;">23,500円</td> </tr> <tr> <td>往復旅行時間にかかる直接人件費計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=</td> <td style="color: red;">42,900×1+33,800×1+23,500×1 = 100,200円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	3	3	主任地質調査員	1	3	3	地質調査員	1	3	3	旅行 (往路)	泊	泊	泊	泊	旅行 (復路)	0.5 日	0.5 日	1.0 日	1.0 日	0.5 日	0.5 日	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	5,582円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円	区分	宿泊費		日当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)	16～30日まで	7,560	7,000	30日を超える	5,400	5,000		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		地質調査技師	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	主任地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	旅費交通費計							= 43,386+43,386+43,386 = 130,158円		基準日額	×	移動日数	=		地質調査技師	42,900	×	1	=	42,900円	主任地質調査員	33,800	×	1	=	33,800円	地質調査員	23,500	×	1	=	23,500円	往復旅行時間にかかる直接人件費計				=	42,900×1+33,800×1+23,500×1 = 100,200円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
主任地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
旅行 (往路)	泊	泊	泊	泊	旅行 (復路)																																																																																																																																																																																																																																																													
0.5 日	0.5 日	1.0 日	1.0 日	0.5 日	0.5 日																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	5,481円																																																																																																																																																																																																																																																													
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	宿泊費		日当																																																																																																																																																																																																																																																															
	宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																																														
15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)																																																																																																																																																																																																																																																														
16～30日まで	7,700	7,000																																																																																																																																																																																																																																																																
30日を超える	5,500	5,000																																																																																																																																																																																																																																																																
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																																												
地質調査技師	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																																											
主任地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																																											
地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																																											
旅費交通費計							= 43,180+43,180+43,180 = 129,540円																																																																																																																																																																																																																																																											
	基準日額	×	移動日数	=																																																																																																																																																																																																																																																														
地質調査技師	45,400	×	1	=	45,400円																																																																																																																																																																																																																																																													
主任地質調査員	34,200	×	1	=	34,200円																																																																																																																																																																																																																																																													
地質調査員	24,500	×	1	=	24,500円																																																																																																																																																																																																																																																													
往復旅行時間にかかる直接人件費計				=	45,400×1+34,200×1+24,500×1 = 104,100円																																																																																																																																																																																																																																																													
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
主任地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																															
旅行 (往路)	泊	泊	泊	泊	旅行 (復路)																																																																																																																																																																																																																																																													
0.5 日	0.5 日	1.0 日	1.0 日	0.5 日	0.5 日																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	5,582円																																																																																																																																																																																																																																																													
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	宿泊費		日当																																																																																																																																																																																																																																																															
	宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																																														
15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)																																																																																																																																																																																																																																																														
16～30日まで	7,560	7,000																																																																																																																																																																																																																																																																
30日を超える	5,400	5,000																																																																																																																																																																																																																																																																
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																																												
地質調査技師	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																																											
主任地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																																											
地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																																											
旅費交通費計							= 43,386+43,386+43,386 = 130,158円																																																																																																																																																																																																																																																											
	基準日額	×	移動日数	=																																																																																																																																																																																																																																																														
地質調査技師	42,900	×	1	=	42,900円																																																																																																																																																																																																																																																													
主任地質調査員	33,800	×	1	=	33,800円																																																																																																																																																																																																																																																													
地質調査員	23,500	×	1	=	23,500円																																																																																																																																																																																																																																																													
往復旅行時間にかかる直接人件費計				=	42,900×1+33,800×1+23,500×1 = 100,200円																																																																																																																																																																																																																																																													

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																
<p>改 1-2-5 現 1-2-4</p>	<p>(2) 15日を超える旅費計算（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>① 積算条件 業務内容：地質調査業務 積算上の基地～現地までの距離：210 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>23</td><td>23</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路)(復路)</p> </div> </div> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>$3,670 \text{円} \times \frac{100}{110} = 3,336 \text{円}$</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,972円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>$2,900 \text{円} \times \frac{100}{110} = 2,636 \text{円}$</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は表1-4-3を参照。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,972</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000</td> <td>×8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=220,162円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,972</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000</td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000 ×15 =344,162円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,972</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000</td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000 ×15 =344,162円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td>=</td> <td>220,162</td> <td>+</td> <td>344,162</td> <td>+</td> <td>344,162</td> <td>=</td> <td>908,486円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※日当は2分の1日当とする。</p> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>= 45,400</td> <td>× 1</td> <td>= 45,400円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>= 34,200</td> <td>× 1</td> <td>= 34,200円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>= 24,500</td> <td>× 1</td> <td>= 24,500円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 45,400×1+34,200×1+24,500×1 = 104,100円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	23	23	主任地質調査員	1	45	45	地質調査員	1	45	45	鉄道運賃（片道）	普通運賃	$3,670 \text{円} \times \frac{100}{110} = 3,336 \text{円}$	}	5,972円		特急料金	$2,900 \text{円} \times \frac{100}{110} = 2,636 \text{円}$		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数		地質調査技師	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000	×8										=220,162円	主任地質調査員	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000	×15										+5,000 ×15 =344,162円	地質調査員	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000	×15										+5,000 ×15 =344,162円	旅費交通費計	=	220,162	+	344,162	+	344,162	=	908,486円			基準日額	移動日数		地質調査技師	= 45,400	× 1	= 45,400円	主任地質調査員	= 34,200	× 1	= 34,200円	地質調査員	= 24,500	× 1	= 24,500円	<p>(2) 15日を超える旅費計算（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>① 積算条件 業務内容：地質調査業務 積算上の基地～現地までの距離：210 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>23</td><td>23</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路)(復路)</p> </div> </div> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>$3,670 \text{円} \times \frac{100}{108} = 3,398 \text{円}$</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">6,083円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>$2,900 \text{円} \times \frac{100}{108} = 2,685 \text{円}$</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は表1-4-3を参照。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×2</td> <td>+6,083</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000</td> <td>×8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>=220,388円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×2</td> <td>+6,083</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000</td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000 ×15 =344,388円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×2</td> <td>+6,083</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000</td> <td>×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000 ×15 =344,388円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td>=</td> <td>220,388</td> <td>+</td> <td>344,388</td> <td>+</td> <td>344,388</td> <td>=</td> <td>909,164円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※日当は2分の1日当とする。</p> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>= 42,900</td> <td>× 1</td> <td>= 42,900円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>= 33,800</td> <td>× 1</td> <td>= 33,800円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>= 23,500</td> <td>× 1</td> <td>= 23,500円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 42,900×1+33,800×1+23,500×1 = 100,200円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	23	23	主任地質調査員	1	45	45	地質調査員	1	45	45	鉄道運賃（片道）	普通運賃	$3,670 \text{円} \times \frac{100}{108} = 3,398 \text{円}$	}	6,083円		特急料金	$2,900 \text{円} \times \frac{100}{108} = 2,685 \text{円}$		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数		地質調査技師	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000	×8										=220,388円	主任地質調査員	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000	×15										+5,000 ×15 =344,388円	地質調査員	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000	×15										+5,000 ×15 =344,388円	旅費交通費計	=	220,388	+	344,388	+	344,388	=	909,164円			基準日額	移動日数		地質調査技師	= 42,900	× 1	= 42,900円	主任地質調査員	= 33,800	× 1	= 33,800円	地質調査員	= 23,500	× 1	= 23,500円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査技師	1	23	23																																																																																																																																																																																																																																															
主任地質調査員	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査員	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																															
鉄道運賃（片道）	普通運賃	$3,670 \text{円} \times \frac{100}{110} = 3,336 \text{円}$	}	5,972円																																																																																																																																																																																																																																														
	特急料金	$2,900 \text{円} \times \frac{100}{110} = 2,636 \text{円}$																																																																																																																																																																																																																																																
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																										
地質調査技師	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000	×8																																																																																																																																																																																																																																									
									=220,162円																																																																																																																																																																																																																																									
主任地質調査員	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000	×15																																																																																																																																																																																																																																									
									+5,000 ×15 =344,162円																																																																																																																																																																																																																																									
地質調査員	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000	×15																																																																																																																																																																																																																																									
									+5,000 ×15 =344,162円																																																																																																																																																																																																																																									
旅費交通費計	=	220,162	+	344,162	+	344,162	=	908,486円																																																																																																																																																																																																																																										
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																
地質調査技師	= 45,400	× 1	= 45,400円																																																																																																																																																																																																																																															
主任地質調査員	= 34,200	× 1	= 34,200円																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査員	= 24,500	× 1	= 24,500円																																																																																																																																																																																																																																															
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査技師	1	23	23																																																																																																																																																																																																																																															
主任地質調査員	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査員	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																															
鉄道運賃（片道）	普通運賃	$3,670 \text{円} \times \frac{100}{108} = 3,398 \text{円}$	}	6,083円																																																																																																																																																																																																																																														
	特急料金	$2,900 \text{円} \times \frac{100}{108} = 2,685 \text{円}$																																																																																																																																																																																																																																																
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																										
地質調査技師	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000	×8																																																																																																																																																																																																																																									
									=220,388円																																																																																																																																																																																																																																									
主任地質調査員	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000	×15																																																																																																																																																																																																																																									
									+5,000 ×15 =344,388円																																																																																																																																																																																																																																									
地質調査員	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000	×15																																																																																																																																																																																																																																									
									+5,000 ×15 =344,388円																																																																																																																																																																																																																																									
旅費交通費計	=	220,388	+	344,388	+	344,388	=	909,164円																																																																																																																																																																																																																																										
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																
地質調査技師	= 42,900	× 1	= 42,900円																																																																																																																																																																																																																																															
主任地質調査員	= 33,800	× 1	= 33,800円																																																																																																																																																																																																																																															
地質調査員	= 23,500	× 1	= 23,500円																																																																																																																																																																																																																																															

6-5-2 土木関係地質調査 【新旧対照表 R元.9】

ページ	改正	現 行
2-1-3	<p>1-2-3 地質調査業務費構成費目の内容</p> <p>(1) 一般調査業務費 一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。</p> <p>① 純調査費</p> <p>1) 直接調査費 直接調査費は、当該業務に必要な経費のうち次のア. からエ. に掲げるものとする。</p> <p>ア. 材料費 材料費は、当該調査を実施するのに要する材料の費用である。</p> <p>イ. 直接人件費 業務に従事する者の人件費である。なお、名称及びその基準日額等は別途定める。</p> <p>ウ. 機械経費 調査に必要な機器の損料又は使用料とし、各調査の種別毎に積算し計上する。</p> <p>エ. 直接経費</p> <p>a) 電子成果品作成費 電子成果品作成に要する費用を計上する。</p> <p>b) 特許使用料 特許使用料は、契約にもとづき支出する特許使用料及び派出する技術者等に要する費用の合額額とする。</p> <p>c) 水道光熱電力料 水道光熱電力料は、当該調査に必要となる電力、電灯使用料及び用水使用料とする。</p> <p>d) 地盤情報データベースに登録するための検定費 地盤情報データベース登録のための、地盤情報の「別途定める検定に関する技術を有する第三者機関」における検定費とする。なお、直接調査費を用いる費用算出の対象額からは除く。</p> <p>2) 間接調査費 間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次のア. からケ. に掲げるものとする。</p> <p>ア. 運搬費 機械器具の運搬は、機械器具及び資機材運搬、乱さない試料やコアの運搬、現場内小運搬及び作業員の輸送に要する費用を計上する。</p> <p>イ. 準備費 準備及び跡片付け作業（資機材の準備・保管、ボーリング地点の位置出し、資材置き場と作業場所に係る伐開除根及び整地、後片付け、各種許可・申請手続き等）搬入路伐採等に要する費用を計上する。</p> <p>ウ. 仮設費 ボーリングの櫓、足場設備、揚水設備場及び足場の設置撤去、機械の分解解体、給水設備、仮道、仮橋等の設備に要する費用とし必要な額を計上する。</p> <p>エ. 安全費 現場の一般交通に対する交通処理、掲示板、保安柵及び保安灯等や環境保全のための仮囲いに要する費用を計上する。</p> <p>オ. 借地費 特に借上げを必要とする場合等に要する費用を計上する。ただし営繕費対象の敷地については借地料を計上しない。</p> <p>カ. 旅費交通費 当該調査にかかる旅費・交通費を計上する。</p> <p>キ. 施工管理費 出来高及び工程管理写真等に要する費用を計上する。</p>	<p>1-2-3 地質調査業務費構成費目の内容</p> <p>(1) 一般調査業務費 一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。</p> <p>① 純調査費</p> <p>1) 直接調査費 直接調査費は、当該業務に必要な経費のうち次のア. からエ. に掲げるものとする。</p> <p>ア. 材料費 材料費は、当該調査を実施するのに要する材料の費用である。</p> <p>イ. 直接人件費 業務に従事する者の人件費である。なお、名称及びその基準日額等は別途定める。</p> <p>ウ. 機械経費 調査に必要な機器の損料又は使用料とし、各調査の種別毎に積算し計上する。</p> <p>エ. 直接経費</p> <p>a) 電子成果品作成費 電子成果品作成に要する費用を計上する。</p> <p>b) 特許使用料 特許使用料は、契約にもとづき支出する特許使用料及び派出する技術者等に要する費用の合額額とする。</p> <p>c) 水道光熱電力料 水道光熱電力料は、当該調査に必要となる電力、電灯使用料及び用水使用料とする。</p> <hr/> <p>2) 間接調査費 間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次のア. からケ. に掲げるものとする。</p> <p>ア. 運搬費 機械器具の運搬は、機械器具及び資機材運搬、乱さない試料やコアの運搬、現場内小運搬及び作業員の輸送に要する費用を計上する。</p> <p>イ. 準備費 準備及び跡片付け作業（伐開除根、測量、各種許可・申請手続き等）搬入路伐採等に要する費用を計上する。</p> <p>ウ. 仮設費 ボーリングの櫓、足場設備、揚水設備場及び足場の設置撤去、機械の分解解体、給水設備、仮道、仮橋等の設備に要する費用とし必要な額を計上する。</p> <p>エ. 安全費 現場の一般交通に対する交通処理、掲示板、保安柵及び保安灯等や環境保全のための仮囲いに要する費用を計上する。</p> <p>オ. 借地費 特に借上げを必要とする場合等に要する費用を計上する。ただし営繕費対象の敷地については借地料を計上しない。</p> <p>カ. 旅費交通費 当該調査にかかる旅費・交通費であり、宿泊・日当については別に定めるところによる。</p> <p>キ. 施工管理費 出来高及び工程管理写真等に要する費用を計上する。</p>

ページ	改 正	現 行																																				
2-2-17	<p>2-7 解析等調査業務 2-7-1 適用範囲 機械ボーリングの解析等調査業務を含めた業務に適用することとし、単価は特別調査等により別途考慮する。</p> <p>1. 単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 解析等調査業務のうち、既存資料の収集・現地調査、資料整理とりまとめ、断面図等の作成、総合解析とりまとめ、打合せとする。</p> <p>(2) 直接人件費の内、解析等調査業務費として計上する部分は、「6-5-3 土木関係外注設計」におけるその他原価の対象とし、それ以外の部分は直接調査費に計上する。</p> <p>(3) 直接人件費のうち、解析等調査業務費として計上する部分は、「土木関係電子成果物作成要領（案）」、「地質調査電子成果物作成要領（案）」等に基づいて作成する場合にも適用でき、費用についても含む。</p> <p>(4) ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な業務には適用しない。</p> <p>2. 適用に当たっての留意事項</p> <p>(1) 岩盤ボーリング 1 本は土質ボーリング 3 本に換算する。また、ボーリング 1 本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、その 1 本に占める割合が多い方とする。</p> <p>(2) ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。</p>	<p>2-7 解析等調査業務 2-7-1 適用範囲 機械ボーリングの解析等調査業務を含めた業務に適用することとし、単価は特別調査等により別途考慮する。</p> <p>1. 単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 解析等調査業務のうち、既存資料の収集・現地調査、資料整理とりまとめ、断面図等の作成、総合解析とりまとめ、打合せとする。</p> <p>(2) 直接人件費の内、解析等調査業務費として計上する部分は、<u>コンサルタント的調査業務としての</u>その他原価の対象とし、それ以外の部分は直接調査費に計上する。</p> <p>(3) <u>ダム、トンネル、地すべり、砂防等の大規模な業務や技術的に高度な業務には適用しない。</u></p> <p>(4) <u>「土木関係電子成果物作成要領（案）」、「地質調査電子成果物作成要領（案）」等に基づいて作成する場合にも適用でき、費用についても含む。</u></p> <p>2. 適用に当たっての留意事項</p> <p>(1) 岩盤ボーリング 1 本は土質ボーリング 3 本に換算する。また、ボーリング 1 本中に土質ボーリングと岩盤ボーリングが混在する場合は、その 1 本に占める割合が多い方とする。</p> <p>(2) ボーリングのせん孔長は考慮しないものとする。</p>																																				
改 2-2-20	<p>2-8-3 地盤情報データベースに登録するための検定費 地盤情報データベースに登録するための検定費 = (ボーリング 1 本当たりの検定費用) × (ボーリング本数)</p>	<p>(追加)</p>																																				
改 2-2-25 現 2-2-24	<p>第 4 節 物理探査業務</p>	<p>第 4 節 物理波探査業務</p>																																				
改 2-2-27 現 2-2-26	<p>4-2 弾性波探査業務 4-2-1 適用範囲 本業務は、弾性波探査器（24 成分）を使用して探査する発破法及びスタッキング法に適用する。 また、本歩掛の適用延長は発破法の場合は測線延長 4 km まで、スタッキング法の場合は測線延長 1.5 km までとする。 地域及び地形については、地域は原野又は森林、地形は丘陵地、低山地又は高山地の場合に適用出来るものとする。</p> <p>4-2-2 業務区分</p> <table border="1" data-bbox="385 1543 1424 1858"> <thead> <tr> <th>業 務 名</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td>実施計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td>測線計画、起振計画のための現地踏査</td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td>測線計画、起振計画のための資料検討</td> </tr> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td>現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td>現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）</td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td>観測結果についての解析及び地層、地質の判定</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>計画準備、側線設定、観測、解析についての照査</td> </tr> <tr> <td>報告書とりまとめ</td> <td>調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる</td> </tr> </tbody> </table>	業 務 名	適 用 範 囲	計 画 準 備	実施計画書の作成	現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査	資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討	測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）	観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）	解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定	照 査	計画準備、側線設定、観測、解析についての照査	報告書とりまとめ	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる	<p>4-2 弾性波探査業務 4-2-1 適用範囲 本業務は、弾性波探査器（24 成分）を使用して探査する発破法及びスタッキング法に適用する。 また、本歩掛の適用延長は発破法の場合は測線延長 4 km まで、スタッキング法の場合は測線延長 1.5 km までとする。 地域及び地形については、地域は原野又は森林、地形は丘陵地、低山地又は高山地の場合に適用出来るものとする。</p> <p>4-2-2 業務区分</p> <table border="1" data-bbox="1647 1543 2686 1858"> <thead> <tr> <th>業 務 名</th> <th>適 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td>実施計画書の作成</td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td>測線計画、起振計画のための現地踏査</td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td>測線計画、起振計画のための資料検討</td> </tr> <tr> <td>測 線 設 定</td> <td>現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）</td> </tr> <tr> <td>観 測</td> <td>現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）</td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td>観測結果についての解析及び地層、地質の判定</td> </tr> <tr> <td>(追加)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書とりまとめ</td> <td>調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる</td> </tr> </tbody> </table>	業 務 名	適 用 範 囲	計 画 準 備	実施計画書の作成	現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査	資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討	測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）	観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）	解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定	(追加)		報告書とりまとめ	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる
業 務 名	適 用 範 囲																																					
計 画 準 備	実施計画書の作成																																					
現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査																																					
資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討																																					
測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）																																					
観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）																																					
解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定																																					
照 査	計画準備、側線設定、観測、解析についての照査																																					
報告書とりまとめ	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる																																					
業 務 名	適 用 範 囲																																					
計 画 準 備	実施計画書の作成																																					
現 地 踏 査	測線計画、起振計画のための現地踏査																																					
資 料 検 討	測線計画、起振計画のための資料検討																																					
測 線 設 定	現地における測線設置（伐採、測量、杭打ちを含む）																																					
観 測	現地における探査観測（起振、展開、受信、記録）																																					
解 析	観測結果についての解析及び地層、地質の判定																																					
(追加)																																						
報告書とりまとめ	調査結果の評価、考察、検討を整理して報告書としてとりまとめる																																					

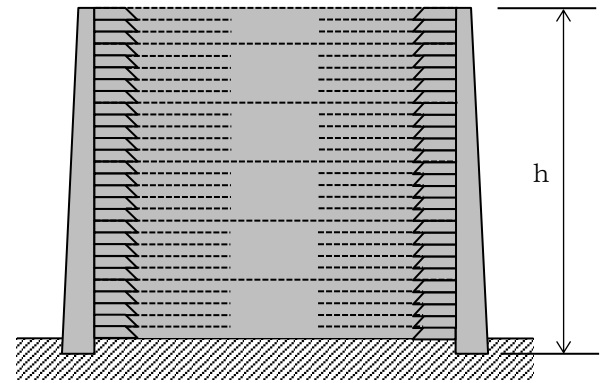
6-5-2 土木関係地質調査 【新旧対照表 R元.9】

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>改 2-2-27 現 2-2-26</p>	<p>4-2-4 解析等調査業務費及び直接調査費 (1) 発破法及びスタッキング法標準歩掛 (受振点間隔 5m) 解析等調査業務費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td></td> <td>2.2</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td></td> <td>1.2</td> <td>2.0</td> <td>3.5</td> <td>5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>3.2</td> <td>9.5</td> <td>12.0</td> <td>5.0</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 発破法及びスタッキング法標準歩掛 (受振点間隔 10m) 解析等調査業務費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td></td> <td>2.2</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td></td> <td>0.7</td> <td>1.5</td> <td>3.0</td> <td>3.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>2.7</td> <td>9.0</td> <td>11.5</td> <td>3.3</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職 種	直 接 人 件 費					技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	計 画 準 備			2.0	2.0		2.0	現 地 踏 査			2.2	1.0			資 料 検 討			0.5	1.5			解 析		1.2	2.0	3.5	5.0		照 査		0.5	0.8				報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0			合 計		3.2	9.5	12.0	5.0	2.0	区 分	職 種	直 接 人 件 費					技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	計 画 準 備			2.0	2.0		2.0	現 地 踏 査			2.2	1.0			資 料 検 討			0.5	1.5			解 析		0.7	1.5	3.0	3.3		照 査		0.5	0.8				報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0			合 計		2.7	9.0	11.5	3.3	2.0	<p>4-2-4 解析等調査業務費及び直接調査費 (1) 発破法及びスタッキング法標準歩掛 (受振点間隔 5m) 解析等調査業務費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="6">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>6.0</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(追加)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>9.0</td> <td>12.0</td> <td>6.0</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 発破法及びスタッキング法標準歩掛 (受振点間隔 10m) 解析等調査業務費 (1 km 当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="6">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 検 討</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解 析</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(追加)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報 告 書 取 り ま と め</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>8.5</td> <td>11.5</td> <td>4.0</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職 種	直 接 人 件 費						技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	計 画 準 備			2.0	2.0		2.0		現 地 踏 査			2.0	1.0				資 料 検 討			0.5	1.5				解 析		1.5	2.5	3.5	6.0	1.5		(追加)								報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0				合 計		3.0	9.0	12.0	6.0	3.5		区 分	職 種	直 接 人 件 費						技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	計 画 準 備			2.0	2.0		2.0		現 地 踏 査			2.0	1.0				資 料 検 討			0.5	1.5				解 析		1.0	2.0	3.0	4.0	1.5		(追加)								報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0				合 計		2.5	8.5	11.5	4.0	3.5	
区 分	職 種			直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																																																																																				
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C																																																																																																																																																																																																																																																																		
計 画 準 備			2.0	2.0		2.0																																																																																																																																																																																																																																																																		
現 地 踏 査			2.2	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
資 料 検 討			0.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
解 析		1.2	2.0	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																			
照 査		0.5	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																					
報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
合 計		3.2	9.5	12.0	5.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																		
区 分	職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																																																																																						
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C																																																																																																																																																																																																																																																																		
計 画 準 備			2.0	2.0		2.0																																																																																																																																																																																																																																																																		
現 地 踏 査			2.2	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
資 料 検 討			0.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
解 析		0.7	1.5	3.0	3.3																																																																																																																																																																																																																																																																			
照 査		0.5	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																					
報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
合 計		2.7	9.0	11.5	3.3	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																		
区 分	職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																																																																																						
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																	
計 画 準 備			2.0	2.0		2.0																																																																																																																																																																																																																																																																		
現 地 踏 査			2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
資 料 検 討			0.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
解 析		1.5	2.5	3.5	6.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																		
(追加)																																																																																																																																																																																																																																																																								
報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
合 計		3.0	9.0	12.0	6.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																		
区 分	職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																																																																																						
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																	
計 画 準 備			2.0	2.0		2.0																																																																																																																																																																																																																																																																		
現 地 踏 査			2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
資 料 検 討			0.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
解 析		1.0	2.0	3.0	4.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																		
(追加)																																																																																																																																																																																																																																																																								
報 告 書 取 り ま と め		1.5	2.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
合 計		2.5	8.5	11.5	4.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>改 2-2-28 現 2-2-27</p>	<p>6-6 その他 (1) 打合せ 中間打合せの回数は4回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p> <p>(2) 電子成果品作成費 地すべり調査の電子成果品作成費は、「6-5-3 土木関係外注設計」による。</p>	<p>6-6 その他 (1) 打合せ 中間打合せの回数は4回を標準とし、必要に応じて2回を標準とするが、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。</p> <p>(2) 電子成果品作成費 電子成果品作成費(千円) = 5.1X^{0.38} ただし、X：直接人件費(千円) (注) 1.Xの対象となる直接人件費は、6-3-1～6-3-4の該当項目における設置・観測・資料整理である。 なお、撤去を行う場合の直接人件費も対象とする。 2.上式の電子成果品作成費の算出にあたっては、直接人件費を千円単位(小数点以下切捨て)で代入する。 3.算出された電子成果品作成費(千円)は、千円未満を切捨てる(小数点以下切捨て)ものとする。 4.電子成果品作成費の上下限については、上限:250千円、下限20千円とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																						

ページ	改正	現行
目次 - 1	土木関係外注設計	土木関係外注設計
	目次	目次
	<p>1 適用範囲 1</p> <p>2 工事工種体系の構成 1</p> <p>3 業務委託料の積算 3</p> <p>4 電子成果品作成費 4</p> <p>5 標準歩掛 4</p> <p>5-1 土構造 6</p> <p> (1) 土留擁壁 6</p> <p> (2) 盛土補強土壁 8</p> <p> (3) ケーソン 9</p> <p> (4) 鋼管矢板井筒 11</p> <p> (5) 杭基礎 13</p> <p> (6) 土構造歩掛補正率 15</p> <p>5-2 R C 構造 17</p> <p> (1) 橋台 17</p> <p> (2) 橋脚 20</p> <p> (3) 函渠 23</p> <p> (4) スラブ桁 25</p> <p> (5) H形鋼埋込桁 26</p> <p> (6) 単T桁 27</p> <p> (7) 箱形桁 28</p> <p> (8) ラーメン高架橋 29</p> <p> (9) ラーメン橋台 32</p> <p> (10) 階段 34</p> <p> (11) 補強土一体橋梁 (G R S 一体橋梁) 35</p> <p> (12) R C 構造歩掛補正率 36</p> <p>5-3 P C 及び P P C 構造 38</p> <p> (1) P C 及び P P C I 形桁 38</p> <p> (2) P C 下路桁 40</p> <p> (3) P C 及び P P C 箱桁 42</p> <p> (4) 2 径間連続 P C 箱桁 44</p> <p> (5) 3 径間連続 P C 箱桁 45</p> <p> (6) 4 径間連続 P C 箱桁 46</p> <p> (7) P C 及び P P C 構造歩掛補正率 47</p> <p>5-4 鋼構造 49</p> <p> (1) スルートルース 49</p> <p> (2) 3 径間連続トラス 51</p> <p> (3) 合成桁 53</p> <p> (4) スルーガーダー 55</p> <p> (5) デックガーダー 57</p> <p> (6) 鋼ラーメン橋脚 (門型) 58</p> <p> (7) 鋼構造歩掛補正率 59</p> <p>5-5 こ線人道橋、乗換こ線橋 61</p>	<p>1 適用範囲 1</p> <p>2 工事工種体系の構成 1</p> <p>3 業務委託料の積算 3</p> <p>4 電子成果品作成費 4</p> <p>5 標準歩掛 4</p> <p>5-1 土構造 6</p> <p> (1) 土留擁壁 6</p> <p> <u>新規追加</u></p> <p> (2) ケーソン 8</p> <p> (3) 鋼管矢板井筒 9</p> <p> (4) 杭基礎 11</p> <p> (5) 土構造歩掛補正率 12</p> <p>5-2 R C 構造 14</p> <p> (1) 橋台 14</p> <p> (2) 橋脚 15</p> <p> (3) 函渠 17</p> <p> (4) スラブ桁 19</p> <p> (5) H形鋼埋込桁 20</p> <p> (6) 単T桁 22</p> <p> (7) 箱形桁 23</p> <p> (8) ラーメン高架橋 24</p> <p> (9) ラーメン橋台 26</p> <p> (10) 階段 28</p> <p> <u>新規追加</u></p> <p> (11) R C 構造歩掛補正率 29</p> <p>5-3 P C 及び P P C 構造 31</p> <p> (1) P C 及び P P C I 形桁 31</p> <p> (2) P C 下路桁 33</p> <p> (3) P C 及び P P C 箱桁 35</p> <p> (4) 2 径間連続 P C 箱桁 37</p> <p> (5) 3 径間連続 P C 箱桁 38</p> <p> (6) 4 径間連続 P C 箱桁 39</p> <p> (7) P C 及び P P C 構造歩掛補正率 40</p> <p>5-4 鋼構造 42</p> <p> (1) スルートルース 42</p> <p> (2) 3 径間連続トラス 44</p> <p> (3) 合成桁 46</p> <p> (4) スルーガーダー 48</p> <p> (5) デックガーダー 50</p> <p> (6) 鋼ラーメン橋脚 (門型) 51</p> <p> (7) 鋼構造歩掛補正率 52</p> <p>5-5 こ線人道橋、乗換こ線橋 54</p>

ページ	改 正	現 行
目次 - 2	<p>5-6 橋面工 65</p> <p> (1) 防音壁・地覆・ダクト 65</p> <p> (2) 路鉄・突起 66</p> <p>5-7 軌道構造 (1) 70</p> <p> (1) 一般図 70</p> <p> (2) 組立図 73</p> <p> (3) 軌間線寸法図 77</p> <p> (4) 附属品 77</p> <p> (5) 軌道構造歩掛表 81</p> <p>5-8 軌道構造 (2) 82</p> <p> (1) 軌道スラブ 82</p> <p> (2) スラブ軌道構造歩掛補正率表 83</p> <p>5-9 橋上ロングレール軸力計算 84</p> <p> (1) 橋上ロングレール計算 84</p> <p> (2) 橋上ロングレール修正計算 84</p> <p>6 設計区分 85</p> <p>6-1 詳細設計 86</p> <p>6-2 概略設計 86</p> <p>6-3 調査設計 87</p> <p>6-4 比較設計 87</p> <p>6-5 修正設計 87</p> <p>6-6 耐震検討 88</p> <p>6-7 設計検討 89</p> <p>参考資料 1 90</p> <p>第 1 章 総 則 91</p> <p> 第 1 節 用語の定義 91</p> <p>第 2 章 積算基準 91</p> <p> 第 1 節 積算基準 91</p> <p> 1-1 技術者の職種区分 91</p> <p> 1-2 設計打合せ 91</p> <p> 1-3 旅費交通費 92</p> <p> 1-3-1 旅費交通費の率を用いた積算 92</p> <p> 1-3-2 旅費交通費の率を用いない積算 93</p> <p> 1-3-3 旅費交通費の構成 93</p> <p> 1-3-4 旅費交通費等の積算例(滞在時) 93</p> <p> 1-3-5 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定 94</p> <p> 1-4 技術者単価 94</p> <p> 1-5 技術者基準日額時間外手当の算出 94</p> <p>参考資料 2 95</p> <p> I 設計作業歩掛設定作業フロー 96</p> <p> I-1 主要部材の断面が変更となる場合の設計条件 97</p> <p> II 詳細設計をする場合の設計人工算出例 98</p> <p> III 比較設計をする場合の設計費算出例 99</p> <p> IV 修正設計区分及び修正率 100</p>	<p>新規追加</p> <p>新規追加</p> <p>新規追加</p> <p>5-6 軌道構造 (1) 58</p> <p> (1) 一般図 58</p> <p> (2) 組立図 60</p> <p> (3) 軌間線寸法図 65</p> <p> (4) 附属品 65</p> <p> (5) 軌道構造歩掛表 69</p> <p>5-7 軌道構造 (2) 70</p> <p> (1) 軌道スラブ 70</p> <p> (2) スラブ軌道構造歩掛補正率表 71</p> <p>5-8 橋上ロングレール軸力計算 72</p> <p> (1) 橋上ロングレール計算 72</p> <p> (2) 橋上ロングレール修正計算 72</p> <p>6 設計区分 73</p> <p>6-1 詳細設計 74</p> <p>6-2 概略設計 74</p> <p>6-3 調査設計 75</p> <p>6-4 比較設計 75</p> <p>6-5 修正設計 75</p> <p>6-6 耐震検討 76</p> <p>6-7 設計検討 77</p> <p>参考資料 1 78</p> <p>第 1 章 総 則 79</p> <p> 第 1 節 用語の定義 79</p> <p>第 2 章 積算基準 79</p> <p> 第 1 節 積算基準 79</p> <p> 1-1 技術者の職種区分 79</p> <p> 1-2 設計打合せ 79</p> <p> 1-3 旅費交通費 80</p> <p> 1-3-1 通勤及び宿泊の区分 80</p> <p> 1-3-2 旅費交通費の扱い 80</p> <p> 1-3-3 旅費交通費の構成 81</p> <p> 1-3-4 旅費交通費積算例 81</p> <p> 1-3-5 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定 82</p> <p> 1-4 技術者単価 82</p> <p> 1-5 技術者基準日額時間外手当の算出 82</p> <p>参考資料 2 83</p> <p> I 設計作業歩掛設定作業フロー 84</p> <p> I-1 主要部材の断面が変更となる場合の設計条件 85</p> <p> II 詳細設計をする場合の設計人工算出例 86</p> <p> III 比較設計をする場合の設計費算出例 87</p> <p> IV 修正設計区分及び修正率 88</p>

ページ	改 正				現 行																																																																																																																																																																																																																																	
1	<p>2 工事工種体系の構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>工 種</th> <th>種 別</th> <th>細 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詳細設計</td> <td>土 構 造</td> <td>土 留 擁 壁</td> <td rowspan="15">「工事工種体系の構成表」による</td> </tr> <tr> <td>概略設計</td> <td></td> <td>ケ ー ソ ン</td> </tr> <tr> <td>調査設計</td> <td></td> <td>鋼 管 矢 板 井 筒</td> </tr> <tr> <td>比較設計</td> <td></td> <td>杭 基 礎</td> </tr> <tr> <td>修正設計</td> <td>R C 構 造</td> <td>橋 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>橋 脚</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>函 渠</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R C 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ラ ー メ ン 高 架 橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ラ ー メ ン 橋 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>階 段</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補 強 土 一 体 橋 梁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC及びPPC構造</td> <td>PC及びPPCI形</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>P C 下 路 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>P C 及 び P P C 箱 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>連 続 P C 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼 構 造</td> <td>ト ラ ス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合 成 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ス ル ー ガ ー ダ ー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>デ ッ ク ガ ー ダ ー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>鋼 ラ ー メ ン 橋 脚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>こ線人道橋・乗換こ線橋</td> <td>こ 線 人 道 橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>乗 換 こ 線 橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td>橋 面 工</td> <td>防 音 壁 ・ 地 覆 ・ ダ ク ト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>路 鉄 ・ 突 起</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軌道構造(1)</td> <td>分 岐 器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軌道構造(2)</td> <td>軌 道 ス ラ ブ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>橋上ロングレール軸力計算</td> <td>橋 上 ロ ン グ レ ー ル 計 算</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設計業務共通</td> <td>直 接 経 費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>打 合 せ 協 議 等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直接原価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>業務原価</td> <td>そ の 他 原 価</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>業務価格</td> <td>一 般 管 理 費 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>業務委託料</td> <td>消 費 税 相 当 額</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区 分	工 種	種 別	細 別	詳細設計	土 構 造	土 留 擁 壁	「工事工種体系の構成表」による	概略設計		ケ ー ソ ン	調査設計		鋼 管 矢 板 井 筒	比較設計		杭 基 礎	修正設計	R C 構 造	橋 台			橋 脚			函 渠			R C 桁			ラ ー メ ン 高 架 橋			ラ ー メ ン 橋 台			階 段			補 強 土 一 体 橋 梁		PC及びPPC構造	PC及びPPCI形			P C 下 路 桁			P C 及 び P P C 箱 桁			連 続 P C 桁		鋼 構 造	ト ラ ス			合 成 桁			ス ル ー ガ ー ダ ー			デ ッ ク ガ ー ダ ー			鋼 ラ ー メ ン 橋 脚		こ線人道橋・乗換こ線橋	こ 線 人 道 橋			乗 換 こ 線 橋		橋 面 工	防 音 壁 ・ 地 覆 ・ ダ ク ト			路 鉄 ・ 突 起		軌道構造(1)	分 岐 器		軌道構造(2)	軌 道 ス ラ ブ		橋上ロングレール軸力計算	橋 上 ロ ン グ レ ー ル 計 算		設計業務共通	直 接 経 費			打 合 せ 協 議 等		直接原価				業務原価	そ の 他 原 価			業務価格	一 般 管 理 費 等			業務委託料	消 費 税 相 当 額		<p>2 工事工種体系の構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>工 種</th> <th>種 別</th> <th>細 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>詳細設計</td> <td>土 構 造</td> <td>土 留 擁 壁</td> <td rowspan="15">「工事工種体系の構成表」による</td> </tr> <tr> <td>概略設計</td> <td></td> <td>ケ ー ソ ン</td> </tr> <tr> <td>調査設計</td> <td></td> <td>鋼 管 矢 板 井 筒</td> </tr> <tr> <td>比較設計</td> <td></td> <td>杭 基 礎</td> </tr> <tr> <td>修正設計</td> <td>R C 構 造</td> <td>橋 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>橋 脚</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>函 渠</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>R C 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ラ ー メ ン 高 架 橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ラ ー メ ン 橋 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>階 段</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新 規 追 加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC及びPPC構造</td> <td>PC及びPPCI形</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>P C 下 路 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>P C 及 び P P C 箱 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>連 続 P C 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼 構 造</td> <td>ト ラ ス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合 成 桁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ス ル ー ガ ー ダ ー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>デ ッ ク ガ ー ダ ー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>鋼 ラ ー メ ン 橋 脚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>こ線人道橋・乗換こ線橋</td> <td>こ 線 人 道 橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>乗 換 こ 線 橋</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新 規 追 加</td> <td>新 規 追 加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新 規 追 加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軌道構造(1)</td> <td>分 岐 器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軌道構造(2)</td> <td>軌 道 ス ラ ブ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>橋上ロングレール軸力計算</td> <td>橋 上 ロ ン グ レ ー ル 計 算</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設計業務共通</td> <td>直 接 経 費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>打 合 せ 協 議 等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直接原価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>業務原価</td> <td>そ の 他 原 価</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>業務価格</td> <td>一 般 管 理 費 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>業務委託料</td> <td>消 費 税 相 当 額</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区 分	工 種	種 別	細 別	詳細設計	土 構 造	土 留 擁 壁	「工事工種体系の構成表」による	概略設計		ケ ー ソ ン	調査設計		鋼 管 矢 板 井 筒	比較設計		杭 基 礎	修正設計	R C 構 造	橋 台			橋 脚			函 渠			R C 桁			ラ ー メ ン 高 架 橋			ラ ー メ ン 橋 台			階 段			新 規 追 加		PC及びPPC構造	PC及びPPCI形			P C 下 路 桁			P C 及 び P P C 箱 桁			連 続 P C 桁		鋼 構 造	ト ラ ス			合 成 桁			ス ル ー ガ ー ダ ー			デ ッ ク ガ ー ダ ー			鋼 ラ ー メ ン 橋 脚		こ線人道橋・乗換こ線橋	こ 線 人 道 橋			乗 換 こ 線 橋		新 規 追 加	新 規 追 加			新 規 追 加		軌道構造(1)	分 岐 器		軌道構造(2)	軌 道 ス ラ ブ		橋上ロングレール軸力計算	橋 上 ロ ン グ レ ー ル 計 算		設計業務共通	直 接 経 費			打 合 せ 協 議 等		直接原価				業務原価	そ の 他 原 価			業務価格	一 般 管 理 費 等			業務委託料	消 費 税 相 当 額	
区 分	工 種	種 別	細 別																																																																																																																																																																																																																																			
詳細設計	土 構 造	土 留 擁 壁	「工事工種体系の構成表」による																																																																																																																																																																																																																																			
概略設計		ケ ー ソ ン																																																																																																																																																																																																																																				
調査設計		鋼 管 矢 板 井 筒																																																																																																																																																																																																																																				
比較設計		杭 基 礎																																																																																																																																																																																																																																				
修正設計	R C 構 造	橋 台																																																																																																																																																																																																																																				
		橋 脚																																																																																																																																																																																																																																				
		函 渠																																																																																																																																																																																																																																				
		R C 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		ラ ー メ ン 高 架 橋																																																																																																																																																																																																																																				
		ラ ー メ ン 橋 台																																																																																																																																																																																																																																				
		階 段																																																																																																																																																																																																																																				
		補 強 土 一 体 橋 梁																																																																																																																																																																																																																																				
	PC及びPPC構造	PC及びPPCI形																																																																																																																																																																																																																																				
		P C 下 路 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		P C 及 び P P C 箱 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		連 続 P C 桁																																																																																																																																																																																																																																				
	鋼 構 造	ト ラ ス																																																																																																																																																																																																																																				
		合 成 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		ス ル ー ガ ー ダ ー																																																																																																																																																																																																																																				
		デ ッ ク ガ ー ダ ー																																																																																																																																																																																																																																				
		鋼 ラ ー メ ン 橋 脚																																																																																																																																																																																																																																				
	こ線人道橋・乗換こ線橋	こ 線 人 道 橋																																																																																																																																																																																																																																				
		乗 換 こ 線 橋																																																																																																																																																																																																																																				
	橋 面 工	防 音 壁 ・ 地 覆 ・ ダ ク ト																																																																																																																																																																																																																																				
		路 鉄 ・ 突 起																																																																																																																																																																																																																																				
	軌道構造(1)	分 岐 器																																																																																																																																																																																																																																				
	軌道構造(2)	軌 道 ス ラ ブ																																																																																																																																																																																																																																				
	橋上ロングレール軸力計算	橋 上 ロ ン グ レ ー ル 計 算																																																																																																																																																																																																																																				
	設計業務共通	直 接 経 費																																																																																																																																																																																																																																				
		打 合 せ 協 議 等																																																																																																																																																																																																																																				
	直接原価																																																																																																																																																																																																																																					
	業務原価	そ の 他 原 価																																																																																																																																																																																																																																				
	業務価格	一 般 管 理 費 等																																																																																																																																																																																																																																				
	業務委託料	消 費 税 相 当 額																																																																																																																																																																																																																																				
区 分	工 種	種 別	細 別																																																																																																																																																																																																																																			
詳細設計	土 構 造	土 留 擁 壁	「工事工種体系の構成表」による																																																																																																																																																																																																																																			
概略設計		ケ ー ソ ン																																																																																																																																																																																																																																				
調査設計		鋼 管 矢 板 井 筒																																																																																																																																																																																																																																				
比較設計		杭 基 礎																																																																																																																																																																																																																																				
修正設計	R C 構 造	橋 台																																																																																																																																																																																																																																				
		橋 脚																																																																																																																																																																																																																																				
		函 渠																																																																																																																																																																																																																																				
		R C 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		ラ ー メ ン 高 架 橋																																																																																																																																																																																																																																				
		ラ ー メ ン 橋 台																																																																																																																																																																																																																																				
		階 段																																																																																																																																																																																																																																				
		新 規 追 加																																																																																																																																																																																																																																				
	PC及びPPC構造	PC及びPPCI形																																																																																																																																																																																																																																				
		P C 下 路 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		P C 及 び P P C 箱 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		連 続 P C 桁																																																																																																																																																																																																																																				
	鋼 構 造	ト ラ ス																																																																																																																																																																																																																																				
		合 成 桁																																																																																																																																																																																																																																				
		ス ル ー ガ ー ダ ー																																																																																																																																																																																																																																				
		デ ッ ク ガ ー ダ ー																																																																																																																																																																																																																																				
		鋼 ラ ー メ ン 橋 脚																																																																																																																																																																																																																																				
	こ線人道橋・乗換こ線橋	こ 線 人 道 橋																																																																																																																																																																																																																																				
		乗 換 こ 線 橋																																																																																																																																																																																																																																				
	新 規 追 加	新 規 追 加																																																																																																																																																																																																																																				
		新 規 追 加																																																																																																																																																																																																																																				
	軌道構造(1)	分 岐 器																																																																																																																																																																																																																																				
	軌道構造(2)	軌 道 ス ラ ブ																																																																																																																																																																																																																																				
	橋上ロングレール軸力計算	橋 上 ロ ン グ レ ー ル 計 算																																																																																																																																																																																																																																				
	設計業務共通	直 接 経 費																																																																																																																																																																																																																																				
		打 合 せ 協 議 等																																																																																																																																																																																																																																				
	直接原価																																																																																																																																																																																																																																					
	業務原価	そ の 他 原 価																																																																																																																																																																																																																																				
	業務価格	一 般 管 理 費 等																																																																																																																																																																																																																																				
	業務委託料	消 費 税 相 当 額																																																																																																																																																																																																																																				

ページ	改正	現行																																																																								
8	<p>(2) 盛土補強土壁</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" data-bbox="489 661 1320 1354"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>4.5</td> <td>5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>3.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照査</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>1.0</td> <td>3.5</td> <td>8.0</td> <td>10.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の上段は限界状態設計法の標準歩掛、下段は耐震設計の標準歩掛である。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直線、直接基礎を基本とする。 ② 1断面当り、高さが変化しない場合とする。 ③ 地層に変化が有る場合又は、補強材を変更する場合は、それぞれ1断面として計上する。 ④ 地盤改良等を要する場合は、別途計上する。 ⑤ 耐震設計標準によるものとする。ただし、L2地震の検討を行う場合は別途計上する。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、補強材詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根掘数量、補強材数量、盛土材体積等。</p>	作業	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	0.5	0.5	0.5			0.5	0.5				設計計算		2.0	4.5	5.0				1.5	0.5		設計図			2.0	3.5	4.0						材料計算			1.0	2.0	2.0						照査	0.5	1.0				0.5					計	1.0	3.5	8.0	10.5	6.0	1.0	0.5	1.5	0.5		新規追加
作業	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																					
設計計画	0.5	0.5	0.5																																																																							
	0.5	0.5																																																																								
設計計算		2.0	4.5	5.0																																																																						
			1.5	0.5																																																																						
設計図			2.0	3.5	4.0																																																																					
材料計算			1.0	2.0	2.0																																																																					
照査	0.5	1.0																																																																								
	0.5																																																																									
計	1.0	3.5	8.0	10.5	6.0																																																																					
	1.0	0.5	1.5	0.5																																																																						

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																					
新9 旧8	<p>(3) ケーソン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>オープンケーソン</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ニューマチックケーソン</p> </div> </div>	<p>(2) ケーソン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>オープンケーソン</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ニューマチックケーソン</p> </div> </div>																																																																																																																																																																																																																																					
	(人)	(人)																																																																																																																																																																																																																																					
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th colspan="5">オープンケーソン</th> <th colspan="5">ニューマチックケーソン</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>6.0</td> <td>8.0</td> <td>3.5</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>8.0</td> <td>10.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>6.5</td> <td>7.0</td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>8.0</td> <td>9.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>9.5</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.0</td> <td>3.5</td> <td>9.5</td> <td>19.5</td> <td>13.5</td> <td>2.0</td> <td>3.5</td> <td>12.5</td> <td>25.5</td> <td>18.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5</td> <td>5.5</td> <td>6.5</td> <td>7.0</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>5.5</td> <td>8.0</td> <td>9.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	形 式	オープンケーソン					ニューマチックケーソン					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設 計 計 画	1.5	1.5				1.5	1.5					0.5	1.0				0.5	1.0				設 計 計 算		1.5	6.0	8.0	3.5		1.5	8.0	10.5	5.0			3.0	6.5	7.0			3.0	8.0	9.0		設 計 図			2.5	7.0	7.0			3.5	9.5	9.5				0.5	3.0	3.0			0.5	4.0	4.0	材 料 計 算											照 査	0.5	0.5	0.5	1.5		0.5	0.5	0.5	1.5			1.0	1.5				1.0	1.5				計	2.0	3.5	9.5	19.5	13.5	2.0	3.5	12.5	25.5	18.5		1.5	5.5	6.5	7.0		1.5	5.5	8.0	9.0		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th colspan="5">オープンケーソン</th> <th colspan="5">ニューマチックケーソン</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>6.0</td> <td>8.0</td> <td>3.5</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>8.0</td> <td>10.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>9.5</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2.0</td> <td>3.5</td> <td>9.5</td> <td>19.5</td> <td>13.5</td> <td>2.0</td> <td>3.5</td> <td>12.5</td> <td>25.5</td> <td>18.5</td> </tr> </tbody> </table>	形 式	オープンケーソン					ニューマチックケーソン					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設 計 計 画	1.5	1.5				1.5	1.5				設 計 計 算		1.5	6.0	8.0	3.5		1.5	8.0	10.5	5.0	設 計 図			2.5	7.0	7.0			3.5	9.5	9.5	材 料 計 算			0.5	3.0	3.0			0.5	4.0	4.0	照 査	0.5	0.5	0.5	1.5		0.5	0.5	0.5	1.5		計	2.0	3.5	9.5	19.5	13.5	2.0	3.5	12.5	25.5	18.5
形 式	オープンケーソン					ニューマチックケーソン																																																																																																																																																																																																																																	
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																													
設 計 計 画	1.5	1.5				1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																
	0.5	1.0				0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																
設 計 計 算		1.5	6.0	8.0	3.5		1.5	8.0	10.5	5.0																																																																																																																																																																																																																													
		3.0	6.5	7.0			3.0	8.0	9.0																																																																																																																																																																																																																														
設 計 図			2.5	7.0	7.0			3.5	9.5	9.5																																																																																																																																																																																																																													
			0.5	3.0	3.0			0.5	4.0	4.0																																																																																																																																																																																																																													
材 料 計 算																																																																																																																																																																																																																																							
照 査	0.5	0.5	0.5	1.5		0.5	0.5	0.5	1.5																																																																																																																																																																																																																														
	1.0	1.5				1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																
計	2.0	3.5	9.5	19.5	13.5	2.0	3.5	12.5	25.5	18.5																																																																																																																																																																																																																													
	1.5	5.5	6.5	7.0		1.5	5.5	8.0	9.0																																																																																																																																																																																																																														
形 式	オープンケーソン					ニューマチックケーソン																																																																																																																																																																																																																																	
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																													
設 計 計 画	1.5	1.5				1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																
設 計 計 算		1.5	6.0	8.0	3.5		1.5	8.0	10.5	5.0																																																																																																																																																																																																																													
設 計 図			2.5	7.0	7.0			3.5	9.5	9.5																																																																																																																																																																																																																													
材 料 計 算			0.5	3.0	3.0			0.5	4.0	4.0																																																																																																																																																																																																																													
照 査	0.5	0.5	0.5	1.5		0.5	0.5	0.5	1.5																																																																																																																																																																																																																														
計	2.0	3.5	9.5	19.5	13.5	2.0	3.5	12.5	25.5	18.5																																																																																																																																																																																																																													
	<p>(注) 1. 上表の上段は限界状態設計法の標準歩掛、下段は耐震設計の標準歩掛。 2. 標準歩掛の設計条件は次による。</p> <p>1) 設計条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 完全支持の場合。 ② 断面形状は、円形、小判形及び矩形等で隔壁がない場合。 ③ 上部からの軸力、水平力、モーメントは既知とする。 ④ 耐震設計標準によるものとする。 <p>2) 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計算 限界状態設計法の場合は、諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安全度、安定、ひびわれ等。 	<p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件次による。</p> <p>1) 設計条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 完全支持の場合。 ② 断面形状は、円形、小判形及び矩形等で隔壁がない場合。 ③ 上部からの軸力、水平力、モーメントは既知とする。 <p>2) 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計算 限界状態設計法の場合は、諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安全度、安定、ひびわれ等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。 																																																																																																																																																																																																																																					

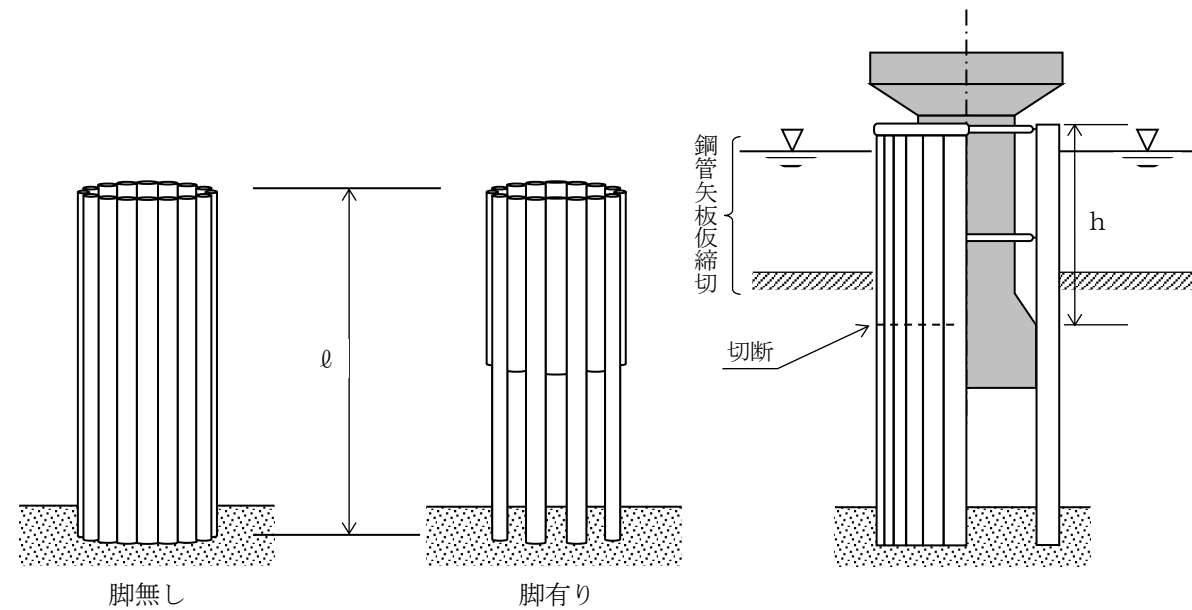
ページ

改正

現行

新11
旧9

(4) 鋼管矢板井筒



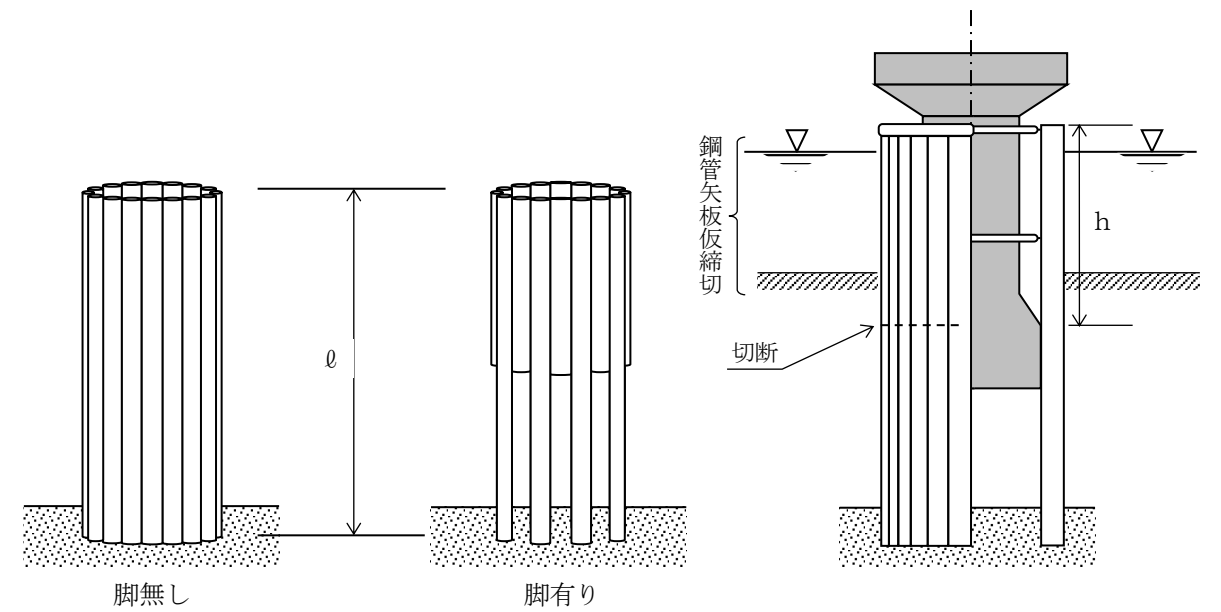
ℓ：井筒の根入長さ。 h：鋼管矢板の頂部より井筒の頂版上面までの深さ。

① 限界状態設計法の標準歩掛

(人)

形 式		鋼 管 矢 板 井 筒					鋼 管 矢 板 締 切					
作 業	職 種	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	職 種	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員
	脚の有無											
設計計画	無	2.0	2.5				6	0.5	0.5			
	有	2.5	3.5				12	0.5	1.5			
設計計算	無		4.0	7.0	7.0	4.0	6		0.5	2.0	2.0	2.0
	有		6.0	9.0	9.5	6.0	12		0.5	4.0	4.0	4.0
設計図	無			4.0	9.5	13.5	6				0.5	2.0
	有			4.0	11.0	16.5	12				1.5	4.0
材料計算	無			1.5	4.0	4.0	6				0.5	0.5
	有			1.5	5.0	5.0	12				0.5	1.5
照 査	無	0.5	0.5	1.5	1.5		6	0.5	0.5			
	有	0.5	0.5	1.5	1.5		12	0.5	0.5			
計	無	2.5	7.0	14.0	22.0	21.5	6	1.0	1.5	2.0	3.0	4.5
	有	3.0	10.0	16.0	27.0	27.5	12	1.0	2.5	4.0	6.0	9.5

(3) 鋼管矢板井筒



ℓ：井筒の根入長さ。 h：鋼管矢板の頂部より井筒の頂版上面までの深さ。

(人)

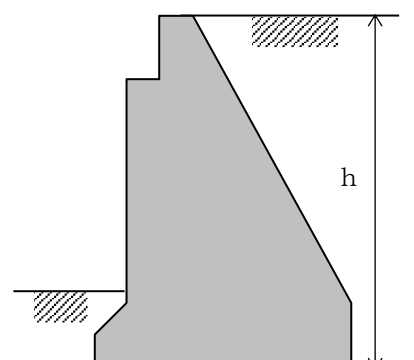
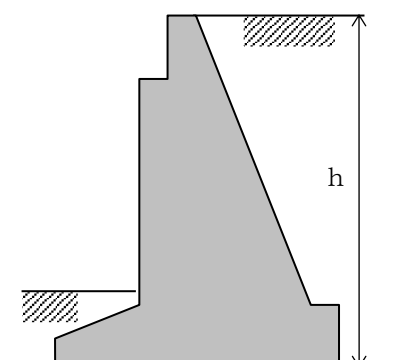
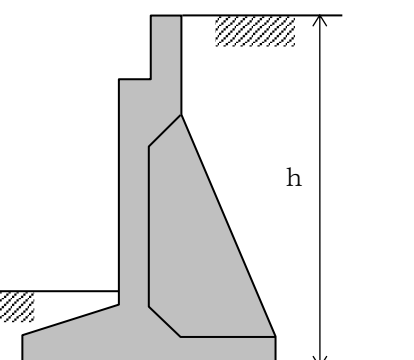
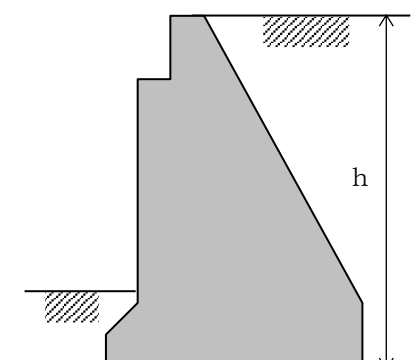
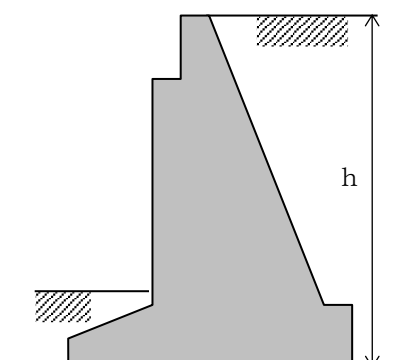
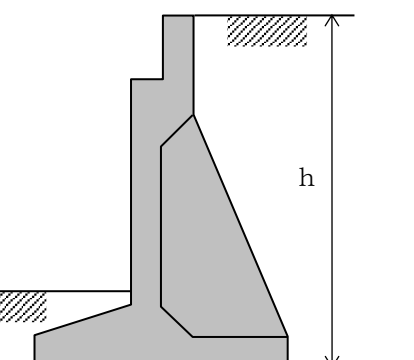
形 式		鋼 管 矢 板 井 筒					鋼 管 矢 板 締 切					
作 業	職 種	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	職 種	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員
	脚の有無											
設計計画	無	2.0	2.5				6	0.5	0.5			
	有	2.5	3.5				12	0.5	1.5			
設計計算	無		4.0	7.0	7.0	4.0	6		0.5	2.0	2.0	2.0
	有		6.0	9.0	9.5	6.0	12		0.5	4.0	4.0	4.0
設計図	無			4.0	9.5	13.5	6				0.5	2.0
	有			4.0	11.0	16.5	12				1.5	4.0
材料計算	無			1.5	4.0	4.0	6				0.5	0.5
	有			1.5	5.0	5.0	12				0.5	1.5
照 査	無	0.5	0.5	1.5	1.5		6	0.5	0.5			
	有	0.5	0.5	1.5	1.5		12	0.5	0.5			
計	無	2.5	7.0	14.0	22.0	21.5	6	1.0	1.5	2.0	3.0	4.5
	有	3.0	10.0	16.0	27.0	27.5	12	1.0	2.5	4.0	6.0	9.5

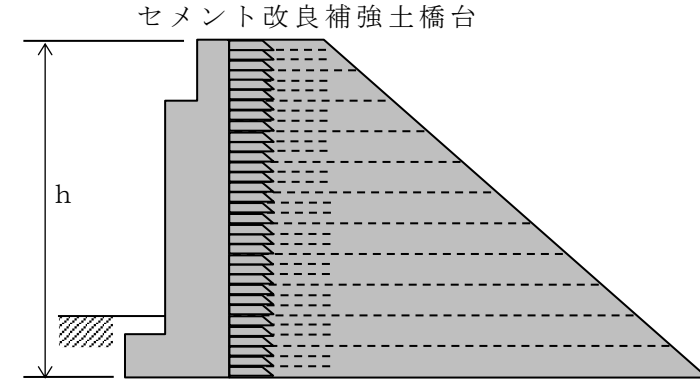
ページ	改正	現行																																																									
新12	<p>②耐震設計の標準歩掛</p>	新規追加																																																									
旧10	<table border="1" data-bbox="320 268 926 779"> <thead> <tr> <th colspan="2">形式</th> <th colspan="5">鋼管矢板井筒</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">作業</th> <th>職種</th> <th rowspan="2">主任技師</th> <th rowspan="2">技師A</th> <th rowspan="2">技師B</th> <th rowspan="2">技師C</th> <th rowspan="2">技術員</th> </tr> <tr> <th>脚の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>無</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td>無</td> <td></td> <td>4.5</td> <td>11.5</td> <td>11.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>無</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>無</td> <td>4.0</td> <td>8.5</td> <td>11.5</td> <td>11.5</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table>	形式		鋼管矢板井筒					作業	職種	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	脚の有無	設計計画	無	1.5	2.5				設計計算	無		4.5	11.5	11.5	6.0	設計図	無						材料計算	無						照査	無	2.5	1.5				計	無	4.0	8.5	11.5	11.5	6.0	
形式		鋼管矢板井筒																																																									
作業	職種	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																					
	脚の有無																																																										
設計計画	無	1.5	2.5																																																								
設計計算	無		4.5	11.5	11.5	6.0																																																					
設計図	無																																																										
材料計算	無																																																										
照査	無	2.5	1.5																																																								
計	無	4.0	8.5	11.5	11.5	6.0																																																					
	<p>(注) 1. 上表は①限界状態設計法の標準歩掛、②耐震設計の標準歩掛である。 ただし、鋼管矢板井筒の脚有りの耐震設計標準歩掛は設定していないため、別途計上すること。</p> <p>2. 上表の標準歩掛は、$h \geq 3m$の場合に適用する。</p> <p>3. 脚の有無の判定が困難で、かつ井筒の根入れ長が30mを超えるものについては脚有りとし、30m以下は脚無しの歩掛を適用する。</p> <p>4. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次による。</p> <p>1) 設計条件</p> <p>① 完全支持の場合。</p> <p>② 断面形状は、円形、小判形及び短形等で隔壁がない場合。ただし、中杭により鉛直力のみ支持するものについては含まれている。</p> <p>③ 上部からの軸力、水平力、モーメントは既知とする。</p> <p>④ 耐震設計標準によるものとする。</p> <p>2) 作業内容</p> <p>① 設計計算</p> <p>ア. 鋼管矢板井筒の安定計算をする場合は、有限長弾性体基礎とし設計するものとする。</p> <p>イ. 鋼管矢板井筒は、諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、ひびわれ等。</p> <p>ウ. 仮締切は、施工を考慮して鋼管矢板に生ずる残留応力及び掘削段階毎のリングビーム等の計算を行うものとする。</p> <p>② 設計図</p> <p>一般図、構造詳細図、仮締切施工順序図、材料表等。</p> <p>③ 材料計算</p> <p>コンクリート体積、鉄筋・鋼材重量、溶接長、掘削数量等。</p>	<p>(注) 1. <u>上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。</u> ただし、<u>鋼管矢板仮締切については許容応力度法にも適用出来る。</u></p> <p>2. 上記歩掛は、$h \geq 3m$の場合に適用する。</p> <p>3. 脚の有無の判定が困難で、かつ井筒の根入れ長が30mを超えるものについては脚有りとし、30m以下は脚無しの歩掛を適用する。</p> <p>4. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次による。</p> <p>1) 設計条件</p> <p>① 完全支持の場合。</p> <p>② 断面形状は、円形、小判形及び短形等で隔壁がない場合。ただし、中杭により鉛直力のみ支持するものについては含まれている。</p> <p>③ 上部からの軸力、水平力、モーメントは既知とする。</p> <p>2) 作業内容</p> <p>① 設計計算</p> <p>ア. 鋼管矢板井筒の安定計算をする場合は、有限長弾性体基礎とし設計するものとする。</p> <p>イ. 鋼管矢板井筒は、諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、ひびわれ等。</p> <p>ウ. 仮締切は、施工を考慮して鋼管矢板に生ずる残留応力及び掘削段階毎のリングビーム等の計算を行うものとする。</p> <p>② 設計図</p> <p>一般図、構造詳細図、仮締切施工順序図、材料表等。</p> <p>③ 材料計算</p> <p>コンクリート体積、鉄筋・鋼材重量、溶接長、掘削数量等。</p>																																																									

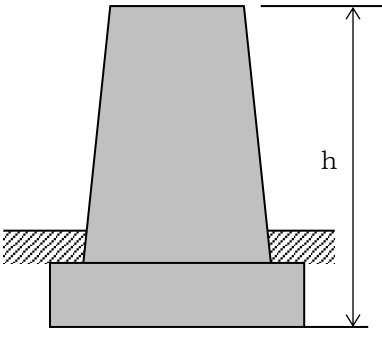
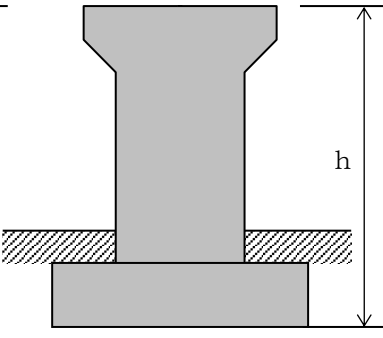
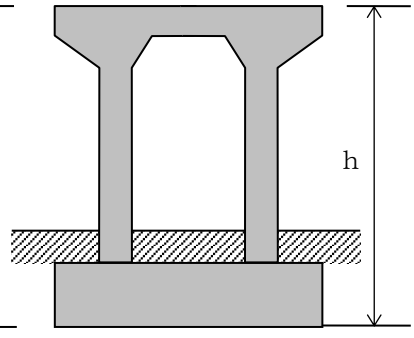
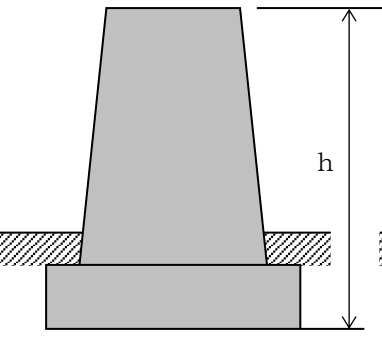
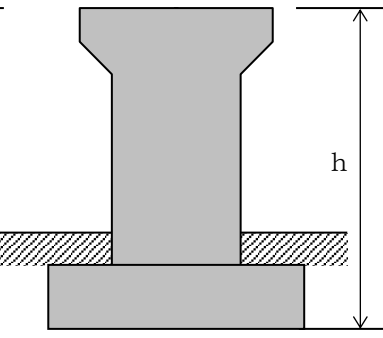
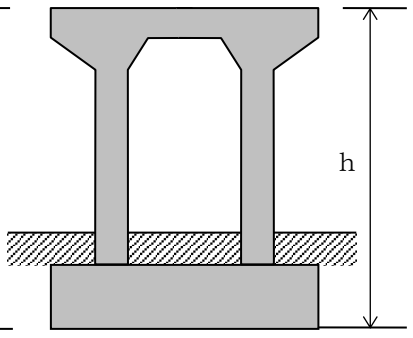
ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
新 13 旧 11	<p>(5) 杭基礎</p> <p>①限界状態設計法の標準歩掛 (人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基礎形式</th> <th colspan="5">既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC)</th> <th colspan="5">場所打コンクリート杭 (深 礎 含 む)</th> <th colspan="5">鋼 杭、S C 杭</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td><td>0.5</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td>5.0</td><td>5.5</td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td>2.5</td><td>5.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>0.5</td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td>1.0</td> <td>1.0</td><td>1.5</td><td>5.0</td><td>6.0</td><td>1.0</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>6.0</td><td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>②耐震設計の標準歩掛 (人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基礎形式</th> <th colspan="5">場所打コンクリート杭</th> <th colspan="5">深 礎 杭</th> <th colspan="5">鋼 杭、S C 杭</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td><td>1.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td></td> <td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td></td> <td></td><td>1.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td></td> <td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td></td> <td>1.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の①は限界状態設計法の標準歩掛、②は耐震設計の標準歩掛である。 ただし、既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC) の耐震設計標準歩掛は設定していないため、別途計上すること。 2. 基礎杭は長さに関係なく、1 構造物 1 種類とする。 3. 単杭の場合は、①限界状態設計法の設計計算人工の技師 B を 0.5 人減ずる。 4. 構造物本体と場所打杭を一体 (一柱一基礎ラーメン) として設定する場合は、場所打杭の歩掛は計上しない。 5. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件は次を基本とする。 ① 上部からの諸荷重は既知とする。 ② 完全支持杭を対象とする。 ③ 杭頭、継手等を含む。 ④ 鋼杭、既製コンクリート杭は J I S 杭等を対象とし、杭体の設計は含まない (検討のみ) ⑤ 耐震設計標準によるものとする。</p>	基礎形式	既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC)					場所打コンクリート杭 (深 礎 含 む)					鋼 杭、S C 杭					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	0.5					0.5	0.5				0.5					設計計算		0.5	2.5	2.5			0.5	5.0	5.5			0.5	2.5	5.5		設 計 図					0.5				0.5	0.5				0.5	0.5	材料計算					0.5					0.5					0.5	照 査		0.5				0.5	0.5					0.5				計	0.5	1.0	2.5	2.5	1.0	1.0	1.5	5.0	6.0	1.0	0.5	1.0	2.5	6.0	1.0	基礎形式	場所打コンクリート杭					深 礎 杭					鋼 杭、S C 杭					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	0.5	1.0				0.5					0.5	1.0				設計計算		1.0	3.0	3.0			1.0	2.0	1.5			1.0	3.0	3.0		設 計 図																材料計算																照 査	0.5	1.0				0.5	1.0				0.5	1.0				計	1.0	3.0	3.0	3.0		1.0	2.0	2.0	1.5		1.0	3.0	3.0	3.0		<p>(4) 杭基礎 (人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基礎形式</th> <th colspan="5">既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC)</th> <th colspan="5">場所打コンクリート杭 (深 基 礎 含 む)</th> <th colspan="5">鋼 杭、S C 杭</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td><td>0.5</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td>5.0</td><td>5.5</td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td>5.0</td><td>5.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>0.5</td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td>1.0</td> <td>1.0</td><td>1.5</td><td>5.0</td><td>6.0</td><td>1.0</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>6.0</td><td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規追加</p> <p>(注) 1. <u>上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。</u> 2. 基礎杭は長さに関係なく、1 構造物 1 種類とする。 3. 単杭の場合は、設計計算人工の技師 B を 0.5 人減ずる。 4. 構造物本体と場所打杭を一体 (一柱一基礎ラーメン) として設定する場合は、場所打杭の歩掛は計上しない。 5. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件は次を基本とする。 ① 上部からの諸荷重は既知とする。 ② 完全支持杭を対象とする。 ③ 杭頭、継手等を含む。 ④ 鋼杭、既製コンクリート杭は J I S 杭等を対象とし、杭体の設計は含まない (検討のみ) 2) <u>作業内容</u> ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安全度、安定、ひびわれ等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋 (鋼材) 重量等。</p>	基礎形式	既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC)					場所打コンクリート杭 (深 基 礎 含 む)					鋼 杭、S C 杭					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	0.5					0.5	0.5				0.5					設計計算		0.5	2.5	2.5			0.5	5.0	5.5			0.5	5.0	5.5		設 計 図					0.5				0.5	0.5				0.5	0.5	材料計算					0.5					0.5					0.5	照 査		0.5				0.5	0.5					0.5				計	0.5	1.0	2.5	2.5	1.0	1.0	1.5	5.0	6.0	1.0	0.5	1.0	2.5	6.0	1.0
基礎形式	既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC)					場所打コンクリート杭 (深 礎 含 む)					鋼 杭、S C 杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
設計計画	0.5					0.5	0.5				0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計計算		0.5	2.5	2.5			0.5	5.0	5.5			0.5	2.5	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
設 計 図					0.5				0.5	0.5				0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材料計算					0.5					0.5					0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
照 査		0.5				0.5	0.5					0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	0.5	1.0	2.5	2.5	1.0	1.0	1.5	5.0	6.0	1.0	0.5	1.0	2.5	6.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
基礎形式	場所打コンクリート杭					深 礎 杭					鋼 杭、S C 杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
設計計画	0.5	1.0				0.5					0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設計計算		1.0	3.0	3.0			1.0	2.0	1.5			1.0	3.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
設 計 図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
材料計算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
照 査	0.5	1.0				0.5	1.0				0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	1.0	3.0	3.0	3.0		1.0	2.0	2.0	1.5		1.0	3.0	3.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
基礎形式	既製コンクリート杭 (RC、PC、PHC)					場所打コンクリート杭 (深 基 礎 含 む)					鋼 杭、S C 杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
設計計画	0.5					0.5	0.5				0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計計算		0.5	2.5	2.5			0.5	5.0	5.5			0.5	5.0	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
設 計 図					0.5				0.5	0.5				0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材料計算					0.5					0.5					0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
照 査		0.5				0.5	0.5					0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
計	0.5	1.0	2.5	2.5	1.0	1.0	1.5	5.0	6.0	1.0	0.5	1.0	2.5	6.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																																																
新15 旧12	<p>(6) 土構造歩掛補正率 2以上の補正率が重複する場合は、該当する全ての補正率を加算し、作業種目全体に乗じて補正する。 ① 基本条件の補正 (補正率=α)</p> <p>(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">歩掛補正対象項目</th> <th rowspan="3">補正記号</th> <th colspan="6">基礎形式</th> <th rowspan="3">土留擁壁</th> <th rowspan="3">盛土補強土壁</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ケーソン</th> <th rowspan="2">鋼管矢板井筒</th> <th rowspan="2">RC・PC・PHC杭</th> <th rowspan="2">場所打杭・深礎杭</th> <th rowspan="2">鋼杭・SC杭</th> </tr> <tr> <th>オープン</th> <th>ニューマチック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支持条件</td> <td>不完全支持</td> <td>A₁</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>摩擦支持</td> <td>A₂</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>*5</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">断面形状</td> <td>円形隔壁あり</td> <td>B₁</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小判型及び矩形等で隔壁あり</td> <td>B₂</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電柱支持梁、張出しスラブ</td> <td>C</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さが変化する場合</td> <td>D</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延長20m以上の場合</td> <td>E</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>応答変位法を行う場合</td> <td>G</td> <td colspan="6">10</td> <td>—</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液状化設計を行う場合</td> <td>H</td> <td colspan="6">20</td> <td>—</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不整形地盤の検討を行う場合</td> <td>I</td> <td colspan="6">15</td> <td>—</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別の検討を行う場合</td> <td></td> <td>F₁</td> <td colspan="6">5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>F₂</td> <td colspan="6">10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>F₃</td> <td colspan="6">15</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*印は、場所打杭のみ適用。</p> <p>(注) (1) 高さが変化する場合とは、地層が変化せず、補強材の変更が無く、構造物の高さが変化する場合に適用する。 (2) 延長20m以上の場合とは、地層が変化せず、補強材の変更が無い場合において、設計延長が20m以上の場合に適用する。 (3) 「特別の検討を行う場合」は次による。 F₁: ① 不静定構造物の基礎。 ② 背の高い構造物の基礎。(一般には、h=20m程度以上) ③ 同一フーチング又は構造物内で杭長の差が著しい杭基礎。 ④ 杭群の偏心が著しい杭基礎。 ⑤ 同一フーチング又は構造物で杭径が異なる杭基礎。 ⑥ フーチング形状が長方形以外の杭基礎。(円形、斜角等) F₂: ① 軟弱地盤、地盤沈下帯、傾斜地等に造る構造物の基礎で次の検討を必要とする場合。 ア. 地盤変位。 イ. 地中の側方変位。 ウ. ネガティブフリクション。 エ. 地下水の影響。 ② 標準設計を行う場合。 ③ その他上記程度の検討を行う場合。 F₃: 特殊地盤(軟弱地盤、斜面等)における新形式の構造物の設計等、高度の技術的判断の必要なもの。</p>	歩掛補正対象項目	補正記号	基礎形式						土留擁壁	盛土補強土壁	ケーソン		鋼管矢板井筒	RC・PC・PHC杭	場所打杭・深礎杭	鋼杭・SC杭	オープン	ニューマチック	支持条件	不完全支持	A ₁	15	15	—	10	10	—	—		摩擦支持	A ₂	—	—	—	5	*5	5	—	断面形状	円形隔壁あり	B ₁	15	15	15	—	—	—	—	小判型及び矩形等で隔壁あり	B ₂	20	20	20	—	—	—	—		電柱支持梁、張出しスラブ	C	—	—	—	—	—	—	10		高さが変化する場合	D	—	—	—	—	—	—	10		延長20m以上の場合	E	—	—	—	—	—	—	10		応答変位法を行う場合	G	10						—	10		液状化設計を行う場合	H	20						—	20		不整形地盤の検討を行う場合	I	15						—	15	特別の検討を行う場合		F ₁	5									F ₂	10									F ₃	15								<p>(5) 土構造歩掛補正率 2以上の補正率が重複する場合は、該当する全ての補正率を加算し、作業種目全体に乗じて補正する。 ① 基本条件の補正 (補正率=α)</p> <p>(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">歩掛補正対象項目</th> <th rowspan="3">補正記号</th> <th colspan="6">基礎形式</th> <th rowspan="3">土留擁壁</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ケーソン</th> <th rowspan="2">鋼管矢板井筒</th> <th rowspan="2">RC・PC・PHC杭</th> <th rowspan="2">場所打杭・深礎杭</th> <th rowspan="2">鋼杭・SC杭</th> </tr> <tr> <th>オープン</th> <th>ニューマチック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支持条件</td> <td>不完全支持</td> <td>A₁</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>摩擦支持</td> <td>A₂</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>*5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">断面形状</td> <td>円形隔壁あり</td> <td>B₁</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小判型及び矩形等で隔壁あり</td> <td>B₂</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電柱支持梁、張出しスラブ</td> <td>D</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別の検討を行う場合</td> <td></td> <td>F₁</td> <td colspan="6">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>F₂</td> <td colspan="6">10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>F₃</td> <td colspan="6">15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*印は、場所打杭のみ適用。</p> <p>(注) 「特別の検討を行う場合」は次による。 F₁: ① 不静定構造物の基礎。 ② 背の高い構造物の基礎。(一般には、h=20m程度以上) ③ 同一フーチング又は構造物内で杭長の差が著しい杭基礎。 ④ 杭群の偏心が著しい杭基礎。 ⑤ 同一フーチング又は構造物で杭径が異なる杭基礎。 ⑥ フーチング形状が長方形以外の杭基礎。(円形、斜角等) F₂: ① 軟弱地盤、地盤沈下帯、傾斜地等に造る構造物の基礎で次の検討を必要とする場合。 ア. 地盤変位。 イ. 地中の側方変位。 ウ. ネガティブフリクション。 エ. 地下水の影響。 ② 標準設計を行う場合。 ③ その他上記程度の検討を行う場合。 F₃: 特殊地盤(軟弱地盤、斜面等)における新形式の構造物の設計等、高度の技術的判断の必要なもの。</p>	歩掛補正対象項目	補正記号	基礎形式						土留擁壁	ケーソン		鋼管矢板井筒	RC・PC・PHC杭	場所打杭・深礎杭	鋼杭・SC杭	オープン	ニューマチック	支持条件	不完全支持	A ₁	15	15	—	10	10			摩擦支持	A ₂	—	—	—	5	*5	5	断面形状	円形隔壁あり	B ₁	15	15	15	—	—	—	小判型及び矩形等で隔壁あり	B ₂	20	20	20	—	—	—		電柱支持梁、張出しスラブ	D	—	—	—	—	—	—	特別の検討を行う場合		F ₁	5								F ₂	10								F ₃	15						
歩掛補正対象項目	補正記号			基礎形式								土留擁壁	盛土補強土壁																																																																																																																																																																																																																																					
				ケーソン		鋼管矢板井筒	RC・PC・PHC杭	場所打杭・深礎杭	鋼杭・SC杭																																																																																																																																																																																																																																									
		オープン	ニューマチック																																																																																																																																																																																																																																															
支持条件	不完全支持	A ₁	15	15	—	10	10	—	—																																																																																																																																																																																																																																									
	摩擦支持	A ₂	—	—	—	5	*5	5	—																																																																																																																																																																																																																																									
断面形状	円形隔壁あり	B ₁	15	15	15	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																									
	小判型及び矩形等で隔壁あり	B ₂	20	20	20	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																									
	電柱支持梁、張出しスラブ	C	—	—	—	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																									
	高さが変化する場合	D	—	—	—	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																									
	延長20m以上の場合	E	—	—	—	—	—	—	10																																																																																																																																																																																																																																									
	応答変位法を行う場合	G	10						—	10																																																																																																																																																																																																																																								
	液状化設計を行う場合	H	20						—	20																																																																																																																																																																																																																																								
	不整形地盤の検討を行う場合	I	15						—	15																																																																																																																																																																																																																																								
特別の検討を行う場合		F ₁	5																																																																																																																																																																																																																																															
		F ₂	10																																																																																																																																																																																																																																															
		F ₃	15																																																																																																																																																																																																																																															
歩掛補正対象項目	補正記号	基礎形式						土留擁壁																																																																																																																																																																																																																																										
		ケーソン		鋼管矢板井筒	RC・PC・PHC杭	場所打杭・深礎杭	鋼杭・SC杭																																																																																																																																																																																																																																											
		オープン	ニューマチック																																																																																																																																																																																																																																															
支持条件	不完全支持	A ₁	15	15	—	10	10																																																																																																																																																																																																																																											
	摩擦支持	A ₂	—	—	—	5	*5	5																																																																																																																																																																																																																																										
断面形状	円形隔壁あり	B ₁	15	15	15	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																										
	小判型及び矩形等で隔壁あり	B ₂	20	20	20	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																										
	電柱支持梁、張出しスラブ	D	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																										
特別の検討を行う場合		F ₁	5																																																																																																																																																																																																																																															
		F ₂	10																																																																																																																																																																																																																																															
		F ₃	15																																																																																																																																																																																																																																															

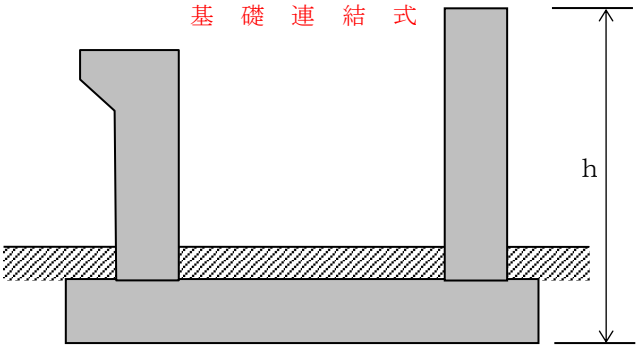
ページ	改 正	現 行																																																																	
新 16 旧 13	<p>② 類似構造による補正 「類似構造物」とは、下表の○印のついている項目が全て同一の場合をいう。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>形式</th> <th>基礎形式</th> <th>断面形状</th> <th>設計条件による補正対象項目の設計法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 留 擁 壁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td style="border: 2px solid red;">盛土補強土壁</td> <td style="border: 2px solid red;">○</td> <td style="border: 2px solid red;">○</td> <td style="border: 2px solid red;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ ー ソ ン</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>杭 基 礎</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 杭基礎は、杭の種類が異なれば別形式である。</p> <p>類似構造通減率 (β)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>類似数</th> <th>2 ケースまで</th> <th>3 ケースまで</th> <th>6 ケースまで</th> <th>7 ケース以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通減率</td> <td>-10%</td> <td>-15%</td> <td>-20%</td> <td>-25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 既設計を利用して主要部材の断面を変更する場合は、「資料提供」による類似数として「1」を加算した通減率とする。</p>	種 別	形式	基礎形式	断面形状	設計条件による補正対象項目の設計法	土 留 擁 壁	○	○			盛土補強土壁	○	○	○		ケ ー ソ ン	○		○	○	杭 基 礎	○		○	○	類似数	2 ケースまで	3 ケースまで	6 ケースまで	7 ケース以上	通減率	-10%	-15%	-20%	-25%	<p>② 類似構造による補正 「類似構造物」とは、下表の○印のついている項目が全て同一の場合をいう。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>形式</th> <th>基礎形式</th> <th>断面形状</th> <th>設計条件による補正対象項目の設計法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 留 擁 壁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケ ー ソ ン</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>杭 基 礎</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 杭基礎は、杭の種類が異なれば別形式である。</p> <p>類似構造通減率 (β)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>類似数</th> <th>2 ケースまで</th> <th>3 ケースまで</th> <th>6 ケースまで</th> <th>7 ケース以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通減率</td> <td>-10%</td> <td>-15%</td> <td>-20%</td> <td>-25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 既設計を利用して主要部材の断面を変更する場合は、「資料提供」による類似数として「1」を加算した通減率とする。</p>	種 別	形式	基礎形式	断面形状	設計条件による補正対象項目の設計法	土 留 擁 壁	○	○			ケ ー ソ ン	○		○	○	杭 基 礎	○		○	○	類似数	2 ケースまで	3 ケースまで	6 ケースまで	7 ケース以上	通減率	-10%	-15%	-20%	-25%
種 別	形式	基礎形式	断面形状	設計条件による補正対象項目の設計法																																																															
土 留 擁 壁	○	○																																																																	
盛土補強土壁	○	○	○																																																																
ケ ー ソ ン	○		○	○																																																															
杭 基 礎	○		○	○																																																															
類似数	2 ケースまで	3 ケースまで	6 ケースまで	7 ケース以上																																																															
通減率	-10%	-15%	-20%	-25%																																																															
種 別	形式	基礎形式	断面形状	設計条件による補正対象項目の設計法																																																															
土 留 擁 壁	○	○																																																																	
ケ ー ソ ン	○		○	○																																																															
杭 基 礎	○		○	○																																																															
類似数	2 ケースまで	3 ケースまで	6 ケースまで	7 ケース以上																																																															
通減率	-10%	-15%	-20%	-25%																																																															

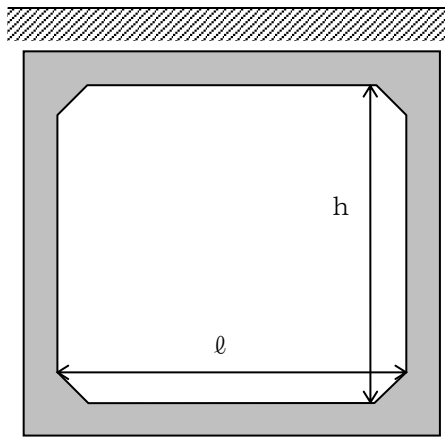
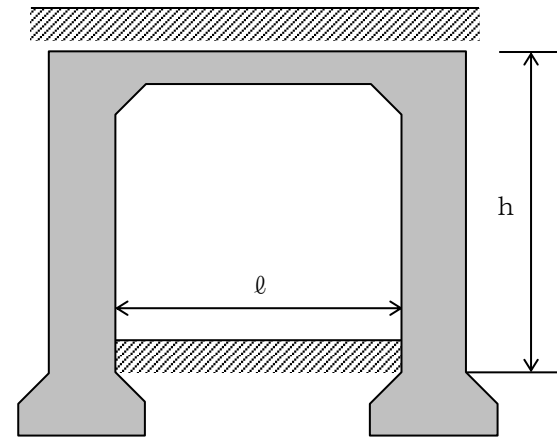
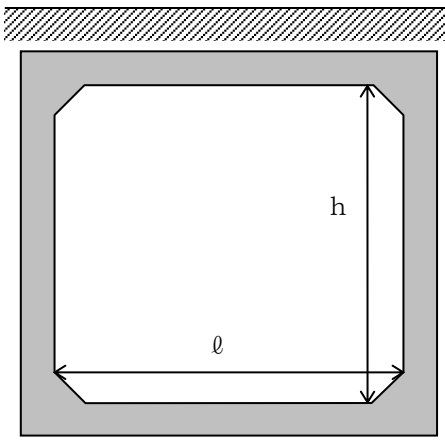
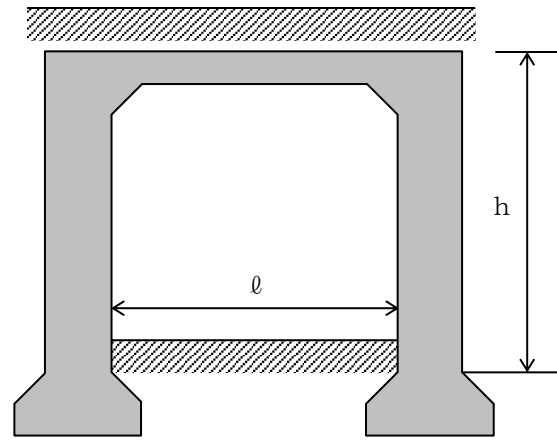
ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																														
新17 旧14	5-2 RC構造 (1)-1 橋 台 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>重力式 </div> <div>逆 T 式 </div> <div>控え壁式 </div> </div> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th colspan="5">重 力 式</th> <th colspan="5">逆 T 式</th> <th colspan="5">控 え 壁 式</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>2.0</td> <td>1.0</td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>2.5</td><td></td> <td>2.5</td><td>4.5</td><td>5.5</td><td>4.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td> <td></td><td>1.0</td><td>3.0</td><td>3.5</td><td></td> <td></td><td>2.5</td><td>5.0</td><td>5.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td> <td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td>3.0</td><td>2.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>5.5</td><td>5.5</td> <td>1.5</td><td>2.5</td><td>4.0</td><td>8.5</td><td>7.0</td> <td>2.5</td><td>5.5</td><td>8.0</td><td>13.5</td><td>12.5</td> </tr> </tbody> </table>	形 式	重 力 式					逆 T 式					控 え 壁 式					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	0.5	1.0				1.0	1.0				2.0	1.5				設計計算		0.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.5	3.5	2.5		2.5	4.5	5.5	4.5		設計図			0.5	2.0	2.5		1.0	3.0	3.5			2.5	5.0	5.5		材料計算				1.0	1.0		0.5	2.0	1.0			0.5	3.0	2.5		照 査	0.5	0.5				0.5	0.5				0.5	1.5	0.5			計	1.0	2.0	2.5	5.5	5.5	1.5	2.5	4.0	8.5	7.0	2.5	5.5	8.0	13.5	12.5	5-2 RC構造 (1) 橋 台 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>重力式 </div> <div>逆 T 式 </div> <div>控え壁式 </div> </div> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th colspan="5">重 力 式</th> <th colspan="5">逆 T 式</th> <th colspan="5">控 え 壁 式</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>2.0</td> <td>1.0</td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>2.5</td><td></td> <td>2.5</td><td>4.5</td><td>5.5</td><td>4.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td> <td></td><td>1.0</td><td>3.0</td><td>3.5</td><td></td> <td></td><td>2.5</td><td>5.0</td><td>5.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td> <td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td> <td></td><td>0.5</td><td>3.0</td><td>2.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>5.5</td><td>5.5</td> <td>1.5</td><td>2.5</td><td>4.0</td><td>8.5</td><td>7.0</td> <td>2.5</td><td>5.5</td><td>8.0</td><td>13.5</td><td>12.5</td> </tr> </tbody> </table>	形 式	重 力 式					逆 T 式					控 え 壁 式					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	0.5	1.0				1.0	1.0				2.0	1.5				設計計算		0.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.5	3.5	2.5		2.5	4.5	5.5	4.5		設計図			0.5	2.0	2.5		1.0	3.0	3.5			2.5	5.0	5.5		材料計算				1.0	1.0		0.5	2.0	1.0			0.5	3.0	2.5		照 査	0.5	0.5				0.5	0.5				0.5	1.5	0.5			計	1.0	2.0	2.5	5.5	5.5	1.5	2.5	4.0	8.5	7.0	2.5	5.5	8.0	13.5	12.5
形 式	重 力 式					逆 T 式					控 え 壁 式																																																																																																																																																																																																																																																					
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																	
設計計画	0.5	1.0				1.0	1.0				2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																				
設計計算		0.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.5	3.5	2.5		2.5	4.5	5.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																																		
設計図			0.5	2.0	2.5		1.0	3.0	3.5			2.5	5.0	5.5																																																																																																																																																																																																																																																		
材料計算				1.0	1.0		0.5	2.0	1.0			0.5	3.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																		
照 査	0.5	0.5				0.5	0.5				0.5	1.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																			
計	1.0	2.0	2.5	5.5	5.5	1.5	2.5	4.0	8.5	7.0	2.5	5.5	8.0	13.5	12.5																																																																																																																																																																																																																																																	
形 式	重 力 式					逆 T 式					控 え 壁 式																																																																																																																																																																																																																																																					
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																	
設計計画	0.5	1.0				1.0	1.0				2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																				
設計計算		0.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.5	3.5	2.5		2.5	4.5	5.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																																		
設計図			0.5	2.0	2.5		1.0	3.0	3.5			2.5	5.0	5.5																																																																																																																																																																																																																																																		
材料計算				1.0	1.0		0.5	2.0	1.0			0.5	3.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																		
照 査	0.5	0.5				0.5	0.5				0.5	1.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																			
計	1.0	2.0	2.5	5.5	5.5	1.5	2.5	4.0	8.5	7.0	2.5	5.5	8.0	13.5	12.5																																																																																																																																																																																																																																																	
	(注) 1. 上表の上段は限界状態設計法の標準歩掛、下段は耐震設計の標準歩掛による。 ただし、重力式及び控え壁式の耐震設計標準歩掛は設定していないため、必要がある場合は別途計上すること。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、桁高等）は既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は基礎杭歩掛を加算する。 ④ 耐震設計標準によるものとする。	(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、桁高等）は既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は基礎杭歩掛を加算する。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、形枠面積、根掘数量等。																																																																																																																																																																																																																																																														

ページ	改正	現行																																																																														
19	<p>(1)-2 橋台</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" data-bbox="519 661 1291 1375"> <thead> <tr> <th>形 式</th> <th colspan="5">セメント改良補強土橋台</th> </tr> <tr> <th>作 業</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5</td> <td>11.0</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>4.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>1.5</td> <td>5.5</td> <td>9.0</td> <td>11.5</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>3.0</td> <td>12.5</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の上段は限界状態設計法の標準歩掛、下段は耐震設計の標準歩掛である。背面はアプローチブロックとする。線路方向の擁壁は含んでいないため、盛土補強土壁を別途計上する。</p> <p>2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。</p> <p>1) 設計条件</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、桁高等）は既知とする。 ③ 耐震設計標準によるものとする。 <p>2) 作業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、補強材面積、盛土材体積、根掘数量等。 	形 式	セメント改良補強土橋台					作 業	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	0.5	1.5	0.5			1.0		1.5			設計計算	0.5	2.5	5.0	5.0			2.5	11.0	6.0		設計図			2.0	4.5	6.0						材料計算			1.5	2.0	1.5						照 査	0.5	1.5				0.5	0.5				計	1.5	5.5	9.0	11.5	7.5	1.5	3.0	12.5	6.0		新規追加
形 式	セメント改良補強土橋台																																																																															
作 業	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																											
設計計画	0.5	1.5	0.5																																																																													
	1.0		1.5																																																																													
設計計算	0.5	2.5	5.0	5.0																																																																												
		2.5	11.0	6.0																																																																												
設計図			2.0	4.5	6.0																																																																											
材料計算			1.5	2.0	1.5																																																																											
照 査	0.5	1.5																																																																														
	0.5	0.5																																																																														
計	1.5	5.5	9.0	11.5	7.5																																																																											
	1.5	3.0	12.5	6.0																																																																												

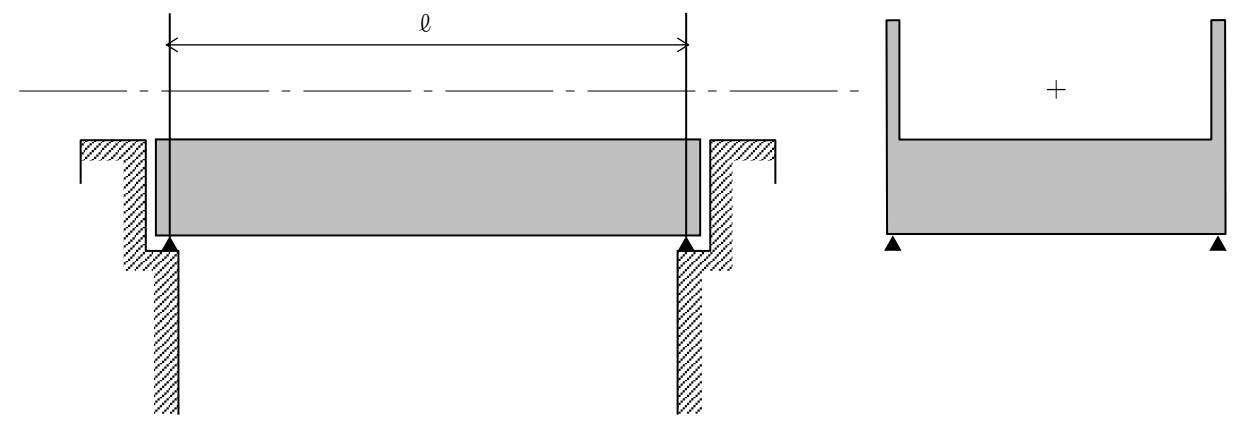
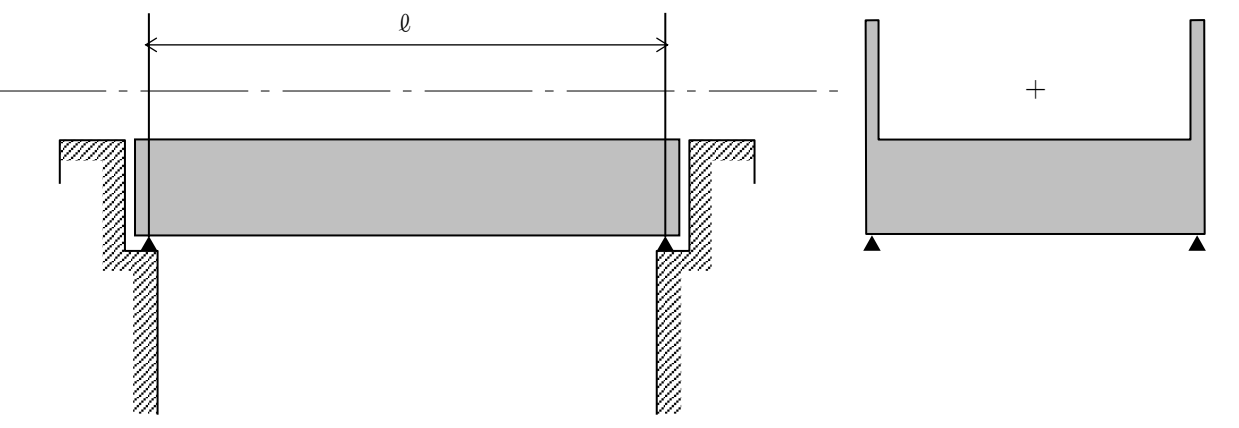
ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
新20 旧15	<p>(2)-1 橋脚</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>重力式 </div> <div>壁式 </div> <div>ラーメン式 </div> </div> <p>①限界状態設計法の標準歩掛 (人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">重 力 式</th> <th colspan="5">壁 式</th> <th colspan="5">ラ ー メ ン 式</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">5.5</td> <td rowspan="2">5.5</td> <td rowspan="2">3.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td>h < 11</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">3.0</td> <td></td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">3.5</td> <td rowspan="2">3.5</td> <td></td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td rowspan="2">5.5</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>h < 11</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">3.0</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">4.0</td> <td rowspan="2">4.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">4.0</td> <td rowspan="2">7.0</td> <td rowspan="2">6.0</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">5.0</td> <td rowspan="2">9.5</td> <td rowspan="2">15.0</td> <td rowspan="2">11.0</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	形 式	職 種	重 力 式					壁 式					ラ ー メ ン 式					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	h < 11	0.5	0.5				0.5	0.5				1.5	1.5				h ≥ 11									設計計算	h < 11	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	2.5	2.5	2.0	0.5	2.0	5.5	5.5	3.0	0.5	1.0	h ≥ 11													設計図	h < 11		0.5	2.5	3.0		1.0	3.5	3.5		2.0	6.5	5.5		0.5	1.0	h ≥ 11											材料計算	h < 11			0.5	0.5		1.0	0.5		1.5	3.0	2.5		0.5	1.0	0.5	h ≥ 11										照 査	h < 11	0.5	0.5			1.0	0.5			0.5	1.5	0.5		0.5	1.5	0.5	h ≥ 11									計	h < 11	0.5	1.5	2.0	4.0	4.5	0.5	2.0	4.0	7.0	6.0	2.0	5.0	9.5	15.0	11.0	h ≥ 11												<p>(2) 橋脚</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>重力式 </div> <div>壁式 </div> <div>ラーメン式 </div> </div> <p>①限界状態設計法の標準歩掛 (人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">重 力 式</th> <th colspan="5">壁 式</th> <th colspan="5">ラ ー メ ン 橋 台</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">5.5</td> <td rowspan="2">5.5</td> <td rowspan="2">3.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td>h < 11</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">3.0</td> <td></td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">3.5</td> <td rowspan="2">3.5</td> <td></td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td rowspan="2">5.5</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>h < 11</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">3.0</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td></td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>h < 11</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">4.0</td> <td rowspan="2">4.5</td> <td rowspan="2">0.5</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">4.0</td> <td rowspan="2">7.0</td> <td rowspan="2">6.0</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">5.0</td> <td rowspan="2">9.5</td> <td rowspan="2">15.0</td> <td rowspan="2">11.0</td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	形 式	職 種	重 力 式					壁 式					ラ ー メ ン 橋 台					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	h < 11	0.5	0.5				0.5	0.5				1.5	1.5				h ≥ 11									設計計算	h < 11	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	2.5	2.5	2.0	0.5	2.0	5.5	5.5	3.0	0.5	1.0	h ≥ 11											設計図	h < 11		0.5	2.5	3.0		1.0	3.5	3.5		2.0	6.5	5.5		0.5	1.0	h ≥ 11										材料計算	h < 11			0.5	0.5		1.0	0.5		1.5	3.0	2.5		0.5	1.0	0.5	h ≥ 11									照 査	h < 11	0.5	0.5			1.0	0.5			0.5	1.5	0.5		0.5	1.5	0.5	h ≥ 11									計	h < 11	0.5	1.5	2.0	4.0	4.5	0.5	2.0	4.0	7.0	6.0	2.0	5.0	9.5	15.0	11.0	h ≥ 11											
形 式	職 種			重 力 式					壁 式					ラ ー メ ン 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
設計計画	h < 11	0.5	0.5				0.5	0.5				1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計計算	h < 11	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	2.5	2.5	2.0	0.5	2.0	5.5	5.5	3.0	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計図	h < 11		0.5	2.5	3.0		1.0	3.5	3.5		2.0	6.5	5.5		0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材料計算	h < 11			0.5	0.5		1.0	0.5		1.5	3.0	2.5		0.5	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
照 査	h < 11	0.5	0.5			1.0	0.5			0.5	1.5	0.5		0.5	1.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	h < 11	0.5	1.5	2.0	4.0	4.5	0.5	2.0	4.0	7.0	6.0	2.0	5.0	9.5	15.0	11.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
形 式	職 種	重 力 式					壁 式					ラ ー メ ン 橋 台																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
設計計画	h < 11	0.5	0.5				0.5	0.5				1.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計計算	h < 11	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	2.5	2.5	2.0	0.5	2.0	5.5	5.5	3.0	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計図	h < 11		0.5	2.5	3.0		1.0	3.5	3.5		2.0	6.5	5.5		0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材料計算	h < 11			0.5	0.5		1.0	0.5		1.5	3.0	2.5		0.5	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
照 査	h < 11	0.5	0.5			1.0	0.5			0.5	1.5	0.5		0.5	1.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	h < 11	0.5	1.5	2.0	4.0	4.5	0.5	2.0	4.0	7.0	6.0	2.0	5.0	9.5	15.0	11.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

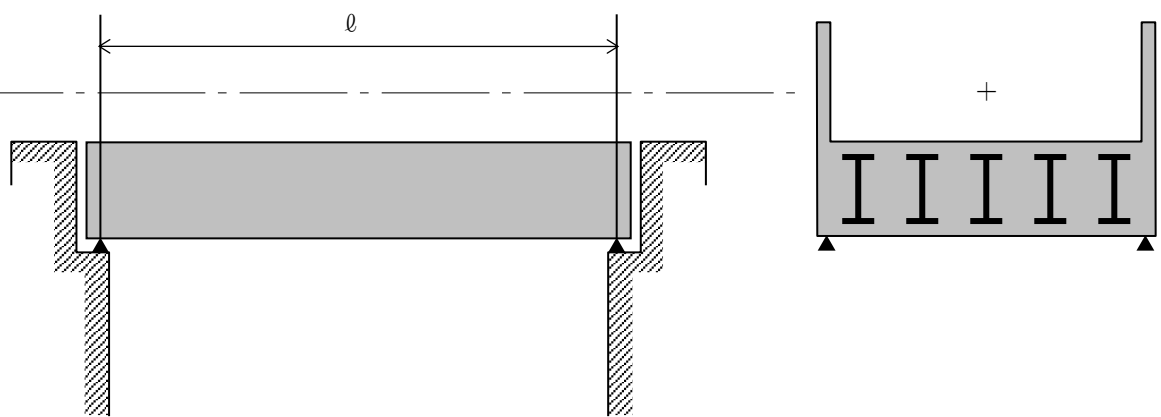
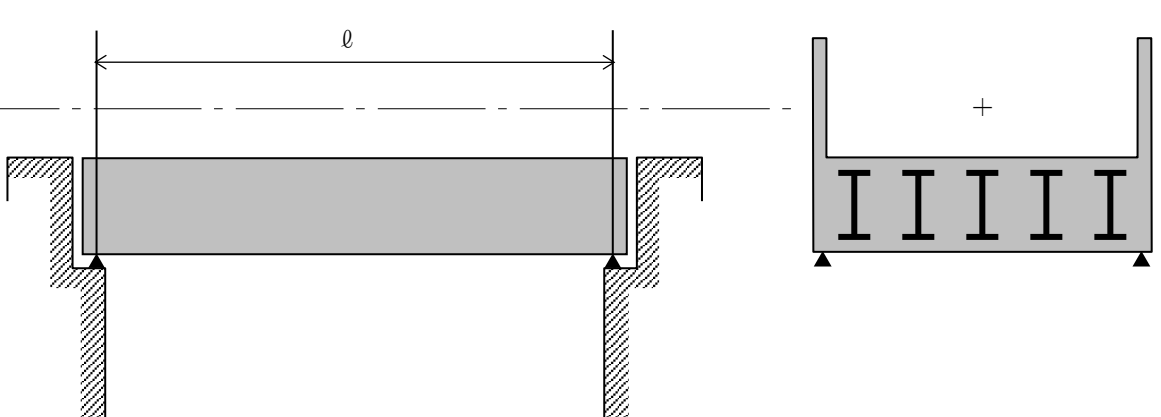
ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																								
新21	<p>②耐震設計の標準歩掛 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形 式</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="4">重 力 式</th> <th colspan="4">壁 式</th> <th colspan="5">ラ ー メ ン 式</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技師 技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技師 技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技師 技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>h < 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>h < 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td>1.5</td><td>6.5</td><td>5.0</td> <td>0.5</td><td>3.5</td><td>13.0</td><td>10.5</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>0.5</td><td>5.0</td><td>14.0</td><td>12.0</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td>h < 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>h < 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>h < 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>1.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>1.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>h < 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>3.5</td><td>7.0</td><td>5.0</td> <td>2.5</td><td>6.0</td><td>13.5</td><td>10.5</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>h ≥ 11</td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td> <td>3.0</td><td>7.5</td><td>14.5</td><td>12.0</td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>	形 式	職 種	重 力 式				壁 式				ラ ー メ ン 式					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技師 技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技師 技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技師 技 術 員	設計計画	h < 11					1.0	1.0	0.5		1.0	1.0	0.5				h ≥ 11									1.5	1.0	0.5				設計計算	h < 11						1.5	6.5	5.0	0.5	3.5	13.0	10.5			h ≥ 11									0.5	5.0	14.0	12.0			設計図	h < 11															h ≥ 11															材料計算	h < 11															h ≥ 11															照 査	h < 11					1.0	1.0			1.0	1.5					h ≥ 11									1.0	1.5					計	h < 11					2.0	3.5	7.0	5.0	2.5	6.0	13.5	10.5			h ≥ 11									3.0	7.5	14.5	12.0			<p>新規追加</p> <p>(注) 1. <u>上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。</u> 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 2柱式ラーメンで、h=11mを超えるものは、二層を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、桁高等）は既知とする。 ③ 重力式、壁式で張出し部等の計算がある場合及び中空断面等の場合はI₁を加算する。 ④ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 <hr/> 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根掘数量等。</p>
形 式	職 種			重 力 式				壁 式				ラ ー メ ン 式																																																																																																																																																																																																														
		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技師 技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技師 技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技師 技 術 員																																																																																																																																																																																																										
設計計画	h < 11					1.0	1.0	0.5		1.0	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																														
	h ≥ 11									1.5	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																														
設計計算	h < 11						1.5	6.5	5.0	0.5	3.5	13.0	10.5																																																																																																																																																																																																													
	h ≥ 11									0.5	5.0	14.0	12.0																																																																																																																																																																																																													
設計図	h < 11																																																																																																																																																																																																																									
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																									
材料計算	h < 11																																																																																																																																																																																																																									
	h ≥ 11																																																																																																																																																																																																																									
照 査	h < 11					1.0	1.0			1.0	1.5																																																																																																																																																																																																															
	h ≥ 11									1.0	1.5																																																																																																																																																																																																															
計	h < 11					2.0	3.5	7.0	5.0	2.5	6.0	13.5	10.5																																																																																																																																																																																																													
	h ≥ 11									3.0	7.5	14.5	12.0																																																																																																																																																																																																													
旧15	<p>(注) 1. 上表の①は限界状態設計法の標準歩掛、②は耐震設計の標準歩掛である。 ただし、重力式の耐震設計標準歩掛は設定していないため、必要がある場合は別途計上すること。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 2柱式ラーメンで、h=11mを超えるものは、二層を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、桁高等）は既知とする。 ③ 重力式、壁式で張出し部等の計算がある場合及び中空断面等の場合はI₁を加算する。 ④ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 ⑤ 耐震設計標準によるものとする。</p>																																																																																																																																																																																																																									
旧16	<p>2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根掘数量等。</p>																																																																																																																																																																																																																									

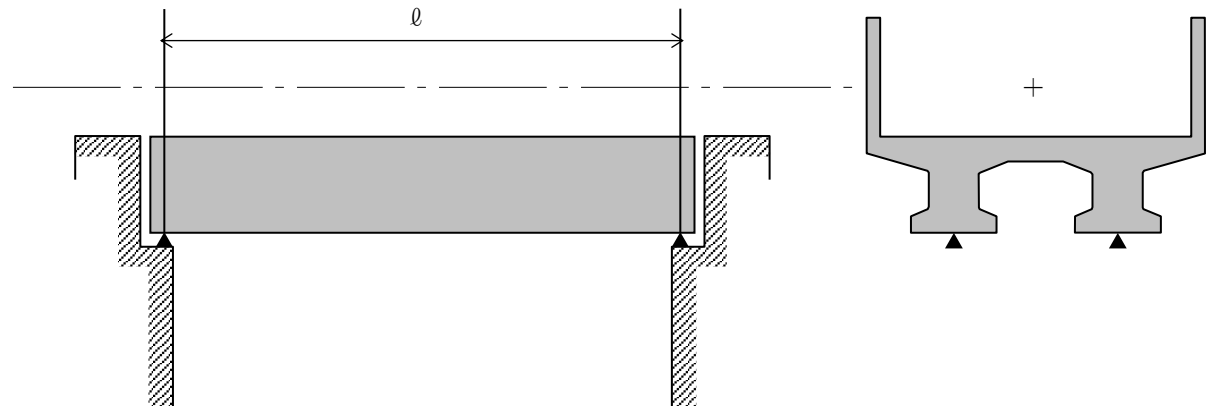
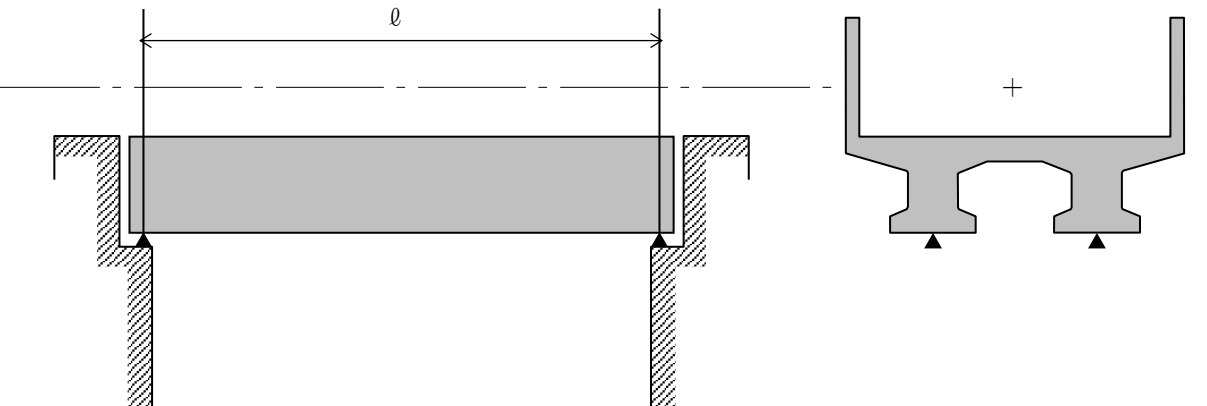
ページ	改正	現行																																																																														
22	<p>(2)-2 橋脚</p> <p style="text-align: center;">基礎連結式</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" data-bbox="519 630 1299 1344"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th colspan="5">基礎連結式</th> </tr> <tr> <th>作業</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>8.5</td> <td>8.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5</td> <td>11.5</td> <td>8.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>7.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照査</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>1.5</td> <td>4.5</td> <td>13.0</td> <td>17.5</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>6.0</td> <td>13.5</td> <td>8.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の上段は限界状態設計法の標準歩掛、下段は耐震設計の標準歩掛である。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、桁高等）は既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 ④ 耐震設計標準によるものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根掘数量等。</p>	形式	基礎連結式					作業	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	0.5	1.0	1.0			1.0	2.0	2.0			設計計算		2.5	8.5	8.0	0.5		2.5	11.5	8.5		設計図			2.5	7.0	7.5						材料計算			1.0	2.5	3.0						照査	1.0	1.0				1.0	1.5				計	1.5	4.5	13.0	17.5	11.0	2.0	6.0	13.5	8.5		新規追加
形式	基礎連結式																																																																															
作業	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																											
設計計画	0.5	1.0	1.0																																																																													
	1.0	2.0	2.0																																																																													
設計計算		2.5	8.5	8.0	0.5																																																																											
		2.5	11.5	8.5																																																																												
設計図			2.5	7.0	7.5																																																																											
材料計算			1.0	2.5	3.0																																																																											
照査	1.0	1.0																																																																														
	1.0	1.5																																																																														
計	1.5	4.5	13.0	17.5	11.0																																																																											
	2.0	6.0	13.5	8.5																																																																												

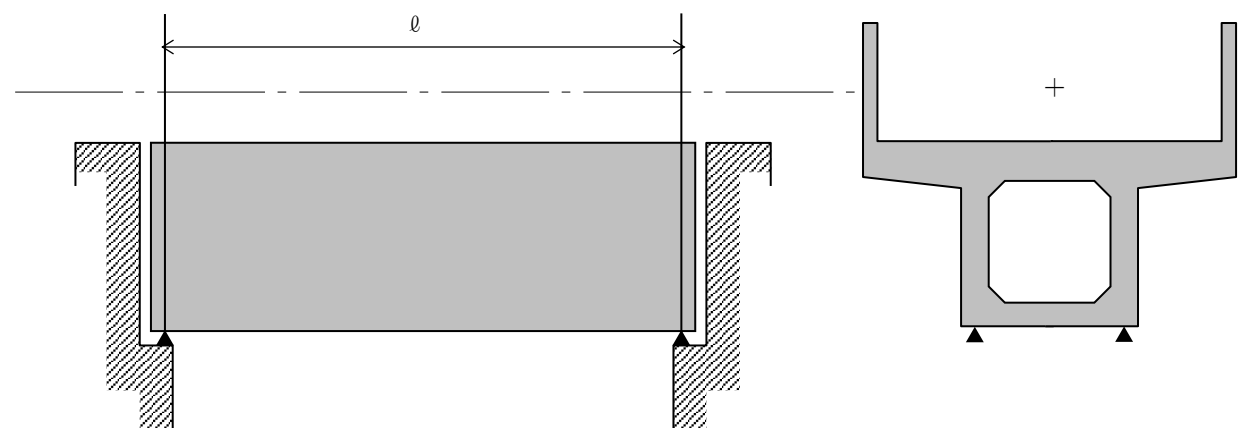
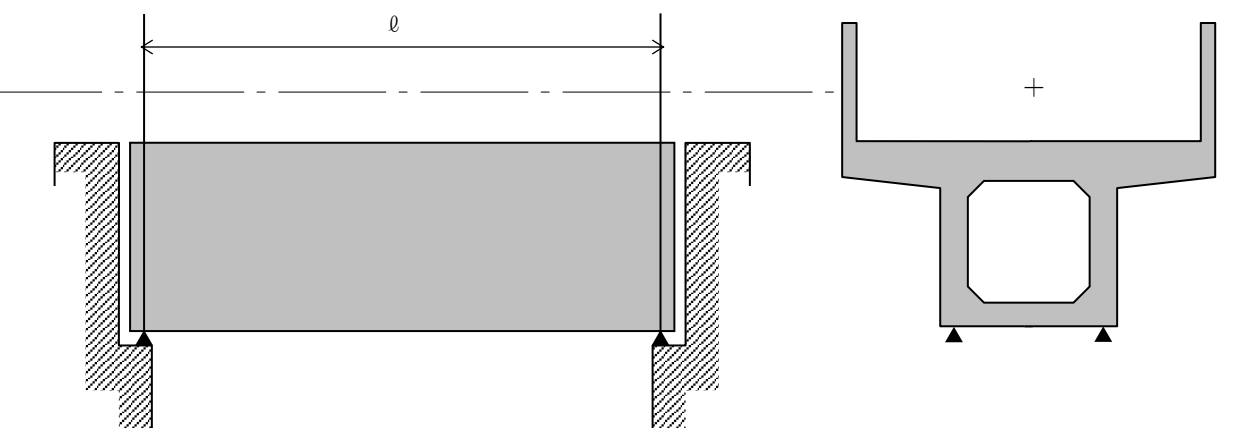
ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
新23 旧17	(4) 函渠 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>箱形</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>門形</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; color: red;">①限界状態設計法の標準歩掛</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形式 寸法 及び 職種 作業</th> <th colspan="6">箱形</th> <th colspan="6">門形</th> </tr> <tr> <th>ℓ (m)</th> <th>主任 技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>ℓ (m)</th> <th>主任 技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>≤5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>≤5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>>5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>≤5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>3.5</td><td>2.5</td> <td>≤5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>3.5</td><td>3.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>4.0</td><td>2.5</td> <td>>5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>4.0</td><td>3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>3.5</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>2.5</td><td>4.0</td><td>4.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td></td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>4.5</td> <td>>5</td><td></td><td></td><td>3.0</td><td>4.5</td><td>5.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td> <td>>5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照査</td> <td>≤5</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>≤5</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>>5</td><td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>≤5</td><td>1.0</td><td>5.5</td><td>8.0</td><td>8.0</td><td>8.0</td> <td>≤5</td><td>1.5</td><td>3.5</td><td>7.0</td><td>8.5</td><td>8.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td>1.0</td><td>5.5</td><td>8.5</td><td>10.0</td><td>10.0</td> <td>>5</td><td>1.5</td><td>4.0</td><td>7.5</td><td>10.5</td><td>11.5</td> </tr> </tbody> </table>	形式 寸法 及び 職種 作業	箱形						門形						ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	≤5	1.0	2.5				≤5	1.0	1.0				>5	1.0	2.5				>5	1.0	1.0				設計計算	≤5		2.0	3.5	3.5	2.5	≤5		2.0	3.5	3.5	3.0	>5		2.0	3.5	4.0	2.5	>5		2.0	3.5	4.0	3.5	設計図	≤5			2.5	3.5	3.5	≤5			2.5	4.0	4.0	>5			3.0	4.0	4.5	>5			3.0	4.5	5.5	材料計算	≤5			1.0	1.0	2.0	≤5			1.0	1.0	1.0	>5			1.0	2.0	3.0	>5			1.0	2.0	2.5	照査	≤5		1.0	1.0			≤5	0.5	0.5				>5		1.0	1.0			>5	0.5	1.0				計	≤5	1.0	5.5	8.0	8.0	8.0	≤5	1.5	3.5	7.0	8.5	8.0	>5	1.0	5.5	8.5	10.0	10.0	>5	1.5	4.0	7.5	10.5	11.5	(3) 函渠 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>箱形</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>門形</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">(人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形式 寸法 及び 職種 作業</th> <th colspan="6">箱形</th> <th colspan="6">門形</th> </tr> <tr> <th>ℓ (m)</th> <th>主任 技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>ℓ (m)</th> <th>主任 技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>≤5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>≤5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td><td>1.0</td><td>2.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>>5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>≤5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>3.5</td><td>2.5</td> <td>≤5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>3.5</td><td>3.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>4.0</td><td>2.5</td> <td>>5</td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>4.0</td><td>3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>2.5</td><td>3.5</td><td>3.5</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>2.5</td><td>4.0</td><td>4.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td></td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>4.5</td> <td>>5</td><td></td><td></td><td>3.0</td><td>4.5</td><td>5.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td> <td>≤5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td> <td>>5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照査</td> <td>≤5</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>≤5</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>>5</td><td>0.5</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>≤5</td><td>1.0</td><td>5.5</td><td>8.0</td><td>8.0</td><td>8.0</td> <td>≤5</td><td>1.5</td><td>3.5</td><td>7.0</td><td>8.5</td><td>8.0</td> </tr> <tr> <td>>5</td><td>1.0</td><td>5.5</td><td>8.5</td><td>10.0</td><td>10.0</td> <td>>5</td><td>1.5</td><td>4.0</td><td>7.5</td><td>10.5</td><td>11.5</td> </tr> </tbody> </table>	形式 寸法 及び 職種 作業	箱形						門形						ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	≤5	1.0	2.5				≤5	1.0	1.0				>5	1.0	2.5				>5	1.0	1.0				設計計算	≤5		2.0	3.5	3.5	2.5	≤5		2.0	3.5	3.5	3.0	>5		2.0	3.5	4.0	2.5	>5		2.0	3.5	4.0	3.5	設計図	≤5			2.5	3.5	3.5	≤5			2.5	4.0	4.0	>5			3.0	4.0	4.5	>5			3.0	4.5	5.5	材料計算	≤5			1.0	1.0	2.0	≤5			1.0	1.0	1.0	>5			1.0	2.0	3.0	>5			1.0	2.0	2.5	照査	≤5		1.0	1.0			≤5	0.5	0.5				>5		1.0	1.0			>5	0.5	1.0				計	≤5	1.0	5.5	8.0	8.0	8.0	≤5	1.5	3.5	7.0	8.5	8.0	>5	1.0	5.5	8.5	10.0	10.0	>5	1.5	4.0	7.5	10.5	11.5
形式 寸法 及び 職種 作業	箱形						門形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計計画	≤5	1.0	2.5				≤5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	>5	1.0	2.5				>5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設計計算	≤5		2.0	3.5	3.5	2.5	≤5		2.0	3.5	3.5	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5		2.0	3.5	4.0	2.5	>5		2.0	3.5	4.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計図	≤5			2.5	3.5	3.5	≤5			2.5	4.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5			3.0	4.0	4.5	>5			3.0	4.5	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料計算	≤5			1.0	1.0	2.0	≤5			1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5			1.0	2.0	3.0	>5			1.0	2.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
照査	≤5		1.0	1.0			≤5	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	>5		1.0	1.0			>5	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計	≤5	1.0	5.5	8.0	8.0	8.0	≤5	1.5	3.5	7.0	8.5	8.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5	1.0	5.5	8.5	10.0	10.0	>5	1.5	4.0	7.5	10.5	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
形式 寸法 及び 職種 作業	箱形						門形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	ℓ (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計計画	≤5	1.0	2.5				≤5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	>5	1.0	2.5				>5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
設計計算	≤5		2.0	3.5	3.5	2.5	≤5		2.0	3.5	3.5	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5		2.0	3.5	4.0	2.5	>5		2.0	3.5	4.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設計図	≤5			2.5	3.5	3.5	≤5			2.5	4.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5			3.0	4.0	4.5	>5			3.0	4.5	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料計算	≤5			1.0	1.0	2.0	≤5			1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5			1.0	2.0	3.0	>5			1.0	2.0	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
照査	≤5		1.0	1.0			≤5	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	>5		1.0	1.0			>5	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計	≤5	1.0	5.5	8.0	8.0	8.0	≤5	1.5	3.5	7.0	8.5	8.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	>5	1.0	5.5	8.5	10.0	10.0	>5	1.5	4.0	7.5	10.5	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

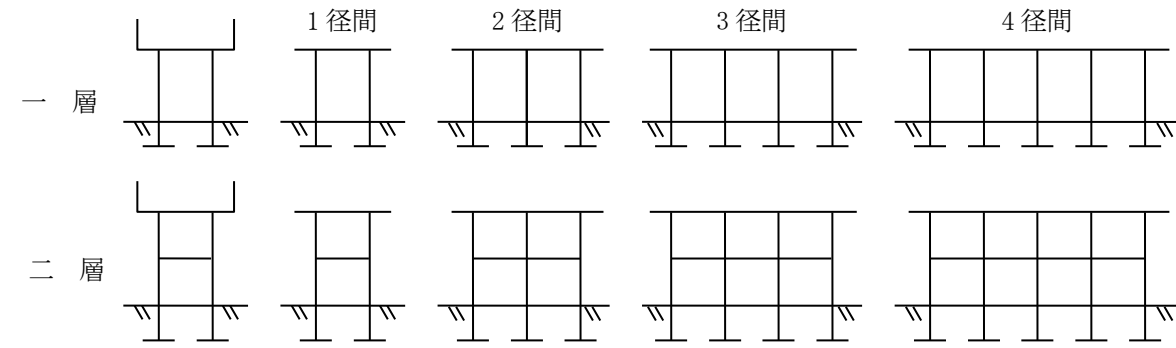
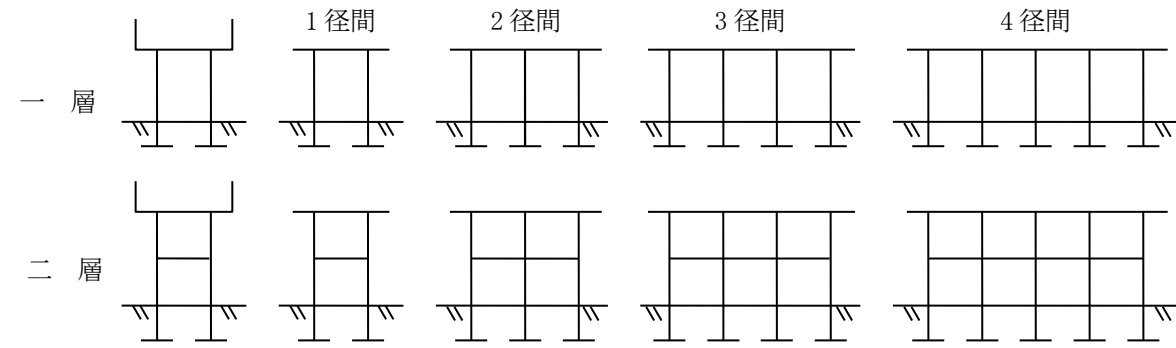
ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																														
新 24	<p style="text-align: center;">②耐震設計の標準歩掛 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">形 式</th> <th colspan="6">箱</th> <th colspan="6">門</th> </tr> <tr> <th>寸法 及び 職種</th> <th>主任 技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>寸法 (m)</th> <th>主任 技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">作業</td> <td>ℓ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>ℓ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>(m)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>(m)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>≤5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>≤5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> <td>>5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計計算</td> <td>≤5</td> <td></td><td>2.5</td><td>7.0</td><td>7.5</td><td></td> <td>≤5</td> <td></td><td>2.5</td><td>7.0</td><td>7.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td> <td></td><td>2.5</td><td>7.0</td><td>7.5</td><td></td> <td>>5</td> <td></td><td>2.5</td><td>7.0</td><td>7.5</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設計図</td> <td>≤5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>≤5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>>5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>≤5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>≤5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>>5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>≤5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>≤5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>>5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>≤5</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td>8.0</td><td>7.5</td><td></td> <td>≤5</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td>8.0</td><td>7.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>>5</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td>8.0</td><td>7.5</td><td></td> <td>>5</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td>8.0</td><td>7.5</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	形 式	箱						門						寸法 及び 職種	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	寸法 (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	作業	ℓ						ℓ						(m)						(m)						設計計画	≤5	1.0	1.0	1.0			≤5	1.0	1.0	1.0			>5	1.0	1.0	1.0			>5	1.0	1.0	1.0			設計計算	≤5		2.5	7.0	7.5		≤5		2.5	7.0	7.5		>5		2.5	7.0	7.5		>5		2.5	7.0	7.5		設計図	≤5						≤5						>5						>5						材料計算	≤5						≤5						>5						>5						照 査	≤5	1.0	1.0				≤5	1.0	1.0				>5	1.0	1.0				>5	1.0	1.0				計	≤5	2.0	4.5	8.0	7.5		≤5	2.0	4.5	8.0	7.5		>5	2.0	4.5	8.0	7.5		>5	2.0	4.5	8.0	7.5		<p>新規追加</p> <p>(注) 1. <u>上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。</u> 2. 断面寸法が変化する場合で設計断面が2断面以上の場合、別途考慮する。 3. 異壁のある場合等は、I₁を加算する。 4. 2ボックス、3ボックス断面の割増は、次による。 なお、スパンが異なる場合は、最大スパンに対して適用する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2ボックス断面</th> <th>3ボックス断面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1ボックス断面の</td> <td>30%</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。</p> <p>1) 設計条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 直線、直角、設計断面は1断面、直接基礎を基本とする。 ② 内空高さ、径間長、土かぶりは既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 ④ 耐震設計標準によるものとする。 <p>2) 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計算 諸荷重による応力度、安定、ひびわれ等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根拠数量等。 		2ボックス断面	3ボックス断面	1ボックス断面の	30%	45%
形 式	箱						門																																																																																																																																																																																																									
	寸法 及び 職種	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	寸法 (m)	主任 技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																				
作業	ℓ						ℓ																																																																																																																																																																																																									
	(m)						(m)																																																																																																																																																																																																									
設計計画	≤5	1.0	1.0	1.0			≤5	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																						
	>5	1.0	1.0	1.0			>5	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																						
設計計算	≤5		2.5	7.0	7.5		≤5		2.5	7.0	7.5																																																																																																																																																																																																					
	>5		2.5	7.0	7.5		>5		2.5	7.0	7.5																																																																																																																																																																																																					
設計図	≤5						≤5																																																																																																																																																																																																									
	>5						>5																																																																																																																																																																																																									
材料計算	≤5						≤5																																																																																																																																																																																																									
	>5						>5																																																																																																																																																																																																									
照 査	≤5	1.0	1.0				≤5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																							
	>5	1.0	1.0				>5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																							
計	≤5	2.0	4.5	8.0	7.5		≤5	2.0	4.5	8.0	7.5																																																																																																																																																																																																					
	>5	2.0	4.5	8.0	7.5		>5	2.0	4.5	8.0	7.5																																																																																																																																																																																																					
	2ボックス断面	3ボックス断面																																																																																																																																																																																																														
1ボックス断面の	30%	45%																																																																																																																																																																																																														
旧 17	<p>(注) 1. 上表の①は限界状態設計法の標準歩掛、②は耐震設計の標準歩掛である。 2. 断面寸法が変化する場合で設計断面が2断面以上の場合、別途考慮する。 3. 異壁のある場合等は、I₁を加算する。 4. 2ボックス、3ボックス断面の割増は、次による。 なお、スパンが異なる場合は、最大スパンに対して適用する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2ボックス断面</th> <th>3ボックス断面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1ボックス断面の</td> <td>30%</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table>		2ボックス断面	3ボックス断面	1ボックス断面の	30%	45%	<p>(注) 1. <u>上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。</u> 2. 断面寸法が変化する場合で設計断面が2断面以上の場合、別途考慮する。 3. 異壁のある場合等は、I₁を加算する。 4. 2ボックス、3ボックス断面の割増は、次による。 なお、スパンが異なる場合は、最大スパンに対して適用する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2ボックス断面</th> <th>3ボックス断面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1ボックス断面の</td> <td>30%</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table>		2ボックス断面	3ボックス断面	1ボックス断面の	30%	45%																																																																																																																																																																																																		
	2ボックス断面	3ボックス断面																																																																																																																																																																																																														
1ボックス断面の	30%	45%																																																																																																																																																																																																														
	2ボックス断面	3ボックス断面																																																																																																																																																																																																														
1ボックス断面の	30%	45%																																																																																																																																																																																																														
旧 18	<p>5. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。</p> <p>1) 設計条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 直線、直角、設計断面は1断面、直接基礎を基本とする。 ② 内空高さ、径間長、土かぶりは既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 ④ 耐震設計標準によるものとする。 <p>2) 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計算 諸荷重による応力度、安定、ひびわれ等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根拠数量等。 	<p>5. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。</p> <p>1) 設計条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 直線、直角、設計断面は1断面、直接基礎を基本とする。 ② 内空高さ、径間長、土かぶりは既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 <p>2) 作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計算 諸荷重による応力度、安定、ひびわれ等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根拠数量等。 																																																																																																																																																																																																														

ページ	改 正	現 行																																																																																														
新 25 旧 19	<p>(5) スラブ桁</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業 \ 職 種</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">(人)</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td>7.5</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人口は、限界設計状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次による。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	作 業 \ 職 種	(人)					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設 計 計 画	0.5	1.0				設 計 計 算		1.0	4.5	4.5	2.5	設 計 図			2.5	2.5	2.0	材 料 計 算			0.5	2.0	1.0	照 査		0.5				計	0.5	2.5	7.5	9.0	5.5	<p>(4) スラブ桁</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業 \ 職 種</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">(人)</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td>7.5</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人口は、限界設計状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次による。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	作 業 \ 職 種	(人)					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設 計 計 画	0.5	1.0				設 計 計 算		1.0	4.5	4.5	2.5	設 計 図			2.5	2.5	2.0	材 料 計 算			0.5	2.0	1.0	照 査		0.5				計	0.5	2.5	7.5	9.0	5.5
作 業 \ 職 種	(人)																																																																																															
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																											
設 計 計 画	0.5	1.0																																																																																														
設 計 計 算		1.0	4.5	4.5	2.5																																																																																											
設 計 図			2.5	2.5	2.0																																																																																											
材 料 計 算			0.5	2.0	1.0																																																																																											
照 査		0.5																																																																																														
計	0.5	2.5	7.5	9.0	5.5																																																																																											
作 業 \ 職 種	(人)																																																																																															
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																											
設 計 計 画	0.5	1.0																																																																																														
設 計 計 算		1.0	4.5	4.5	2.5																																																																																											
設 計 図			2.5	2.5	2.0																																																																																											
材 料 計 算			0.5	2.0	1.0																																																																																											
照 査		0.5																																																																																														
計	0.5	2.5	7.5	9.0	5.5																																																																																											

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																						
新 26 旧 20	<p>(6) H形鋼埋込桁</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th colspan="6">職 種</th> </tr> <tr> <th>$l(m)$</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 画</td> <td>10</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 算</td> <td>10</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>6.0</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料 計 算</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>10</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>10</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>9.0</td> <td>9.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>10.0</td> <td>11.5</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 直角方向の計算を必要とする場合は、I_1を加算する。 3. 溶接H形埋込桁（ビルドアップ）の場合は、I_2を加算する。 4. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次による。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積（H形鋼体積を除く）、H形鋼重量、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	作 業	職 種						$l(m)$	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設 計 計 画	10	1.0	1.0				20	1.0	1.0				設 計 計 算	10		1.0	4.5	4.5	2.5	20		1.0	4.5	6.0	2.5	設 計 図	10			2.5	3.5	3.5	20			3.5	4.5	4.5	材 料 計 算	10			1.0	1.0	1.0	20			1.0	1.0	1.0	照 査	10		1.0	1.0			20		1.0	1.0			計	10	1.0	3.0	9.0	9.0	7.0	20	1.0	3.0	10.0	11.5	8.0	<p>(5) H形鋼埋込桁</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th colspan="6">職 種</th> </tr> <tr> <th>$l(m)$</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 画</td> <td>10</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 算</td> <td>10</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>6.0</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料 計 算</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>10</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>10</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>9.0</td> <td>9.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>10.0</td> <td>11.5</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 直角方向の計算を必要とする場合は、I_1を加算する。 3. 溶接H形埋込桁（ビルドアップ）の場合は、I_2を加算する。 4. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次による。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積（H形鋼体積を除く）、H形鋼重量、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	作 業	職 種						$l(m)$	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設 計 計 画	10	1.0	1.0				20	1.0	1.0				設 計 計 算	10		1.0	4.5	4.5	2.5	20		1.0	4.5	6.0	2.5	設 計 図	10			2.5	3.5	3.5	20			3.5	4.5	4.5	材 料 計 算	10			1.0	1.0	1.0	20			1.0	1.0	1.0	照 査	10		1.0	1.0			20		1.0	1.0			計	10	1.0	3.0	9.0	9.0	7.0	20	1.0	3.0	10.0	11.5	8.0
作 業	職 種																																																																																																																																																																																							
	$l(m)$	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																		
設 計 計 画	10	1.0	1.0																																																																																																																																																																																					
	20	1.0	1.0																																																																																																																																																																																					
設 計 計 算	10		1.0	4.5	4.5	2.5																																																																																																																																																																																		
	20		1.0	4.5	6.0	2.5																																																																																																																																																																																		
設 計 図	10			2.5	3.5	3.5																																																																																																																																																																																		
	20			3.5	4.5	4.5																																																																																																																																																																																		
材 料 計 算	10			1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																		
	20			1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																		
照 査	10		1.0	1.0																																																																																																																																																																																				
	20		1.0	1.0																																																																																																																																																																																				
計	10	1.0	3.0	9.0	9.0	7.0																																																																																																																																																																																		
	20	1.0	3.0	10.0	11.5	8.0																																																																																																																																																																																		
作 業	職 種																																																																																																																																																																																							
	$l(m)$	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																		
設 計 計 画	10	1.0	1.0																																																																																																																																																																																					
	20	1.0	1.0																																																																																																																																																																																					
設 計 計 算	10		1.0	4.5	4.5	2.5																																																																																																																																																																																		
	20		1.0	4.5	6.0	2.5																																																																																																																																																																																		
設 計 図	10			2.5	3.5	3.5																																																																																																																																																																																		
	20			3.5	4.5	4.5																																																																																																																																																																																		
材 料 計 算	10			1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																		
	20			1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																		
照 査	10		1.0	1.0																																																																																																																																																																																				
	20		1.0	1.0																																																																																																																																																																																				
計	10	1.0	3.0	9.0	9.0	7.0																																																																																																																																																																																		
	20	1.0	3.0	10.0	11.5	8.0																																																																																																																																																																																		

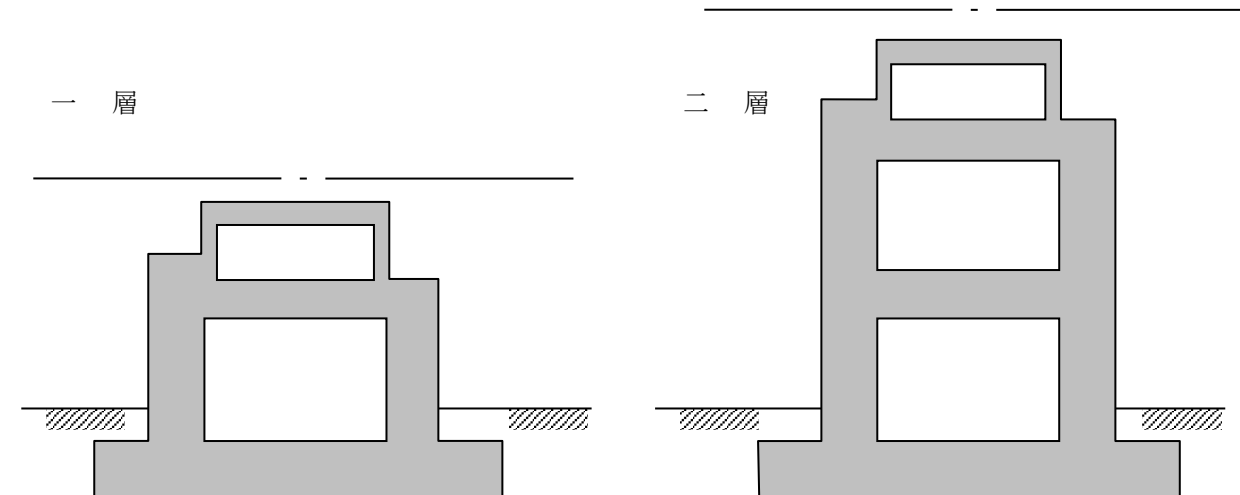
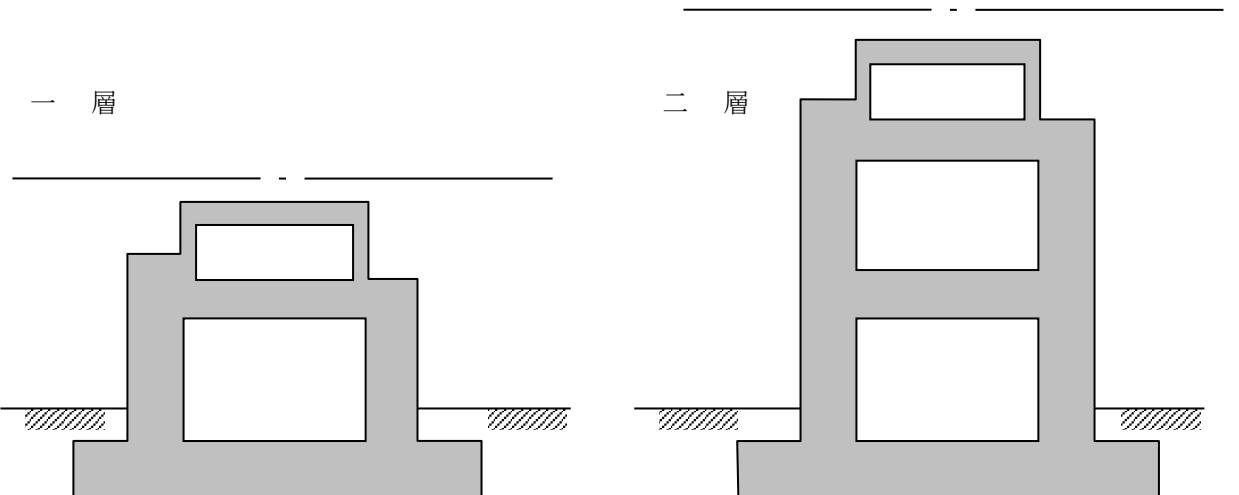
ページ	改正	現行																																																																																														
新 27 旧 22	<p>(7)単T桁</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業 \ 職種</th> <th colspan="5">(人)</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>5.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>4.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>9.5</td> <td>11.0</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ラーメン計算、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	作業 \ 職種	(人)					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	1.0	1.0				設計計算		1.0	4.5	5.5	2.5	設計図			3.0	4.5	4.0	材料計算			1.0	1.0	1.0	照査		1.0	1.0			計	1.0	3.0	9.5	11.0	7.5	<p>(6)単T桁</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業 \ 職種</th> <th colspan="5">(人)</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計計算</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>5.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>4.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>材料計算</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>9.5</td> <td>11.0</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ラーメン計算、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	作業 \ 職種	(人)					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	1.0	1.0				設計計算		1.0	4.5	5.5	2.5	設計図			3.0	4.5	4.0	材料計算			1.0	1.0	1.0	照査		1.0	1.0			計	1.0	3.0	9.5	11.0	7.5
作業 \ 職種	(人)																																																																																															
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																											
設計計画	1.0	1.0																																																																																														
設計計算		1.0	4.5	5.5	2.5																																																																																											
設計図			3.0	4.5	4.0																																																																																											
材料計算			1.0	1.0	1.0																																																																																											
照査		1.0	1.0																																																																																													
計	1.0	3.0	9.5	11.0	7.5																																																																																											
作業 \ 職種	(人)																																																																																															
	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																											
設計計画	1.0	1.0																																																																																														
設計計算		1.0	4.5	5.5	2.5																																																																																											
設計図			3.0	4.5	4.0																																																																																											
材料計算			1.0	1.0	1.0																																																																																											
照査		1.0	1.0																																																																																													
計	1.0	3.0	9.5	11.0	7.5																																																																																											

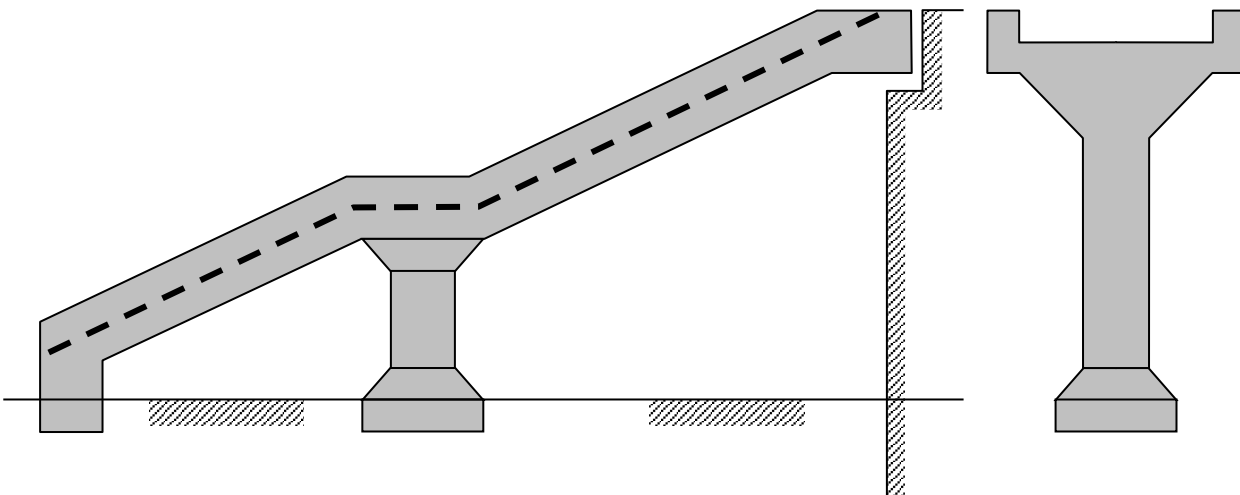
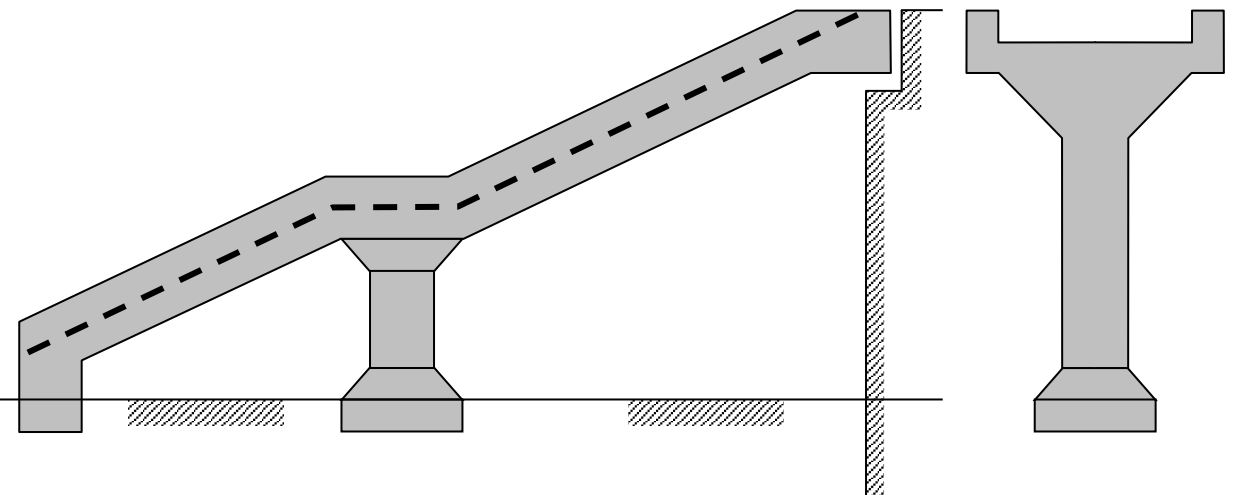
ページ	改 正	現 行																																																																																				
新 28 旧 23	<p>(8) 箱形桁</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任 技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 計 画</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 計 算</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2.5</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3.5</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">照 査</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> <td style="text-align: center;">11.0</td> <td style="text-align: center;">14.5</td> <td style="text-align: center;">11.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(人)</p> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ラーメン計算、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	職 種	主任 技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	設 計 計 画	1.0	2.0	0.5			設 計 計 算		2.5	6.0	6.5	3.5	設 計 図			3.5	6.0	6.0	材 料 計 算			0.5	2.0	2.0	照 査	0.5	1.0	0.5			計	1.5	5.5	11.0	14.5	11.5	<p>(7) 箱形桁</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">職 種</th> <th style="text-align: center;">主任 技師</th> <th style="text-align: center;">技 師 A</th> <th style="text-align: center;">技 師 B</th> <th style="text-align: center;">技 師 C</th> <th style="text-align: center;">技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 計 画</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 計 算</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2.5</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> <td style="text-align: center;">6.5</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3.5</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> <td style="text-align: center;">6.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">照 査</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> <td style="text-align: center;">11.0</td> <td style="text-align: center;">14.5</td> <td style="text-align: center;">11.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(人)</p> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 単線、直角を基本とする。 ② 支間等は、既に定まっているものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、ラーメン計算、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積等。</p>	職 種	主任 技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	設 計 計 画	1.0	2.0	0.5			設 計 計 算		2.5	6.0	6.5	3.5	設 計 図			3.5	6.0	6.0	材 料 計 算			0.5	2.0	2.0	照 査	0.5	1.0	0.5			計	1.5	5.5	11.0	14.5	11.5
職 種	主任 技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																	
設 計 計 画	1.0	2.0	0.5																																																																																			
設 計 計 算		2.5	6.0	6.5	3.5																																																																																	
設 計 図			3.5	6.0	6.0																																																																																	
材 料 計 算			0.5	2.0	2.0																																																																																	
照 査	0.5	1.0	0.5																																																																																			
計	1.5	5.5	11.0	14.5	11.5																																																																																	
職 種	主任 技師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																	
設 計 計 画	1.0	2.0	0.5																																																																																			
設 計 計 算		2.5	6.0	6.5	3.5																																																																																	
設 計 図			3.5	6.0	6.0																																																																																	
材 料 計 算			0.5	2.0	2.0																																																																																	
照 査	0.5	1.0	0.5																																																																																			
計	1.5	5.5	11.0	14.5	11.5																																																																																	

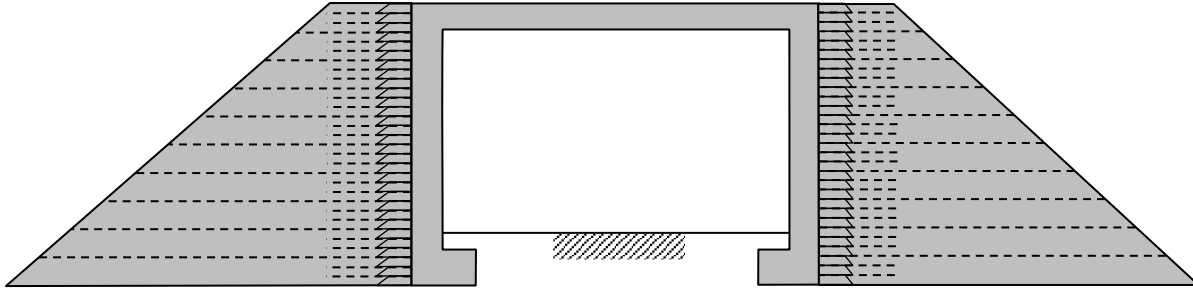
ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
新29 旧24	(9) ラーメン高架橋  ①限界状態設計法の標準歩掛 (人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">層 別</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">一 層</th> <th colspan="5">二 層</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">設計計画</td> <td>1径間</td> <td>2.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>4.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td>2.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>5.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>6.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>6.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設計計算</td> <td>1径間</td> <td></td><td>3.0</td><td>7.0</td><td>9.0</td><td>7.5</td> <td></td><td>4.5</td><td>10.0</td><td>12.0</td><td>10.0</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td>4.0</td><td>9.0</td><td>11.5</td><td>9.0</td> <td></td><td>5.0</td><td>12.0</td><td>14.0</td><td>11.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td>4.5</td><td>11.0</td><td>13.5</td><td>10.0</td> <td></td><td>5.5</td><td>14.0</td><td>16.0</td><td>12.5</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td>5.0</td><td>12.5</td><td>14.5</td><td>11.5</td> <td></td><td>6.5</td><td>15.0</td><td>18.5</td><td>14.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設計図</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td>5.0</td><td>11.5</td><td>11.5</td> <td></td><td></td><td>11.5</td><td>14.5</td><td>14.5</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td>7.5</td><td>15.0</td><td>16.5</td> <td></td><td></td><td>14.0</td><td>21.5</td><td>21.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td></td><td>10.0</td><td>19.0</td><td>18.5</td> <td></td><td></td><td>16.5</td><td>28.0</td><td>28.0</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td></td><td>12.5</td><td>22.0</td><td>21.5</td> <td></td><td></td><td>18.5</td><td>33.0</td><td>33.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料計算</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td>2.5</td><td>6.5</td><td>6.5</td> <td></td><td></td><td>3.0</td><td>8.5</td><td>6.5</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td>2.5</td><td>8.5</td><td>8.5</td> <td></td><td></td><td>5.5</td><td>11.5</td><td>11.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td></td><td>4.5</td><td>10.0</td><td>10.0</td> <td></td><td></td><td>7.5</td><td>14.0</td><td>14.0</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td></td><td>4.5</td><td>11.5</td><td>11.5</td> <td></td><td></td><td>8.5</td><td>14.0</td><td>14.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">照 査</td> <td>1径間</td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>4.0</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td>4.5</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計</td> <td>1径間</td> <td>2.5</td><td>7.5</td><td>16.5</td><td>29.0</td><td>25.5</td> <td>3.5</td><td>10.5</td><td>27.0</td><td>37.5</td><td>31.0</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td>2.5</td><td>8.5</td><td>21.0</td><td>37.5</td><td>34.0</td> <td>3.5</td><td>12.0</td><td>34.0</td><td>50.0</td><td>44.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>2.5</td><td>11.0</td><td>28.0</td><td>45.5</td><td>38.5</td> <td>3.5</td><td>14.5</td><td>41.0</td><td>62.0</td><td>54.5</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>2.5</td><td>11.5</td><td>32.0</td><td>52.0</td><td>44.5</td> <td>3.5</td><td>15.5</td><td>45.0</td><td>70.0</td><td>61.0</td> </tr> </tbody> </table>	層 別	職 種	一 層					二 層					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	1径間	2.0	3.0				2.0	4.0				2径間	2.0	3.0				2.0	5.0				3径間	2.0	4.5				2.0	6.5				4径間	2.0	4.5				2.0	6.5				設計計算	1径間		3.0	7.0	9.0	7.5		4.5	10.0	12.0	10.0	2径間		4.0	9.0	11.5	9.0		5.0	12.0	14.0	11.5	3径間		4.5	11.0	13.5	10.0		5.5	14.0	16.0	12.5	4径間		5.0	12.5	14.5	11.5		6.5	15.0	18.5	14.0	設計図	1径間			5.0	11.5	11.5			11.5	14.5	14.5	2径間			7.5	15.0	16.5			14.0	21.5	21.5	3径間			10.0	19.0	18.5			16.5	28.0	28.0	4径間			12.5	22.0	21.5			18.5	33.0	33.0	材料計算	1径間			2.5	6.5	6.5			3.0	8.5	6.5	2径間			2.5	8.5	8.5			5.5	11.5	11.5	3径間			4.5	10.0	10.0			7.5	14.0	14.0	4径間			4.5	11.5	11.5			8.5	14.0	14.0	照 査	1径間	0.5	1.5	2.0	2.0		1.5	2.0	2.5	2.5		2径間	0.5	1.5	2.0	2.5		1.5	2.0	2.5	3.0		3径間	0.5	2.0	2.5	3.0		1.5	2.5	3.0	4.0		4径間	0.5	2.0	2.5	4.0		1.5	2.5	3.0	4.5		計	1径間	2.5	7.5	16.5	29.0	25.5	3.5	10.5	27.0	37.5	31.0	2径間	2.5	8.5	21.0	37.5	34.0	3.5	12.0	34.0	50.0	44.5	3径間	2.5	11.0	28.0	45.5	38.5	3.5	14.5	41.0	62.0	54.5	4径間	2.5	11.5	32.0	52.0	44.5	3.5	15.5	45.0	70.0	61.0	(8) ラーメン高架橋  (人) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">層 別</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="5">一 層</th> <th colspan="5">二 層</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">設計計画</td> <td>1径間</td> <td>2.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>4.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td>2.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>5.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>6.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>2.0</td><td>4.5</td><td></td><td></td><td></td> <td>2.0</td><td>6.5</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設計計算</td> <td>1径間</td> <td></td><td>3.0</td><td>7.0</td><td>9.0</td><td>7.5</td> <td></td><td>4.5</td><td>10.0</td><td>12.0</td><td>10.0</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td>4.0</td><td>9.0</td><td>11.5</td><td>9.0</td> <td></td><td>5.0</td><td>12.0</td><td>14.0</td><td>11.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td>4.5</td><td>11.0</td><td>13.5</td><td>10.0</td> <td></td><td>5.5</td><td>14.0</td><td>16.0</td><td>12.5</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td>5.0</td><td>12.5</td><td>14.5</td><td>11.5</td> <td></td><td>6.5</td><td>15.0</td><td>18.5</td><td>14.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設計図</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td>5.0</td><td>11.5</td><td>11.5</td> <td></td><td></td><td>11.5</td><td>14.5</td><td>14.5</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td>7.5</td><td>15.0</td><td>16.5</td> <td></td><td></td><td>14.0</td><td>21.5</td><td>21.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td></td><td>10.0</td><td>19.0</td><td>18.5</td> <td></td><td></td><td>16.5</td><td>28.0</td><td>28.0</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td></td><td>12.5</td><td>22.0</td><td>21.5</td> <td></td><td></td><td>18.5</td><td>33.0</td><td>33.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料計算</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td>2.5</td><td>6.5</td><td>6.5</td> <td></td><td></td><td>3.0</td><td>8.5</td><td>6.5</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td>2.5</td><td>8.5</td><td>8.5</td> <td></td><td></td><td>5.5</td><td>11.5</td><td>11.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td></td><td>4.5</td><td>10.0</td><td>10.0</td> <td></td><td></td><td>7.5</td><td>14.0</td><td>14.0</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td></td><td>4.5</td><td>11.5</td><td>11.5</td> <td></td><td></td><td>8.5</td><td>14.0</td><td>14.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">照 査</td> <td>1径間</td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>4.0</td><td></td> <td>1.5</td><td>2.5</td><td>3.0</td><td>4.5</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計</td> <td>1径間</td> <td>2.5</td><td>7.5</td><td>16.5</td><td>29.0</td><td>25.5</td> <td>3.5</td><td>10.5</td><td>27.0</td><td>37.5</td><td>31.0</td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td>2.5</td><td>8.5</td><td>21.0</td><td>37.5</td><td>34.0</td> <td>3.5</td><td>12.0</td><td>34.0</td><td>50.0</td><td>44.5</td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>2.5</td><td>11.0</td><td>28.0</td><td>45.5</td><td>38.5</td> <td>3.5</td><td>14.5</td><td>41.0</td><td>62.0</td><td>54.5</td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>2.5</td><td>11.5</td><td>32.0</td><td>52.0</td><td>44.5</td> <td>3.5</td><td>15.5</td><td>45.0</td><td>70.0</td><td>61.0</td> </tr> </tbody> </table>	層 別	職 種	一 層					二 層					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	設計計画	1径間	2.0	3.0				2.0	4.0				2径間	2.0	3.0				2.0	5.0				3径間	2.0	4.5				2.0	6.5				4径間	2.0	4.5				2.0	6.5				設計計算	1径間		3.0	7.0	9.0	7.5		4.5	10.0	12.0	10.0	2径間		4.0	9.0	11.5	9.0		5.0	12.0	14.0	11.5	3径間		4.5	11.0	13.5	10.0		5.5	14.0	16.0	12.5	4径間		5.0	12.5	14.5	11.5		6.5	15.0	18.5	14.0	設計図	1径間			5.0	11.5	11.5			11.5	14.5	14.5	2径間			7.5	15.0	16.5			14.0	21.5	21.5	3径間			10.0	19.0	18.5			16.5	28.0	28.0	4径間			12.5	22.0	21.5			18.5	33.0	33.0	材料計算	1径間			2.5	6.5	6.5			3.0	8.5	6.5	2径間			2.5	8.5	8.5			5.5	11.5	11.5	3径間			4.5	10.0	10.0			7.5	14.0	14.0	4径間			4.5	11.5	11.5			8.5	14.0	14.0	照 査	1径間	0.5	1.5	2.0	2.0		1.5	2.0	2.5	2.5		2径間	0.5	1.5	2.0	2.5		1.5	2.0	2.5	3.0		3径間	0.5	2.0	2.5	3.0		1.5	2.5	3.0	4.0		4径間	0.5	2.0	2.5	4.0		1.5	2.5	3.0	4.5		計	1径間	2.5	7.5	16.5	29.0	25.5	3.5	10.5	27.0	37.5	31.0	2径間	2.5	8.5	21.0	37.5	34.0	3.5	12.0	34.0	50.0	44.5	3径間	2.5	11.0	28.0	45.5	38.5	3.5	14.5	41.0	62.0	54.5	4径間	2.5	11.5	32.0	52.0	44.5	3.5	15.5	45.0	70.0	61.0
層 別	職 種			一 層					二 層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設計計画	1径間	2.0	3.0				2.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	2径間	2.0	3.0				2.0	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3径間	2.0	4.5				2.0	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	4径間	2.0	4.5				2.0	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
設計計算	1径間		3.0	7.0	9.0	7.5		4.5	10.0	12.0	10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間		4.0	9.0	11.5	9.0		5.0	12.0	14.0	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間		4.5	11.0	13.5	10.0		5.5	14.0	16.0	12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間		5.0	12.5	14.5	11.5		6.5	15.0	18.5	14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設計図	1径間			5.0	11.5	11.5			11.5	14.5	14.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間			7.5	15.0	16.5			14.0	21.5	21.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間			10.0	19.0	18.5			16.5	28.0	28.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間			12.5	22.0	21.5			18.5	33.0	33.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
材料計算	1径間			2.5	6.5	6.5			3.0	8.5	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間			2.5	8.5	8.5			5.5	11.5	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間			4.5	10.0	10.0			7.5	14.0	14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間			4.5	11.5	11.5			8.5	14.0	14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
照 査	1径間	0.5	1.5	2.0	2.0		1.5	2.0	2.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	2径間	0.5	1.5	2.0	2.5		1.5	2.0	2.5	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	3径間	0.5	2.0	2.5	3.0		1.5	2.5	3.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	4径間	0.5	2.0	2.5	4.0		1.5	2.5	3.0	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
計	1径間	2.5	7.5	16.5	29.0	25.5	3.5	10.5	27.0	37.5	31.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間	2.5	8.5	21.0	37.5	34.0	3.5	12.0	34.0	50.0	44.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間	2.5	11.0	28.0	45.5	38.5	3.5	14.5	41.0	62.0	54.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間	2.5	11.5	32.0	52.0	44.5	3.5	15.5	45.0	70.0	61.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
層 別	職 種	一 層					二 層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技 術 員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設計計画	1径間	2.0	3.0				2.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	2径間	2.0	3.0				2.0	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	3径間	2.0	4.5				2.0	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	4径間	2.0	4.5				2.0	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
設計計算	1径間		3.0	7.0	9.0	7.5		4.5	10.0	12.0	10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間		4.0	9.0	11.5	9.0		5.0	12.0	14.0	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間		4.5	11.0	13.5	10.0		5.5	14.0	16.0	12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間		5.0	12.5	14.5	11.5		6.5	15.0	18.5	14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設計図	1径間			5.0	11.5	11.5			11.5	14.5	14.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間			7.5	15.0	16.5			14.0	21.5	21.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間			10.0	19.0	18.5			16.5	28.0	28.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間			12.5	22.0	21.5			18.5	33.0	33.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
材料計算	1径間			2.5	6.5	6.5			3.0	8.5	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間			2.5	8.5	8.5			5.5	11.5	11.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間			4.5	10.0	10.0			7.5	14.0	14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間			4.5	11.5	11.5			8.5	14.0	14.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
照 査	1径間	0.5	1.5	2.0	2.0		1.5	2.0	2.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	2径間	0.5	1.5	2.0	2.5		1.5	2.0	2.5	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	3径間	0.5	2.0	2.5	3.0		1.5	2.5	3.0	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	4径間	0.5	2.0	2.5	4.0		1.5	2.5	3.0	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
計	1径間	2.5	7.5	16.5	29.0	25.5	3.5	10.5	27.0	37.5	31.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	2径間	2.5	8.5	21.0	37.5	34.0	3.5	12.0	34.0	50.0	44.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	3径間	2.5	11.0	28.0	45.5	38.5	3.5	14.5	41.0	62.0	54.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	4径間	2.5	11.5	32.0	52.0	44.5	3.5	15.5	45.0	70.0	61.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

ページ	改正	現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
新30	<p>②耐震設計の標準歩掛 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th rowspan="2">層 別 職種 径間別</th> <th colspan="5">一 層</th> <th colspan="5">二 層</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> <th>主任技師</th> <th>技師 A</th> <th>技師 B</th> <th>技師 C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">設計計画</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>0.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設計計算</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td>4.5</td><td>15.0</td><td>14.0</td><td></td><td></td><td>5.0</td><td>22.0</td><td>22.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td>6.5</td><td>19.5</td><td>18.0</td><td></td><td></td><td>5.5</td><td>24.0</td><td>24.0</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設計図</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料計算</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">照 査</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>0.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計</td> <td>1径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2径間</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3径間</td> <td>1.0</td><td>8.0</td><td>16.5</td><td>14.0</td><td></td><td>1.5</td><td>9.0</td><td>23.5</td><td>22.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>4径間</td> <td>1.0</td><td>10.5</td><td>21.5</td><td>18.0</td><td></td><td>2.0</td><td>9.5</td><td>25.5</td><td>24.0</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	作 業	層 別 職種 径間別	一 層					二 層					主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	設計計画	1径間											2径間											3径間	0.5	1.5	1.5			1.0	2.0	1.5			4径間	0.5	2.0	2.0			1.5	2.0	1.5			設計計算	1径間											2径間											3径間		4.5	15.0	14.0			5.0	22.0	22.0		4径間		6.5	19.5	18.0			5.5	24.0	24.0		設計図	1径間											2径間											3径間											4径間											材料計算	1径間											2径間											3径間											4径間											照 査	1径間											2径間											3径間	0.5	2.0				0.5	2.0				4径間	0.5	2.0				0.5	2.0				計	1径間											2径間											3径間	1.0	8.0	16.5	14.0		1.5	9.0	23.5	22.0		4径間	1.0	10.5	21.5	18.0		2.0	9.5	25.5	24.0		新規追加
作 業	層 別 職種 径間別			一 層					二 層																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																											
設計計画	1径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3径間	0.5	1.5	1.5			1.0	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	4径間	0.5	2.0	2.0			1.5	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																													
設計計算	1径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3径間		4.5	15.0	14.0			5.0	22.0	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	4径間		6.5	19.5	18.0			5.5	24.0	24.0																																																																																																																																																																																																																																																																																												
設計図	1径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	4径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材料計算	1径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	4径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
照 査	1径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3径間	0.5	2.0				0.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	4径間	0.5	2.0				0.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																														
計	1径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	2径間																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	3径間	1.0	8.0	16.5	14.0		1.5	9.0	23.5	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	4径間	1.0	10.5	21.5	18.0		2.0	9.5	25.5	24.0																																																																																																																																																																																																																																																																																												
旧24	<p>(注) 1. 上表の①は限界状態設計法の標準歩掛、②は耐震設計の標準歩掛である。 ただし、一層1、2径間及び二層1、2径間の耐震設計標準歩掛は設定していないため、必要がある場合は別途計上すること。</p>	<p>(注) 1. <u>上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。</u></p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
旧25	<p>2. 1期施工で1線1柱式、2期施工で2線2柱式にする場合は、I₂の補正を行う。 [2線2柱式×(1+0.2)]</p> <p>3. ダンバー式ストッパーを付ける場合は、水平力を分散する目的で特別に設けるストッパーであり、技師B 5人を加算する。なお、これ以外については特に考慮しない。</p> <p>4. 線路数には関係なく横2、3径間は20%、4、5径間は30%増とする。 ただし、非対称構造の場合は、全ラーメン列を計算するので非対称補正を行う。</p> <p>5. 側面に壁を張り土圧を考慮する場合等は、I₁を適用する。</p> <p>6. 多層の割増は、次による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>三層ラーメン</th> <th>四層ラーメン</th> <th>五層ラーメン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二層ラーメンの</td> <td>30%</td> <td>60%</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	三層ラーメン	四層ラーメン	五層ラーメン	二層ラーメンの	30%	60%	90%	<p>2. 1期施工で1線1柱式、2期施工で2線2柱式にする場合は、I₂の補正を行う。 [2線2柱式×(1+0.2)]</p> <p>3. ダンバー式ストッパーを付ける場合は、水平力を分散する目的で特別に設けるストッパーであり、技師B 5人を加算する。なお、これ以外については特に考慮しない。</p> <p>4. 線路数には関係なく横2、3径間は20%、4、5径間は30%増とする。 ただし、非対称構造の場合は、全ラーメン列を計算するので非対称補正を行う。</p> <p>5. 側面に壁を張り土圧を考慮する場合等は、I₁を適用する。</p> <p>6. 多層の割増は、次による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>三層ラーメン</th> <th>四層ラーメン</th> <th>五層ラーメン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二層ラーメンの</td> <td>30%</td> <td>60%</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	三層ラーメン	四層ラーメン	五層ラーメン	二層ラーメンの	30%	60%	90%																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 別	三層ラーメン	四層ラーメン	五層ラーメン																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
二層ラーメンの	30%	60%	90%																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 別	三層ラーメン	四層ラーメン	五層ラーメン																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
二層ラーメンの	30%	60%	90%																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

ページ	改 正	現 行																																										
<p>新 31 旧 25</p>	<p>7. 多径間の割増は、次による。</p> <table border="1" data-bbox="448 233 1368 373"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>6 径間</th> <th>8 径間</th> <th>10 径間</th> <th>12 径間</th> <th>14 径間</th> <th>16 径間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一層 4 径間の</td> <td>14 %</td> <td>23 %</td> <td>28 %</td> <td>31 %</td> <td>33 %</td> <td>34 %</td> </tr> <tr> <td>二層 4 径間の</td> <td>12 %</td> <td>20 %</td> <td>25 %</td> <td>29 %</td> <td>31 %</td> <td>32 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 中間は、補間法による。</p> <p>8. 場所打杭と高架橋を一体構造（一柱一基礎ラーメン）として解析する場合は、層数の一層多い歩掛を適用する。この場合、場所打杭の歩掛は計上しない。</p> <p>9. 電柱基礎荷重の増による再設計は、1 径間の標準歩掛を適用する。 なお、この場合の歩掛は、詳細設計Cとする（参考資料2 I参照）</p> <p>10. 高架橋スラブ上での桁の製作、架設等を行う場合の検討は、I₁を加算する。</p> <p>11. 標準設計をする場合は、関係箇所と十分な打合せの上、計上すること。</p> <p>12. 壁式高架橋の設計人工は、ラーメン高架橋（一層）の設計人工の85%とする。なお、多径間割増及び場所打杭との一体構造（一柱一基礎ラーメン）等については、上記（注）7～10による。</p> <p>13. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。</p> <p>1) 設計条件</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 複線、直角、対称、2線2柱式、直接基礎を基本とする。 ② 高架橋の高さ、径間数、径間長、層数は既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 ④ 耐震設計標準によるものとする。 <p>2) 作業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 設計計算 諸荷重による軌道方向1断面、軌道直角方向2断面の応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安定度、地震時の破壊安全度、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根掘数量等。 	種 別	6 径間	8 径間	10 径間	12 径間	14 径間	16 径間	一層 4 径間の	14 %	23 %	28 %	31 %	33 %	34 %	二層 4 径間の	12 %	20 %	25 %	29 %	31 %	32 %	<p>7. 多径間の割増は、次による。</p> <table border="1" data-bbox="1709 233 2629 373"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>6 径間</th> <th>8 径間</th> <th>10 径間</th> <th>12 径間</th> <th>14 径間</th> <th>16 径間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一層 4 径間の</td> <td>14 %</td> <td>23 %</td> <td>28 %</td> <td>31 %</td> <td>33 %</td> <td>34 %</td> </tr> <tr> <td>二層 4 径間の</td> <td>12 %</td> <td>20 %</td> <td>25 %</td> <td>29 %</td> <td>31 %</td> <td>32 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 中間は、補間法による。</p> <p>8. 場所打杭と高架橋を一体構造（一柱一基礎ラーメン）として解析する場合は、層数の一層多い歩掛を適用する。この場合、場所打杭の歩掛は計上しない。</p> <p>9. 電柱基礎荷重の増による再設計は、1 径間の標準歩掛を適用する。 なお、この場合の歩掛は、詳細設計Cとする（参考資料2 I参照）</p> <p>10. 高架橋スラブ上での桁の製作、架設等を行う場合の検討は、I₁を加算する。</p> <p>11. 標準設計をする場合は、関係箇所と十分な打合せの上、計上すること。</p> <p>12. 壁式高架橋の設計人工は、ラーメン高架橋（一層）の設計人工の85%とする。なお、多径間割増及び場所打杭との一体構造（一柱一基礎ラーメン）等については、上記（注）7～10による。</p> <p>13. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。</p> <p>1) 設計条件</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 複線、直角、対称、2線2柱式、直接基礎を基本とする。 ② 高架橋の高さ、径間数、径間長、層数は既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 <p>2) 作業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 設計計算 諸荷重による軌道方向1断面、軌道直角方向2断面の応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安定度、地震時の破壊安全度、ひびわれ、たわみの計算、材料の疲労計算、断面耐力の計算等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、根掘数量等。 	種 別	6 径間	8 径間	10 径間	12 径間	14 径間	16 径間	一層 4 径間の	14 %	23 %	28 %	31 %	33 %	34 %	二層 4 径間の	12 %	20 %	25 %	29 %	31 %	32 %
種 別	6 径間	8 径間	10 径間	12 径間	14 径間	16 径間																																						
一層 4 径間の	14 %	23 %	28 %	31 %	33 %	34 %																																						
二層 4 径間の	12 %	20 %	25 %	29 %	31 %	32 %																																						
種 別	6 径間	8 径間	10 径間	12 径間	14 径間	16 径間																																						
一層 4 径間の	14 %	23 %	28 %	31 %	33 %	34 %																																						
二層 4 径間の	12 %	20 %	25 %	29 %	31 %	32 %																																						

ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																								
新 32 旧 26	<p>(10) ラーメン橋台</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th colspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">主任技師</th> <th rowspan="2">技師 A</th> <th rowspan="2">技師 B</th> <th rowspan="2">技師 C</th> <th rowspan="2">技術員</th> </tr> <tr> <th>層別</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 画</td> <td>一 層</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>4.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 算</td> <td>一 層</td> <td></td> <td></td> <td>5.0</td> <td>12.0</td> <td>14.0</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td></td> <td>5.5</td> <td>15.0</td> <td>18.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td>一 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.5</td> <td>14.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.0</td> <td>18.5</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料 計 算</td> <td>一 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>5.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>7.0</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>一 層</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>一 層</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>10.5</td> <td>25.0</td> <td>35.5</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>12.5</td> <td>31.0</td> <td>45.5</td> <td>38.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 柱に土圧が作用する場合には、I1を加算する。 3. 場所打杭とラーメン橋台とを一体構造（一柱一基礎ラーメン）として解析する場合は、層数の一層多い歩掛を適用する。この場合、場所打杭の歩掛は計上しない。 4. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、2線2柱式、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、反力等）、は既知とする。 ③ ラーメン橋台の形式は帽子型を基本とする。 ④ 層数、高さ、径間長等は既に定まっているものとする。 ⑤ 基礎杭等の設計を要する場合は、土構造標準歩掛を加算する。</p>	作 業	職 種		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	層別		設 計 計 画	一 層		2.5	4.0	1.5			二 層		2.5	5.0	2.0			設 計 計 算	一 層			5.0	12.0	14.0	10.0	二 層			5.5	15.0	18.0	14.0	設 計 図	一 層				7.5	14.0	14.0	二 層				9.0	18.5	19.0	材 料 計 算	一 層				2.0	5.5	4.5	二 層				3.0	7.0	5.5	照 査	一 層		1.5	1.5	2.0	2.0		二 層		1.5	2.0	2.0	2.0		計	一 層		4.0	10.5	25.0	35.5	28.5	二 層		4.0	12.5	31.0	45.5	38.5	<p>(9) ラーメン橋台</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作 業</th> <th colspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">主任技師</th> <th rowspan="2">技師 A</th> <th rowspan="2">技師 B</th> <th rowspan="2">技師 C</th> <th rowspan="2">技術員</th> </tr> <tr> <th>層別</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 画</td> <td>一 層</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>4.0</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 算</td> <td>一 層</td> <td></td> <td></td> <td>5.0</td> <td>12.0</td> <td>14.0</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td></td> <td>5.5</td> <td>15.0</td> <td>18.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td>一 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.5</td> <td>14.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.0</td> <td>18.5</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料 計 算</td> <td>一 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0</td> <td>5.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>7.0</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>一 層</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>一 層</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>10.5</td> <td>25.0</td> <td>35.5</td> <td>28.5</td> </tr> <tr> <td>二 層</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>12.5</td> <td>31.0</td> <td>45.5</td> <td>38.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による。 2. 柱に土圧が作用する場合には、I1を加算する。 3. 場所打杭とラーメン橋台とを一体構造（一柱一基礎ラーメン）として解析する場合は、層数の一層多い歩掛を適用する。この場合、場所打杭の歩掛は計上しない。 4. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、2線2柱式、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（桁の種類、支間、反力等）、は既知とする。 ③ ラーメン橋台の形式は帽子型を基本とする。 ④ 層数、高さ、径間長等は既に定まっているものとする。 ⑤ 基礎杭等の設計を要する場合は、土構造標準歩掛を加算する。</p>	作 業	職 種		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	層別		設 計 計 画	一 層		2.5	4.0	1.5			二 層		2.5	5.0	2.0			設 計 計 算	一 層			5.0	12.0	14.0	10.0	二 層			5.5	15.0	18.0	14.0	設 計 図	一 層				7.5	14.0	14.0	二 層				9.0	18.5	19.0	材 料 計 算	一 層				2.0	5.5	4.5	二 層				3.0	7.0	5.5	照 査	一 層		1.5	1.5	2.0	2.0		二 層		1.5	2.0	2.0	2.0		計	一 層		4.0	10.5	25.0	35.5	28.5	二 層		4.0	12.5	31.0	45.5	38.5
作 業	職 種		主任技師	技師 A						技師 B	技師 C		技術員																																																																																																																																																																																													
	層別																																																																																																																																																																																																									
設 計 計 画	一 層		2.5	4.0	1.5																																																																																																																																																																																																					
	二 層		2.5	5.0	2.0																																																																																																																																																																																																					
設 計 計 算	一 層			5.0	12.0	14.0	10.0																																																																																																																																																																																																			
	二 層			5.5	15.0	18.0	14.0																																																																																																																																																																																																			
設 計 図	一 層				7.5	14.0	14.0																																																																																																																																																																																																			
	二 層				9.0	18.5	19.0																																																																																																																																																																																																			
材 料 計 算	一 層				2.0	5.5	4.5																																																																																																																																																																																																			
	二 層				3.0	7.0	5.5																																																																																																																																																																																																			
照 査	一 層		1.5	1.5	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																				
	二 層		1.5	2.0	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																				
計	一 層		4.0	10.5	25.0	35.5	28.5																																																																																																																																																																																																			
	二 層		4.0	12.5	31.0	45.5	38.5																																																																																																																																																																																																			
作 業	職 種		主任技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員																																																																																																																																																																																																			
	層別																																																																																																																																																																																																									
設 計 計 画	一 層		2.5	4.0	1.5																																																																																																																																																																																																					
	二 層		2.5	5.0	2.0																																																																																																																																																																																																					
設 計 計 算	一 層			5.0	12.0	14.0	10.0																																																																																																																																																																																																			
	二 層			5.5	15.0	18.0	14.0																																																																																																																																																																																																			
設 計 図	一 層				7.5	14.0	14.0																																																																																																																																																																																																			
	二 層				9.0	18.5	19.0																																																																																																																																																																																																			
材 料 計 算	一 層				2.0	5.5	4.5																																																																																																																																																																																																			
	二 層				3.0	7.0	5.5																																																																																																																																																																																																			
照 査	一 層		1.5	1.5	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																				
	二 層		1.5	2.0	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																				
計	一 層		4.0	10.5	25.0	35.5	28.5																																																																																																																																																																																																			
	二 層		4.0	12.5	31.0	45.5	38.5																																																																																																																																																																																																			

ページ	改 正	現 行																																																																																				
新 34 旧 28	<p>(11)階 段</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">職 種 作 業</th> <th style="width:10%;">主任 技 師</th> <th style="width:10%;">技 師 A</th> <th style="width:10%;">技 師 B</th> <th style="width:10%;">技 師 C</th> <th style="width:10%;">技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>6.0</td> <td>6.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による場合である。 2. 踊場、基礎コンクリートを含む。 3. 横方向の長さは関係ない。 4. 基礎杭等を要する場合は、別途追加する。 5. 中間柱に鋼材を使用する場合でも、この歩掛を適用する。 6. 中間柱を必要としない場合は、歩掛を20%減とする。 7. 類似構造による補正を考慮する。</p>	職 種 作 業	主任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	設 計 計 画	0.5	1.0				設 計 計 算		1.0	1.0	2.0	2.0	設 計 図				3.0	3.5	材 料 計 算			0.5	1.0	1.0	照 査		0.5	1.0			計	0.5	2.5	2.5	6.0	6.5	<p>(10)階 段</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">職 種 作 業</th> <th style="width:10%;">主任 技 師</th> <th style="width:10%;">技 師 A</th> <th style="width:10%;">技 師 B</th> <th style="width:10%;">技 師 C</th> <th style="width:10%;">技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計 計 画</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 計 算</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td>6.0</td> <td>6.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記の設計計算人工は、限界状態設計法による場合である。 2. 踊場、基礎コンクリートを含む。 3. 横方向の長さは関係ない。 4. 基礎杭等を要する場合は、別途追加する。 5. 中間柱に鋼材を使用する場合でも、この歩掛を適用する。 6. 中間柱を必要としない場合は、歩掛を20%減とする。 7. 類似構造による補正を考慮する。</p>	職 種 作 業	主任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	設 計 計 画	0.5	1.0				設 計 計 算		1.0	1.0	2.0	2.0	設 計 図				3.0	3.5	材 料 計 算			0.5	1.0	1.0	照 査		0.5	1.0			計	0.5	2.5	2.5	6.0	6.5
職 種 作 業	主任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																	
設 計 計 画	0.5	1.0																																																																																				
設 計 計 算		1.0	1.0	2.0	2.0																																																																																	
設 計 図				3.0	3.5																																																																																	
材 料 計 算			0.5	1.0	1.0																																																																																	
照 査		0.5	1.0																																																																																			
計	0.5	2.5	2.5	6.0	6.5																																																																																	
職 種 作 業	主任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																																	
設 計 計 画	0.5	1.0																																																																																				
設 計 計 算		1.0	1.0	2.0	2.0																																																																																	
設 計 図				3.0	3.5																																																																																	
材 料 計 算			0.5	1.0	1.0																																																																																	
照 査		0.5	1.0																																																																																			
計	0.5	2.5	2.5	6.0	6.5																																																																																	

ページ	改正	現行																																																																								
35	<p>(12) 補強土一体橋梁 (GRS一体橋梁)</p>  <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" data-bbox="489 598 1320 1260"> <thead> <tr> <th>職 種 作 業</th> <th>主任 技 師</th> <th>技 師 A</th> <th>技 師 B</th> <th>技 師 C</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 画</td> <td>1.5</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td></td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 計 算</td> <td>2.0</td> <td>8.0</td> <td>19.0</td> <td>17.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>7.0</td> <td>16.0</td> <td>12.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td></td> <td></td> <td>7.0</td> <td>14.0</td> <td>17.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料 計 算</td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>6.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>1.5</td> <td>4.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>5.0</td> <td>15.0</td> <td>31.0</td> <td>37.0</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>8.0</td> <td>20.0</td> <td>12.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の上段は限界状態設計法の標準歩掛、下段は耐震設計の標準歩掛である。 2. RC構造で、L=10m程度の構造とする。背面はアプローチブロックとする。 線路方向の擁壁は含んでいないため、盛土補強土壁を別途計上すること。 3. 標準歩掛の設計条件及び作業内容は、次のとおりである。 1) 設計条件 ① 複線、直角、直接基礎を基本とする。 ② 上部構造（径間、桁高等）は既知とする。 ③ 基礎杭等を要する場合は、基礎杭歩掛を加算する。 ④ 耐震設計標準によるものとする。 2) 作業内容 ① 設計計算 諸荷重による応力度、荷重～変位曲線、塑性率、安定、安全度、ひびわれ、変位の計算、材料の疲労計算、断面力の計算、性能照査等。 ② 設計図 一般図、構造詳細図、材料表等。 ③ 材料計算 コンクリート体積、鉄筋重量、型枠面積、補強材面積、盛土材体積、根掘数量等。</p>	職 種 作 業	主任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員	設 計 計 画	1.5	3.0	2.0			2.0		4.0			設 計 計 算	2.0	8.0	19.0	17.0			7.0	16.0	12.0		設 計 図			7.0	14.0	17.0						材 料 計 算			3.0	6.0	5.0						照 査	1.5	4.0				1.0	1.0				計	5.0	15.0	31.0	37.0	22.0	3.0	8.0	20.0	12.0		新規追加
職 種 作 業	主任 技 師	技 師 A	技 師 B	技 師 C	技 術 員																																																																					
設 計 計 画	1.5	3.0	2.0																																																																							
	2.0		4.0																																																																							
設 計 計 算	2.0	8.0	19.0	17.0																																																																						
		7.0	16.0	12.0																																																																						
設 計 図			7.0	14.0	17.0																																																																					
材 料 計 算			3.0	6.0	5.0																																																																					
照 査	1.5	4.0																																																																								
	1.0	1.0																																																																								
計	5.0	15.0	31.0	37.0	22.0																																																																					
	3.0	8.0	20.0	12.0																																																																						

ページ	改正											現行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
新 36 旧 29	<p>(12) RC構造歩掛補正率 2以上の補正率が重複する場合は、該当する全ての補正率を加算し、作業種目全体に乗じて補正する。 ① 設計条件の補正 (補正率=α)</p> <p style="text-align: right;">(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歩掛補正対象項目</th> <th>補正記号</th> <th>橋台</th> <th>橋脚</th> <th>函渠</th> <th>スラブ桁</th> <th>H鋼埋込桁</th> <th>単T桁</th> <th>箱形桁</th> <th>ラーメン高架橋</th> <th>ラーメン橋台</th> <th>補強土一体橋梁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複線構造の場合 (単線並列は除く)</td> <td>A₁</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>単線構造とする場合</td> <td>A₂</td> <td>-15</td> <td>-15</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-15</td> <td>-15</td> <td>-15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非対称構造の場合</td> <td>一方向非対称</td> <td>B₁</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>二方向全非対称</td> <td>B₂</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">斜角の場合</td> <td>80~45° (両端斜角度同じ)</td> <td>C₁</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>80~45° (両端斜角度異なる)</td> <td>C₂</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>格子計算を必要とする場合</td> <td>D</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>桁座が段違いの場合</td> <td>E</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>長手方向の計算をする場合</td> <td>F</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>不均衡バネを考慮する場合</td> <td>G</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>フーチングのない場合</td> <td>H</td> <td>-10</td> <td>-10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>応答変位法を行う場合</td> <td>J</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>液状化設計を行う場合</td> <td>K</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>不整形地盤の検討を行う場合</td> <td>L</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>-</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別の検討を行う場合</td> <td>I₁</td> <td colspan="10">10</td> </tr> <tr> <td>I₂</td> <td colspan="10">20</td> </tr> <tr> <td>I₃</td> <td colspan="10">30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 非対称構造は、ラーメン架構が平面、側面又は断面で1面の場合は一方向非対称、2面以上は二方向非対称とする。 2. 斜角の補正は、非対称の場合行わない。又両端斜角度異なる場合は、角度の小さい方を適用する。(片斜角を含む。) 3. 格子計算を必要とする場合とは、主桁数が3本以上である。 なお、構造検討の結果、格子計算を必要と認めた次のような特殊な場合は計上することが出来る。 1) H形鋼埋込み桁 幅/スパン≧1 (単線並列は除く)、3線以上載荷、斜面75°未満の場合等。 2) ラーメン高架橋、ラーメン橋台で斜角等のため立体解析が必要な場合。 4. フーチングのない場合とは、ケーソン等を基礎とした橋台、橋脚等である。 5. 「特別の検討を行う場合」は次による。 I₁ : 桁高制限、多主桁 (格子計算するものは除く)、穴あけスラブ、桁上に渡り線 (ポイント等)、剛域計算 (内容説明に明記すること)、スラブのみ非対称等の場合。 I₂ : 標準設計を行う場合。 I₃ : 斜角度45°以下、設計に高度の技術的判断が必要なもの。</p>											歩掛補正対象項目	補正記号	橋台	橋脚	函渠	スラブ桁	H鋼埋込桁	単T桁	箱形桁	ラーメン高架橋	ラーメン橋台	補強土一体橋梁	複線構造の場合 (単線並列は除く)	A ₁	-	-	-	10	10	10	10	-	-	-	単線構造とする場合	A ₂	-15	-15	-	-	-	-	-	-15	-15	-15	非対称構造の場合	一方向非対称	B ₁	-	-	-	-	-	-	20	15	-	二方向全非対称	B ₂	-	-	-	-	-	-	40	35	-	斜角の場合	80~45° (両端斜角度同じ)	C ₁	-	-	10	5	5	5	10	15	15	-	80~45° (両端斜角度異なる)	C ₂	-	-	15	10	10	10	20	30	30	-	格子計算を必要とする場合	D	-	-	10	10	10	10	10	15	10	-	桁座が段違いの場合	E	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	長手方向の計算をする場合	F	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	不均衡バネを考慮する場合	G	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-	フーチングのない場合	H	-10	-10	-	-	-	-	-	-	-	-	応答変位法を行う場合	J	10	10	-	-	-	-	-	10	-	10	液状化設計を行う場合	K	20	20	-	-	-	-	-	20	-	20	不整形地盤の検討を行う場合	L	15	15	-	-	-	-	-	15	-	15	特別の検討を行う場合	I ₁	10										I ₂	20										I ₃	30										<p>(11) RC構造歩掛補正率 2以上の補正率が重複する場合は、該当する全ての補正率を加算し、作業種目全体に乗じて補正する。 ① 設計条件の補正 (補正率=α)</p> <p style="text-align: right;">(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歩掛補正対象項目</th> <th>補正記号</th> <th>橋台</th> <th>橋脚</th> <th>函渠</th> <th>スラブ桁</th> <th>H鋼埋込桁</th> <th>単T桁</th> <th>箱形桁</th> <th>ラーメン高架橋</th> <th>ラーメン橋台</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複線構造の場合(単線並列は除く)</td> <td>A₁</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>単線構造とする場合</td> <td>A₂</td> <td>-15</td> <td>-15</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-15</td> <td>-15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非対称構造の場合</td> <td>一方向非対称</td> <td>B₁</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>二方向全非対称</td> <td>B₂</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>40</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">斜角の場合</td> <td>80~45° (両端斜角度同じ)</td> <td>C₁</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>80~45° (両端斜角度異なる)</td> <td>C₂</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>格子計算を必要とする場合</td> <td>D</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>桁座が段違いの場合</td> <td>E</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>長手方向の計算をする場合</td> <td>F</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>不均衡バネを考慮する場合</td> <td>G</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>フーチングのない場合</td> <td>H</td> <td>-10</td> <td>-10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別の検討を行う場合</td> <td>I₁</td> <td colspan="10">10</td> </tr> <tr> <td>I₂</td> <td colspan="10">20</td> </tr> <tr> <td>I₃</td> <td colspan="10">30</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 非対称構造は、ラーメン架構が平面、側面又は断面で1面の場合は一方向非対称、2面以上は二方向非対称とする。 2. 斜角の補正は、非対称の場合行わない。又両端斜角度異なる場合は、角度の小さい方を適用する。(片斜角を含む。) 3. 格子計算を必要とする場合とは、主桁数が3本以上である。 なお、構造検討の結果、格子計算を必要と認めた次のような特殊な場合は計上することが出来る。 1) H形鋼埋込み桁 幅/スパン≧1 (単線並列は除く)、3線以上載荷、斜面75°未満の場合等。 2) ラーメン高架橋、ラーメン橋台で斜角等のため立体解析が必要な場合。 4. フーチングのない場合とは、ケーソン等を基礎とした橋台、橋脚等である。 5. 「特別の検討を行う場合」は次による。 I₁ : 桁高制限、多主桁 (格子計算するものは除く)、穴あけスラブ、桁上に渡り線 (ポイント等)、剛域計算 (内容説明に明記すること)、スラブのみ非対称等の場合。 I₂ : 標準設計を行う場合。 I₃ : 斜角度45°以下、設計に高度の技術的判断が必要なもの。</p>											歩掛補正対象項目	補正記号	橋台	橋脚	函渠	スラブ桁	H鋼埋込桁	単T桁	箱形桁	ラーメン高架橋	ラーメン橋台	複線構造の場合(単線並列は除く)	A ₁	-	-	-	10	10	10	10	-	-	単線構造とする場合	A ₂	-15	-15	-	-	-	-	-	-15	-15	非対称構造の場合	一方向非対称	B ₁	-	-	-	-	-	-	20	15	二方向全非対称	B ₂	-	-	-	-	-	-	40	35	斜角の場合	80~45° (両端斜角度同じ)	C ₁	-	-	10	5	5	5	10	15	15	80~45° (両端斜角度異なる)	C ₂	-	-	15	10	10	10	20	30	30	格子計算を必要とする場合	D	-	-	10	10	10	10	10	15	10	桁座が段違いの場合	E	-	5	-	-	-	-	-	-	-	長手方向の計算をする場合	F	-	-	10	-	-	-	-	-	-	不均衡バネを考慮する場合	G	-	-	-	-	-	-	-	5	5	フーチングのない場合	H	-10	-10	-	-	-	-	-	-	-	特別の検討を行う場合	I ₁	10										I ₂	20										I ₃	30									
歩掛補正対象項目	補正記号	橋台	橋脚	函渠	スラブ桁	H鋼埋込桁	単T桁	箱形桁	ラーメン高架橋	ラーメン橋台	補強土一体橋梁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
複線構造の場合 (単線並列は除く)	A ₁	-	-	-	10	10	10	10	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
単線構造とする場合	A ₂	-15	-15	-	-	-	-	-	-15	-15	-15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
非対称構造の場合	一方向非対称	B ₁	-	-	-	-	-	-	20	15	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	二方向全非対称	B ₂	-	-	-	-	-	-	40	35	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
斜角の場合	80~45° (両端斜角度同じ)	C ₁	-	-	10	5	5	5	10	15	15	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	80~45° (両端斜角度異なる)	C ₂	-	-	15	10	10	10	20	30	30	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
格子計算を必要とする場合	D	-	-	10	10	10	10	10	15	10	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
桁座が段違いの場合	E	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
長手方向の計算をする場合	F	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
不均衡バネを考慮する場合	G	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
フーチングのない場合	H	-10	-10	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
応答変位法を行う場合	J	10	10	-	-	-	-	-	10	-	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
液状化設計を行う場合	K	20	20	-	-	-	-	-	20	-	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
不整形地盤の検討を行う場合	L	15	15	-	-	-	-	-	15	-	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
特別の検討を行う場合	I ₁	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	I ₂	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	I ₃	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
歩掛補正対象項目	補正記号	橋台	橋脚	函渠	スラブ桁	H鋼埋込桁	単T桁	箱形桁	ラーメン高架橋	ラーメン橋台																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
複線構造の場合(単線並列は除く)	A ₁	-	-	-	10	10	10	10	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
単線構造とする場合	A ₂	-15	-15	-	-	-	-	-	-15	-15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
非対称構造の場合	一方向非対称	B ₁	-	-	-	-	-	-	20	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	二方向全非対称	B ₂	-	-	-	-	-	-	40	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
斜角の場合	80~45° (両端斜角度同じ)	C ₁	-	-	10	5	5	5	10	15	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	80~45° (両端斜角度異なる)	C ₂	-	-	15	10	10	10	20	30	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
格子計算を必要とする場合	D	-	-	10	10	10	10	10	15	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
桁座が段違いの場合	E	-	5	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
長手方向の計算をする場合	F	-	-	10	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
不均衡バネを考慮する場合	G	-	-	-	-	-	-	-	5	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
フーチングのない場合	H	-10	-10	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
特別の検討を行う場合	I ₁	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	I ₂	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	I ₃	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

ページ	改 正	現 行																																																																																																						
65	<p>5-6 橋面工 (1) 防音壁・地覆・ダクト (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 268 1406 1010"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計計画</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設計図</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>6.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>5.5</td> <td>9.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>7.5</td> <td>12.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材料計算</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6.5</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.5</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">照 査</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合 計</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>5.0</td> <td>9.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>7.0</td> <td>15.5</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>5.0</td> <td>9.0</td> <td>21.5</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、防音壁、地覆コンクリート及びダクトコンクリートの標準設計を使用することを基本として歩掛を設定している。ただし、標準設計を行う場合は別途計上すること。 2. 上表の歩掛内容及び作業内容は、次の通りである。 1) 歩掛内容 ① 防音壁・地覆・ダクトの標準設計を使用して、割付計画、割付図作成、材料計算及び照査を行う。設計計算及び詳細図作成は含んでいない。 ② 防音壁の構造は、H形鋼、空洞PC板とする。また、桁遊間部及び電柱部は鋼製防音壁とする。 ③ 保守用設備扉（階段、斜路等）の設置が予定されている箇所の割付計画は含んでいない。 ④ 設計延長は0.1km毎とする。小数第2位は四捨五入する。 ⑤ 歩掛の補正は補間法によるものとし、以下に計算例を示す。 例1 設計延長1.4km 設計計画 技師Aの場合 $(2.0\text{km})2.0\text{人} - (1.0\text{km})1.0\text{人} = 1.0\text{人/km}$ $1.0\text{人/km} \times 0.4\text{km} + (1.0\text{km})1.0\text{人} = 1.4\text{人}$ 例2 設計延長2.4km 設計図 技師Bの場合 $(3.0\text{km})7.5\text{人} - (2.0\text{km})5.5\text{人} = 2.0\text{人/km}$ $2.0\text{人/km} \times 0.4\text{km} + (2.0\text{km})5.5\text{人} = 6.3\text{人}$ 2) 作業内容 ① 設計計画 割付計画（防音壁支柱、地覆・ダクト（伸縮・収縮目地）） ② 設計図 割付図（防音壁、地覆、ダクト） ③ 材料計算 防音壁（設置延長、支柱本数、空洞PC板設置枚数及び面積、ゴムクサビ組数、ゴム間隔材組数、ボルトナット組数、ゴム緩衝材延長、シーリング延長） 地覆・ダクト（コンクリート体積、型枠面積、鉄筋重量） 3. 上表の歩掛は、散水区間でも適用可能である。</p>	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	1.0km		1.0	1.0			2.0km		2.0	1.0			3.0km		3.0	1.0			設計図	1.0km			3.5	6.0	2.0	2.0km			5.5	9.0	4.0	3.0km			7.5	12.0	6.0	材料計算	1.0km				3.5	4.0	2.0km				6.5	7.0	3.0km				9.5	10.0	照 査	1.0km		2.0	0.5			2.0km		2.0	0.5			3.0km		2.0	0.5			合 計	1.0km		3.0	5.0	9.5	6.0	2.0km		4.0	7.0	15.5	11.0	3.0km		5.0	9.0	21.5	16.0	新規追加
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																		
設計計画	1.0km		1.0	1.0																																																																																																				
	2.0km		2.0	1.0																																																																																																				
	3.0km		3.0	1.0																																																																																																				
設計図	1.0km			3.5	6.0	2.0																																																																																																		
	2.0km			5.5	9.0	4.0																																																																																																		
	3.0km			7.5	12.0	6.0																																																																																																		
材料計算	1.0km				3.5	4.0																																																																																																		
	2.0km				6.5	7.0																																																																																																		
	3.0km				9.5	10.0																																																																																																		
照 査	1.0km		2.0	0.5																																																																																																				
	2.0km		2.0	0.5																																																																																																				
	3.0km		2.0	0.5																																																																																																				
合 計	1.0km		3.0	5.0	9.5	6.0																																																																																																		
	2.0km		4.0	7.0	15.5	11.0																																																																																																		
	3.0km		5.0	9.0	21.5	16.0																																																																																																		

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																												
66	<p>(2) 路盤鉄筋コンクリート・突起コンクリート</p> <p>1) 標準設計を使用、明り区間 (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 304 1406 1045"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計計画</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設 計 図</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>4.5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>6.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材料計算</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>2.5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>3.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">照 査</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合 計</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td>4.5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> <td>7.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>4.5</td> <td>10.5</td> <td>8.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 標準設計を使用、トンネル区間 (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 1157 1406 1898"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計計画</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設 計 図</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>6.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> <td>7.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材料計算</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>3.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>4.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">照 査</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合 計</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>3.5</td> <td>8.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>10.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>4.5</td> <td>11.5</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	1.0km		1.0	0.5	0.5		2.0km		1.5	0.5	0.5		3.0km		2.0	0.5	0.5		設 計 図	1.0km			1.5	2.5	1.5	2.0km			2.5	4.5	3.0	3.0km			3.5	6.5	4.5	材料計算	1.0km			0.5	1.5	2.0	2.0km			0.5	2.5	3.0	3.0km			0.5	3.5	4.0	照 査	1.0km		1.0				2.0km		1.5				3.0km		2.0				合 計	1.0km		2.0	2.5	4.5	3.5	2.0km		3.0	3.5	7.5	6.0	3.0km		4.0	4.5	10.5	8.5	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	1.0km		1.5	0.5	0.5		2.0km		1.5	0.5	0.5		3.0km		1.5	0.5	0.5		設 計 図	1.0km			2.5	5.0	2.0	2.0km			3.0	6.0	3.0	3.0km			3.5	7.0	4.0	材料計算	1.0km			0.5	3.0	3.0	2.0km			0.5	3.5	4.0	3.0km			0.5	4.0	5.0	照 査	1.0km		1.0				2.0km		1.5				3.0km		2.0				合 計	1.0km		2.5	3.5	8.5	5.0	2.0km		3.0	4.0	10.0	7.0	3.0km		3.5	4.5	11.5	9.0	新規追加
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																								
設計計画	1.0km		1.0	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																									
	2.0km		1.5	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																									
	3.0km		2.0	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																									
設 計 図	1.0km			1.5	2.5	1.5																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			2.5	4.5	3.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			3.5	6.5	4.5																																																																																																																																																																																																								
材料計算	1.0km			0.5	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			0.5	2.5	3.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			0.5	3.5	4.0																																																																																																																																																																																																								
照 査	1.0km		1.0																																																																																																																																																																																																											
	2.0km		1.5																																																																																																																																																																																																											
	3.0km		2.0																																																																																																																																																																																																											
合 計	1.0km		2.0	2.5	4.5	3.5																																																																																																																																																																																																								
	2.0km		3.0	3.5	7.5	6.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km		4.0	4.5	10.5	8.5																																																																																																																																																																																																								
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																								
設計計画	1.0km		1.5	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																									
	2.0km		1.5	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																									
	3.0km		1.5	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																									
設 計 図	1.0km			2.5	5.0	2.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			3.0	6.0	3.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			3.5	7.0	4.0																																																																																																																																																																																																								
材料計算	1.0km			0.5	3.0	3.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			0.5	3.5	4.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			0.5	4.0	5.0																																																																																																																																																																																																								
照 査	1.0km		1.0																																																																																																																																																																																																											
	2.0km		1.5																																																																																																																																																																																																											
	3.0km		2.0																																																																																																																																																																																																											
合 計	1.0km		2.5	3.5	8.5	5.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km		3.0	4.0	10.0	7.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km		3.5	4.5	11.5	9.0																																																																																																																																																																																																								

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																												
67	<p>3) 標準設計を修正、明かり区間 (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 233 1406 974"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計計画</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設計図</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>4.0</td> <td>8.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>6.0</td> <td>11.5</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>8.0</td> <td>15.0</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材料計算</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>5.0</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>6.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">照 査</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合 計</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> <td>13.0</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>7.0</td> <td>17.5</td> <td>13.5</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>4.5</td> <td>9.0</td> <td>22.0</td> <td>18.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 標準設計を修正、トンネル区間 (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 1083 1406 1824"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計計画</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設計図</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>4.0</td> <td>8.5</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>4.5</td> <td>9.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>5.0</td> <td>10.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材料計算</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>4.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>5.5</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>6.5</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">照 査</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合 計</td> <td>1.0km</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>5.5</td> <td>13.5</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>2.0km</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>6.0</td> <td>15.5</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>3.0km</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>6.5</td> <td>17.5</td> <td>12.0</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	1.0km		1.5	0.5	1.0		2.0km		2.0	0.5	1.0		3.0km		2.5	0.5	1.0		設計図	1.0km			4.0	8.0	5.0	2.0km			6.0	11.5	8.0	3.0km			8.0	15.0	11.0	材料計算	1.0km			0.5	4.0	4.0	2.0km			0.5	5.0	5.5	3.0km			0.5	6.0	7.0	照 査	1.0km		1.0				2.0km		1.5				3.0km		2.0				合 計	1.0km		2.5	5.0	13.0	9.0	2.0km		3.5	7.0	17.5	13.5	3.0km		4.5	9.0	22.0	18.0	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	1.0km		1.0	1.0	0.5		2.0km		1.5	1.0	0.5		3.0km		2.0	1.0	0.5		設計図	1.0km			4.0	8.5	4.0	2.0km			4.5	9.5	4.5	3.0km			5.0	10.5	5.0	材料計算	1.0km			0.5	4.5	5.0	2.0km			0.5	5.5	6.0	3.0km			0.5	6.5	7.0	照 査	1.0km		1.0				2.0km		1.5				3.0km		2.0				合 計	1.0km		2.0	5.5	13.5	9.0	2.0km		3.0	6.0	15.5	10.5	3.0km		4.0	6.5	17.5	12.0	新規追加
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																								
設計計画	1.0km		1.5	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																									
	2.0km		2.0	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																									
	3.0km		2.5	0.5	1.0																																																																																																																																																																																																									
設計図	1.0km			4.0	8.0	5.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			6.0	11.5	8.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			8.0	15.0	11.0																																																																																																																																																																																																								
材料計算	1.0km			0.5	4.0	4.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			0.5	5.0	5.5																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			0.5	6.0	7.0																																																																																																																																																																																																								
照 査	1.0km		1.0																																																																																																																																																																																																											
	2.0km		1.5																																																																																																																																																																																																											
	3.0km		2.0																																																																																																																																																																																																											
合 計	1.0km		2.5	5.0	13.0	9.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km		3.5	7.0	17.5	13.5																																																																																																																																																																																																								
	3.0km		4.5	9.0	22.0	18.0																																																																																																																																																																																																								
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																								
設計計画	1.0km		1.0	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																									
	2.0km		1.5	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																									
	3.0km		2.0	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																									
設計図	1.0km			4.0	8.5	4.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			4.5	9.5	4.5																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			5.0	10.5	5.0																																																																																																																																																																																																								
材料計算	1.0km			0.5	4.5	5.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km			0.5	5.5	6.0																																																																																																																																																																																																								
	3.0km			0.5	6.5	7.0																																																																																																																																																																																																								
照 査	1.0km		1.0																																																																																																																																																																																																											
	2.0km		1.5																																																																																																																																																																																																											
	3.0km		2.0																																																																																																																																																																																																											
合 計	1.0km		2.0	5.5	13.5	9.0																																																																																																																																																																																																								
	2.0km		3.0	6.0	15.5	10.5																																																																																																																																																																																																								
	3.0km		4.0	6.5	17.5	12.0																																																																																																																																																																																																								

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																
68	<p>5) 緩和曲線、明かり区間 (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 233 1418 747"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>5.5</td> <td>7.5</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>6.5</td> <td>8.0</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>5.0</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>7.0</td> <td>13.5</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>4.5</td> <td>8.0</td> <td>14.0</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 緩和曲線、トンネル区間 (人)</p> <table border="1" data-bbox="397 858 1418 1373"> <thead> <tr> <th>作 業</th> <th>設計延長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設計計画</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">設 計 図</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>5.5</td> <td>8.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>6.0</td> <td>9.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料計算</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">照 査</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>0.3km まで</td> <td></td> <td>4.0</td> <td>7.0</td> <td>13.5</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>0.6km まで</td> <td></td> <td>5.0</td> <td>8.0</td> <td>15.0</td> <td>10.0</td> </tr> </tbody> </table>	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	0.3km まで		1.5	1.0	1.0		0.6km まで		2.0	1.0	1.0		設 計 図	0.3km まで		0.5	5.5	7.5	3.5	0.6km まで		0.5	6.5	8.0	4.5	材料計算	0.3km まで			0.5	5.0	4.0	0.6km まで			0.5	5.0	4.5	照 査	0.3km まで		1.0				0.6km まで		2.0				合 計	0.3km まで		3.0	7.0	13.5	7.5	0.6km まで		4.5	8.0	14.0	9.0	作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画	0.3km まで		1.5	1.0	1.0		0.6km まで		2.0	1.5	1.0		設 計 図	0.3km まで		1.0	5.5	8.0	4.0	0.6km まで		1.0	6.0	9.0	5.0	材料計算	0.3km まで			0.5	4.5	4.5	0.6km まで			0.5	5.0	5.0	照 査	0.3km まで		1.5				0.6km まで		2.0				合 計	0.3km まで		4.0	7.0	13.5	8.5	0.6km まで		5.0	8.0	15.0	10.0	新規追加
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																												
設計計画	0.3km まで		1.5	1.0	1.0																																																																																																																																													
	0.6km まで		2.0	1.0	1.0																																																																																																																																													
設 計 図	0.3km まで		0.5	5.5	7.5	3.5																																																																																																																																												
	0.6km まで		0.5	6.5	8.0	4.5																																																																																																																																												
材料計算	0.3km まで			0.5	5.0	4.0																																																																																																																																												
	0.6km まで			0.5	5.0	4.5																																																																																																																																												
照 査	0.3km まで		1.0																																																																																																																																															
	0.6km まで		2.0																																																																																																																																															
合 計	0.3km まで		3.0	7.0	13.5	7.5																																																																																																																																												
	0.6km まで		4.5	8.0	14.0	9.0																																																																																																																																												
作 業	設計延長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																												
設計計画	0.3km まで		1.5	1.0	1.0																																																																																																																																													
	0.6km まで		2.0	1.5	1.0																																																																																																																																													
設 計 図	0.3km まで		1.0	5.5	8.0	4.0																																																																																																																																												
	0.6km まで		1.0	6.0	9.0	5.0																																																																																																																																												
材料計算	0.3km まで			0.5	4.5	4.5																																																																																																																																												
	0.6km まで			0.5	5.0	5.0																																																																																																																																												
照 査	0.3km まで		1.5																																																																																																																																															
	0.6km まで		2.0																																																																																																																																															
合 計	0.3km まで		4.0	7.0	13.5	8.5																																																																																																																																												
	0.6km まで		5.0	8.0	15.0	10.0																																																																																																																																												

ページ	改正	現 行
69	<p>(注) 1. 上表 1) ~6) を選択する場合、下記のフロー図によること。</p> <p>2. 標準設計があるとは、「新幹線直結系軌道用路盤鉄筋コンクリート、突起コンクリート等の設計施工の手引き（鉄幹一第 13 号・鉄設軌第 8 号・鉄設一第 18 号 平成 22 年 1 月）」を適用又は、この手引きに準じた設計を完了した成果物をいう。</p> <p>3. 1) について、標準設計を使用して、割付計画、割付図及び図面作成、材料計算及び照査を行う。明り区間のため、一般図及び配筋図の作成は行わない。</p> <p>4. 2) について、標準設計を使用して、割付計画、割付図及び図面作成、材料計算及び照査を行う。トンネル区間の配筋図作成は行わないが、緩衝工、坑口から 200m 以内及び以奥の一般図作成を行う。</p> <p>5. 3) 及び 4) について、標準設計を修正して単曲線の割付計画、割付図及び図面作成、材料計算及び照査を行う。</p> <p>6. 5) 及び 6) について、緩和曲線部の図面を作成する。緩和曲線中の路鉄及び突起高さの計算、割付計画、割付図及び図面作成、材料計算及び照査を行う。</p> <p>7. 標準設計を行う場合は、上表 1) ~6) は使用できないため別途計上すること。</p> <p>8. 設計数量及び歩掛補正については以下の通り。</p> <p>①設計延長は 0.1km 毎とする。小数第 2 位は四捨五入する。</p> <p>②歩掛の補正は補間法によるものとし、以下に計算例を示す。</p> <p>例 1 設計延長 2.6km 全て明り区間の場合</p> <p>内訳 標準設計を使用 1.7km 標準設計を修正 0.8km 緩和曲線 0.1km</p> <p>設計計画 技師 A の場合</p> <p>標準設計を使用</p> <p>(2.0km) 1.5 人 - (1.0km) 1.0 人 = 0.5 人/km</p> <p>0.5 人/km × 0.7km + (1.0km) 1.0 人 = 1.35 人</p> <p>標準設計を修正</p> <p>(1.0km) 1.5 人 × 0.8km = 0.8 人</p> <p>緩和曲線</p> <p>(0.1km) 1.5 人</p>	新規追加

ページ	改 正	現 行
70	<p>9. 作業内容は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1) 及び2) 標準設計を使用 <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計画 割付計画 ② 設計図 割付図、緩衝工及び坑口から200m以内及び以奥の一般図 ③ 材料計算 コンクリート体積、型枠面積、鉄筋重量、目地材面積 ・3) 及び4) 標準設計を修正 <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計画 割付計画 ② 設計図 割付図、一般図、配筋図 ③ 材料計算 コンクリート体積、型枠面積、鉄筋重量、目地材面積 ・5) 及び6) 緩和曲線 <ul style="list-style-type: none"> ① 設計計画 路鉄・突起の高さ計算、割付計画 ② 設計図 路鉄・突起高さ一覧表、割付図、一般図、配筋図 ③ 材料計算 コンクリート体積、型枠面積、鉄筋重量、目地材面積 	<p><u>新規追加</u></p>

ページ	改正	現行																																																														
<p>新 93 旧 80</p>	<p>1-3 旅費交通費 旅費交通費の積算にあたっては、1-3-1 を原則適用する。ただし、現地条件等により、1-3-1 によりがたい場合や宿泊または滞在を伴う業務の場合は、1-3-2 を適用する。なお、1-3-1 によりがたい事象の発生や宿泊または滞在が生じ、業務の設計変更が生じた場合は、当初設計分も含めて 1-3-2 を適用する。</p> <p>1-3-1 旅費交通費の率を用いた積算 「土木設計業務」については、業務の直接人件費に対し、下表の率を乗じた額を旅費交通費として積算すること。 なお、率を適用する区分は積算標準に準拠する。 往復旅行時間にかかる直接人件費は積算上含まれているため、別途計上しない。 設計変更により業務が適用対象外となった場合、当初設計分も含め 1-3-2 を適用する。 同一業務の中で、複数区分（測量業務、地質調査業務、土木設計業務等）の積算を行う場合は、それぞれの区分の率を用いて算定すること。</p> <table border="1" data-bbox="388 705 1427 783"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>旅費交通費</th> <th>旅費交通費の上限（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木設計業務</td> <td>直接人件費の 0.63%</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 土木設計業務における旅費交通費の率は、打合せ、関係機関協議、現地作業（現地踏査を含む）の費用とする。</p> <p>1-3-2 旅費交通費の率を用いない積算 (1) 通勤及び宿泊・滞在の区分 ①通勤可能な目安は、積算上の基地から現地までの片道距離が 30km 程度（高速道路等を利用する場合は片道距離 60km 程度）もしくは片道所要時間 1 時間程度とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として、現地に最も近い指名業者の本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は、特定された業者が所在する市役所等とする。 なお、本支店等とは参加表明説明書等に記載されている本支店等を指し、市役所等とは市役所、町・村役場とし、特別区の場合は区役所を指す。 現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算する。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転費 1 日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 1291 1463 1442"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6 ℓ/h × ○h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン 1.5L</td> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転にかかる運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計上すること。</p> <p>②往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨特記仕様書等に明示するものとする。 ③上記①の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、別途定める宿泊費、日当によるものとする。</p>	区 分	旅費交通費	旅費交通費の上限（千円）	土木設計業務	直接人件費の 0.63%	244	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h × ○h	損 料	ライトバン 1.5L	H				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料	<p>1-3 旅費交通費 <u>一作業件名において、設計打合せに要する技術者の旅費交通費に計上される基準日額は直接人件費としてその他原価の対象とする。</u></p> <p>1-3-1 通勤及び宿泊の区分 (1) 通勤により業務を行う場合 <u>通勤により業務を行えるかどうかの判断は下記を目安とする。ここでいう積算上の基地とは、原則として、現地に最も近い指名業者の本支店等が所在する市役所等とする。なお、随意契約の場合は、特定された業者が所在する市役所等とする。</u> <u>なお、本支店等とは参加表明説明書等に記載されている本支店等を指し、市役所等とは市役所、町・村役場とし、特別区の場合は区役所を指す。</u> <u>また、現地での作業を伴う業務は連絡車（ライトバン）運転、その他の業務については公共交通機関を利用するものとして積算することを標準とする。</u></p> <p>① 積算上の基地から現地まで、連絡車（ライトバン）運転によるものとして積算する場合は、積算上の基地から現地までの片道距離が 30 km 程度（高速道路等を利用する場合は片道距離 60 km 程度）もしくは片道所要時間 1 時間程度等とする。</p> <p style="text-align: center;">連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費 1 日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1688 924 2721 1068"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>レギュラー</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.6ℓ/h × ○h</td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>ライトバン 1.5L</td> <td>H</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転時間当り損料</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>供用日当り損料</td> </tr> </tbody> </table> <p>連絡車（ライトバン）運転にかかる運転労務費は計上しない。 また、高速道路等の料金は別途計上すること。</p> <p>②往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨特記仕様書等に明示するものとする。</p> <p>(2) 現地に滞在して業務を行う場合 <u>上記 (1) の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、別途定める宿泊費、日当によるものとする。</u></p>	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6ℓ/h × ○h	損 料	ライトバン 1.5L	H				運転時間当り損料	〃	〃	日	1			供用日当り損料
区 分	旅費交通費	旅費交通費の上限（千円）																																																														
土木設計業務	直接人件費の 0.63%	244																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																										
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6 ℓ/h × ○h																																																										
損 料	ライトバン 1.5L	H				運転時間当り損料																																																										
〃	〃	日	1			供用日当り損料																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																										
ガソリン	レギュラー	ℓ				2.6ℓ/h × ○h																																																										
損 料	ライトバン 1.5L	H				運転時間当り損料																																																										
〃	〃	日	1			供用日当り損料																																																										

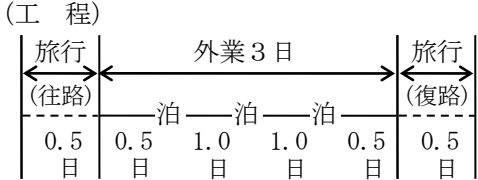
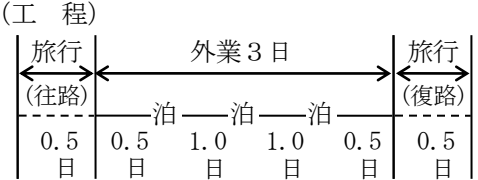
ページ	改正	現 行
新 93	(2) 旅費交通費の扱い	1-3-2 旅費交通費の扱い
新 94	①旅費交通費の算定において、普通日額旅費については積算上、計上しないものとする。	<u>(1) 旅費交通費</u> 旅費交通費の算定において、___日額旅費については積算上、計上しないものとする。
旧 80	②鉄道運賃等	<u>(2) 鉄道運賃等</u>
旧 81	②-1 鉄道運賃等については、その乗車に要する運賃を計上する。	① 鉄道運賃等については、その乗車に要する運賃を計上する。
	②-2 複数の路線がある場合は、安い方の運賃を計上する。	② 複数の路線がある場合は、安い方の運賃を計上する。
	②-3 特急料金等については、下記により計上するものとする。	③ 特急料金等については、下記により計上するものとする。
	1) 特急列車を運行している区間については、片道 100 km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。	1) 特急列車を運行している区間については、片道 100 km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。
	2) 急行列車を運行している区間については、片道 50 km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。	2) 急行列車を運行している区間については、片道 50 km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。
	③日当	<u>(3) 日当</u>
	日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。	日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。
	計上する日当については、2分の1日当を原則とする。	計上する日当については、2分の1日当を原則とする。
	1-3-3 旅費交通費の構成	1-3-3 旅費交通費の構成
	(1) 旅費交通費の計算	(1) 旅費交通費の計算
	旅費交通費 = (日当 + 交通費) + 宿泊料 × 必要日数	旅費交通費 = (日当 + 交通費) + 宿泊料 × 必要日数
	※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。	※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。

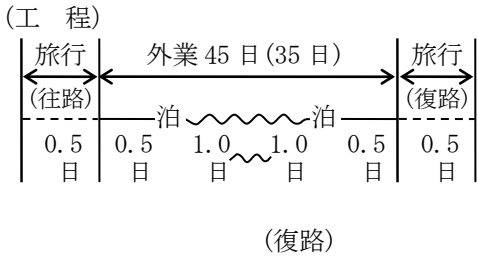
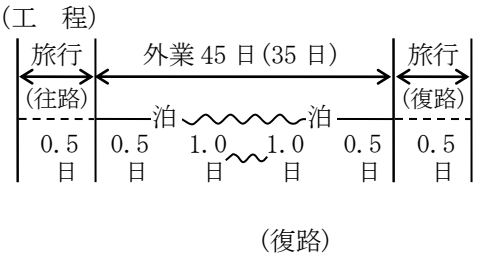
ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																																		
新 94 旧 81	<p>1-3-4 旅費交通費等の積算例（滞在時）</p> <p>(1) 旅費交通費の計算（技術者単価は、平成 31 年度単価を用いている）</p> <p>① 積算条件 業務内容：設計業務現場調査 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>技師A</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>技師B</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> <p>旅費交通費 = (基準日額 + 日当 + 鉄道運賃等) + 宿泊料 × 必要日数</p> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃 (片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350 円 × $\frac{100}{110} = 3,045$ 円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,481 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680 円 × $\frac{100}{110} = 2,436$ 円</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">宿泊費</th> <th colspan="2">日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 日まで</td> <td style="color: red;">11,000</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">2,440 (1,220)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">2,218 (1,109)</td> </tr> <tr> <td>16～30 日まで</td> <td style="color: red;">7,700</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30 日を超える</td> <td style="color: red;">5,500</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。() 内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td>技 師</td> <td>A</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,481</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>10,000</td> <td>×</td> <td>3</td> <td>=</td> <td style="color: red;">43,180 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>技 師</td> <td>B</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,481</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>10,000</td> <td>×</td> <td>3</td> <td>=</td> <td style="color: red;">43,180 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="14" style="text-align: center;">旅費交通費計 = 43,180 + 43,180 = 86,360 円</td> </tr> </table> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td>技師A</td> <td>=</td> <td>47,500</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td>47,500 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>技師B</td> <td>=</td> <td>39,100</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td>39,100 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 47,500 × 1 + 39,100 × 1 = 86,600 円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	技師A	1	3	3	技師B	1	3	3	鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350 円 × $\frac{100}{110} = 3,045$ 円	}	5,481 円		特急料金	2,680 円 × $\frac{100}{110} = 2,436$ 円	区 分	宿泊費		日当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	15 日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)	16～30 日まで	7,700	7,000	30 日を超える	5,500	5,000		技 師	A	=	1,109	×	2	+	5,481	×	2	+	10,000	×	3	=	43,180 円		技 師	B	=	1,109	×	2	+	5,481	×	2	+	10,000	×	3	=	43,180 円		旅費交通費計 = 43,180 + 43,180 = 86,360 円															技師A	=	47,500	×	1	=	47,500 円		技師B	=	39,100	×	1	=	39,100 円		往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 47,500 × 1 + 39,100 × 1 = 86,600 円							<p>1-3-4 旅費交通費等の積算例（滞在時）</p> <p>(1) 旅費交通費の計算（技術者単価は、平成 30 年度単価を用いている）</p> <p>① 積算条件 業務内容：設計業務現場調査 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>技師A</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>技師B</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> <p>旅費交通費 = (基準日額 + 日当 + 鉄道運賃等) + 宿泊料 × 必要日数</p> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃 (片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350 円 × $\frac{100}{108} = 3,101$ 円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,582 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680 円 × $\frac{100}{108} = 2,481$ 円</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">宿泊費</th> <th colspan="2">日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 日まで</td> <td style="color: red;">10,800</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">2,400 (1,200)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">2,222 (1,111)</td> </tr> <tr> <td>16～30 日まで</td> <td style="color: red;">7,560</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30 日を超える</td> <td style="color: red;">5,400</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。() 内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td>技 師</td> <td>A</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,582</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>10,000</td> <td>×</td> <td>3</td> <td>=</td> <td style="color: red;">43,386 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>技 師</td> <td>B</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,582</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>10,000</td> <td>×</td> <td>3</td> <td>=</td> <td style="color: red;">43,386 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="14" style="text-align: center;">旅費交通費計 = 43,386 + 43,386 = 86,772 円</td> </tr> </table> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td>技師A</td> <td>=</td> <td>46,300</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td>46,300 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>技師B</td> <td>=</td> <td>37,900</td> <td>×</td> <td>1</td> <td>=</td> <td>37,900 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 46,300 × 1 + 37,900 × 1 = 84,200 円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	技師A	1	3	3	技師B	1	3	3	鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350 円 × $\frac{100}{108} = 3,101$ 円	}	5,582 円		特急料金	2,680 円 × $\frac{100}{108} = 2,481$ 円	区 分	宿泊費		日当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	15 日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)	16～30 日まで	7,560	7,000	30 日を超える	5,400	5,000		技 師	A	=	1,111	×	2	+	5,582	×	2	+	10,000	×	3	=	43,386 円		技 師	B	=	1,111	×	2	+	5,582	×	2	+	10,000	×	3	=	43,386 円		旅費交通費計 = 43,386 + 43,386 = 86,772 円															技師A	=	46,300	×	1	=	46,300 円		技師B	=	37,900	×	1	=	37,900 円		往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 46,300 × 1 + 37,900 × 1 = 84,200 円						
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																	
技師A	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																	
技師B	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																	
鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350 円 × $\frac{100}{110} = 3,045$ 円	}	5,481 円																																																																																																																																																																																																																																
	特急料金	2,680 円 × $\frac{100}{110} = 2,436$ 円																																																																																																																																																																																																																																		
区 分	宿泊費		日当																																																																																																																																																																																																																																	
	宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																
15 日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)																																																																																																																																																																																																																																
16～30 日まで	7,700	7,000																																																																																																																																																																																																																																		
30 日を超える	5,500	5,000																																																																																																																																																																																																																																		
	技 師	A	=	1,109	×	2	+	5,481	×	2	+	10,000	×	3	=	43,180 円																																																																																																																																																																																																																				
	技 師	B	=	1,109	×	2	+	5,481	×	2	+	10,000	×	3	=	43,180 円																																																																																																																																																																																																																				
	旅費交通費計 = 43,180 + 43,180 = 86,360 円																																																																																																																																																																																																																																			
	技師A	=	47,500	×	1	=	47,500 円																																																																																																																																																																																																																													
	技師B	=	39,100	×	1	=	39,100 円																																																																																																																																																																																																																													
	往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 47,500 × 1 + 39,100 × 1 = 86,600 円																																																																																																																																																																																																																																			
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																	
技師A	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																	
技師B	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																	
鉄道運賃 (片道)	普通運賃	3,350 円 × $\frac{100}{108} = 3,101$ 円	}	5,582 円																																																																																																																																																																																																																																
	特急料金	2,680 円 × $\frac{100}{108} = 2,481$ 円																																																																																																																																																																																																																																		
区 分	宿泊費		日当																																																																																																																																																																																																																																	
	宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																
15 日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)																																																																																																																																																																																																																																
16～30 日まで	7,560	7,000																																																																																																																																																																																																																																		
30 日を超える	5,400	5,000																																																																																																																																																																																																																																		
	技 師	A	=	1,111	×	2	+	5,582	×	2	+	10,000	×	3	=	43,386 円																																																																																																																																																																																																																				
	技 師	B	=	1,111	×	2	+	5,582	×	2	+	10,000	×	3	=	43,386 円																																																																																																																																																																																																																				
	旅費交通費計 = 43,386 + 43,386 = 86,772 円																																																																																																																																																																																																																																			
	技師A	=	46,300	×	1	=	46,300 円																																																																																																																																																																																																																													
	技師B	=	37,900	×	1	=	37,900 円																																																																																																																																																																																																																													
	往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 46,300 × 1 + 37,900 × 1 = 84,200 円																																																																																																																																																																																																																																			

ページ	改正	現行																																																
12	<p>7-2 旅費交通費の構成 旅費の計算（15日以内） 旅費交通費＝（日当＋交通費）＋宿泊料×必要日数 ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>旅費の計算（16日以上） 旅費交通費＝（日当＋交通費）＋Σ（宿泊料（X）×必要日数） ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p style="text-align:center;">表 7-2</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">X</th> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">宿泊料</th> <th colspan="2">日 当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>15日まで</td> <td style="color:red">11,000</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">2,440 (1,220)</td> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">2,218 (1,109)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>16～30日まで</td> <td style="color:red">7,700</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>30日を超える</td> <td style="color:red">5,500</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。（ ）内適用。</p>	X	区 分	宿泊料		日 当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	A	15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)	B	16～30日まで	7,700	7,000	C	30日を超える	5,500	5,000	<p>7-2 旅費交通費の構成 旅費の計算（15日以内） 旅費交通費＝（日当＋交通費）＋宿泊料×必要日数 ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>旅費の計算（16日以上） 旅費交通費＝（日当＋交通費）＋Σ（宿泊料（X）×必要日数） ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p style="text-align:center;">表 7-2</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">X</th> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">宿泊料</th> <th colspan="2">日 当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>15日まで</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">10,800</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">2,400 (1,200)</td> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">2,222 (1,111)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>16～30日まで</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">7,560</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>30日を超える</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">5,400</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。（ ）内適用。</p>	X	区 分	宿泊料		日 当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	A	15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)	B	16～30日まで	7,560	7,000	C	30日を超える	5,400	5,000
X	区 分			宿泊料		日 当																																												
		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																													
A	15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)																																													
B	16～30日まで	7,700	7,000																																															
C	30日を超える	5,500	5,000																																															
X	区 分	宿泊料		日 当																																														
		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																													
A	15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)																																													
B	16～30日まで	7,560	7,000																																															
C	30日を超える	5,400	5,000																																															

ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																						
15	<p>8-2 旅費交通費積算例</p> <p>8-2-1 15日までの旅費計算（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 業務内容：現場照合 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>職種区分</th> <th>編成</th> <th>外業延所要日数</th> <th>宿泊日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師 A</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>技師 B</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>(工程)</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="text-align: center;">旅行 (往路)</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">旅行 (復路)</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> </tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>(2) 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 3,045円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,481円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 2,436円</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は表7-2参照</p> <p>(3) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px; font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>日当</th> <th>日数</th> <th>交通費</th> <th>往復</th> <th>宿泊料</th> <th>日数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師(A)</td> <td>= 1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,481</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>技師(B)</td> <td>= 1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,481</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,481</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td colspan="6">= 43,180 × 1 + 43,180 × 2 + 43,180 × 2</td> <td>= 215,900円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px; font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準日額</th> <th>移動日数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師(A)</td> <td>= 47,500</td> <td>× 1</td> <td>= 47,500円</td> </tr> <tr> <td>技師(B)</td> <td>= 39,100</td> <td>× 1</td> <td>= 39,100円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,400</td> <td>× 1</td> <td>= 26,400円</td> </tr> <tr> <td>往復旅行時間にかかる直接人件費計</td> <td colspan="2">= 47,500 × 1 + 39,100 × 2 + 26,400 × 2</td> <td>= 178,500円</td> </tr> </tbody> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	技師 A	1	3	3	技師 B	2	3	3	技術員	2	3	3	旅行 (往路)	0.5 日	泊	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	0.5 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	5,481円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		技師(A)	= 1,109	×2	+5,481	×2	+10,000	×3	= 43,180円	技師(B)	= 1,109	×2	+5,481	×2	+10,000	×3	= 43,180円	技術員	= 1,109	×2	+5,481	×2	+10,000	×3	= 43,180円	旅費交通費計	= 43,180 × 1 + 43,180 × 2 + 43,180 × 2						= 215,900円		基準日額	移動日数		技師(A)	= 47,500	× 1	= 47,500円	技師(B)	= 39,100	× 1	= 39,100円	技術員	= 26,400	× 1	= 26,400円	往復旅行時間にかかる直接人件費計	= 47,500 × 1 + 39,100 × 2 + 26,400 × 2		= 178,500円	<p>8-2 旅費交通費積算例</p> <p>8-2-1 15日までの旅費計算（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 業務内容：現場照合 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>職種区分</th> <th>編成</th> <th>外業延所要日数</th> <th>宿泊日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師 A</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>技師 B</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>(工程)</p> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="text-align: center;">旅行 (往路)</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">1.0 日</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">泊</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> <td style="text-align: center;">旅行 (復路)</td> <td style="text-align: center;">0.5 日</td> </tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>(2) 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 3,101円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,582円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 2,481円</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は表7-2参照</p> <p>(3) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px; font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>日当</th> <th>日数</th> <th>交通費</th> <th>往復</th> <th>宿泊料</th> <th>日数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師(A)</td> <td>= 1,111</td> <td>×2</td> <td>+5,582</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>技師(B)</td> <td>= 1,111</td> <td>×2</td> <td>+5,582</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 1,111</td> <td>×2</td> <td>+5,582</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td colspan="6">= 43,386 × 1 + 43,386 × 2 + 43,386 × 2</td> <td>= 216,930円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px; font-size: small;"> <thead> <tr> <th></th> <th>基準日額</th> <th>移動日数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技師(A)</td> <td>= 46,300</td> <td>× 1</td> <td>= 46,300円</td> </tr> <tr> <td>技師(B)</td> <td>= 37,900</td> <td>× 1</td> <td>= 37,900円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,200</td> <td>× 1</td> <td>= 26,200円</td> </tr> <tr> <td>往復旅行時間にかかる直接人件費計</td> <td colspan="2">= 46,300 × 1 + 37,900 × 2 + 26,200 × 2</td> <td>= 174,500円</td> </tr> </tbody> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	技師 A	1	3	3	技師 B	2	3	3	技術員	2	3	3	旅行 (往路)	0.5 日	泊	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	0.5 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	5,582円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		技師(A)	= 1,111	×2	+5,582	×2	+10,000	×3	= 43,386円	技師(B)	= 1,111	×2	+5,582	×2	+10,000	×3	= 43,386円	技術員	= 1,111	×2	+5,582	×2	+10,000	×3	= 43,386円	旅費交通費計	= 43,386 × 1 + 43,386 × 2 + 43,386 × 2						= 216,930円		基準日額	移動日数		技師(A)	= 46,300	× 1	= 46,300円	技師(B)	= 37,900	× 1	= 37,900円	技術員	= 26,200	× 1	= 26,200円	往復旅行時間にかかる直接人件費計	= 46,300 × 1 + 37,900 × 2 + 26,200 × 2		= 174,500円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																					
技師 A	1	3	3																																																																																																																																																																																																					
技師 B	2	3	3																																																																																																																																																																																																					
技術員	2	3	3																																																																																																																																																																																																					
旅行 (往路)	0.5 日	泊	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	0.5 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日																																																																																																																																																																																												
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	5,481円																																																																																																																																																																																																			
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円																																																																																																																																																																																																					
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																		
技師(A)	= 1,109	×2	+5,481	×2	+10,000	×3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																	
技師(B)	= 1,109	×2	+5,481	×2	+10,000	×3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																	
技術員	= 1,109	×2	+5,481	×2	+10,000	×3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																	
旅費交通費計	= 43,180 × 1 + 43,180 × 2 + 43,180 × 2						= 215,900円																																																																																																																																																																																																	
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																						
技師(A)	= 47,500	× 1	= 47,500円																																																																																																																																																																																																					
技師(B)	= 39,100	× 1	= 39,100円																																																																																																																																																																																																					
技術員	= 26,400	× 1	= 26,400円																																																																																																																																																																																																					
往復旅行時間にかかる直接人件費計	= 47,500 × 1 + 39,100 × 2 + 26,400 × 2		= 178,500円																																																																																																																																																																																																					
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																					
技師 A	1	3	3																																																																																																																																																																																																					
技師 B	2	3	3																																																																																																																																																																																																					
技術員	2	3	3																																																																																																																																																																																																					
旅行 (往路)	0.5 日	泊	0.5 日	泊	1.0 日	泊	1.0 日	0.5 日	泊	0.5 日	旅行 (復路)	0.5 日																																																																																																																																																																																												
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	5,582円																																																																																																																																																																																																			
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円																																																																																																																																																																																																					
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																		
技師(A)	= 1,111	×2	+5,582	×2	+10,000	×3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																	
技師(B)	= 1,111	×2	+5,582	×2	+10,000	×3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																	
技術員	= 1,111	×2	+5,582	×2	+10,000	×3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																	
旅費交通費計	= 43,386 × 1 + 43,386 × 2 + 43,386 × 2						= 216,930円																																																																																																																																																																																																	
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																						
技師(A)	= 46,300	× 1	= 46,300円																																																																																																																																																																																																					
技師(B)	= 37,900	× 1	= 37,900円																																																																																																																																																																																																					
技術員	= 26,200	× 1	= 26,200円																																																																																																																																																																																																					
往復旅行時間にかかる直接人件費計	= 46,300 × 1 + 37,900 × 2 + 26,200 × 2		= 174,500円																																																																																																																																																																																																					

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																				
16	<p>8-2-2 15日を超える旅費計算（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 業務内容：現地照合 積算上の基地～現地までの距離：210 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>技 師 A</td><td>1</td><td>35</td><td>35</td></tr> <tr><td>技 師 B</td><td>2</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>技 術 員</td><td>2</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>(2) 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,670円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 3,336円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,972円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,900円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 2,636円</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は表7-2参照</p> <p>(3) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>技 師 A</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,972</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> <td>×5</td> <td>=294,162円</td> </tr> <tr> <td>技 師 B</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,972</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> <td>×15</td> <td>=344,162円</td> </tr> <tr> <td>技 術 員</td> <td>=</td> <td>1,109</td> <td>×2</td> <td>+5,972</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> <td>×15</td> <td>=344,162円</td> </tr> <tr> <td colspan="9">旅費交通費計 = 294,162 × 1 + 344,162 × 2 + 344,162 × 2 = 1,670,810円</td> </tr> </table> <p>(4) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師（A）</td> <td>= 47,500</td> <td>× 1</td> <td>= 47,500円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 39,100</td> <td>× 1</td> <td>= 39,100円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,400</td> <td>× 1</td> <td>= 26,400円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 47,500 × 1 + 39,100 × 2 + 26,400 × 2 = 178,500円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	技 師 A	1	35	35	技 師 B	2	45	45	技 術 員	2	45	45	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{110}$	= 3,336円	}	5,972円		特急料金	2,900円 × $\frac{100}{110}$	= 2,636円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数	技 師 A	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000×15							+5,000	×5	=294,162円	技 師 B	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000×15							+5,000	×15	=344,162円	技 術 員	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000×15							+5,000	×15	=344,162円	旅費交通費計 = 294,162 × 1 + 344,162 × 2 + 344,162 × 2 = 1,670,810円										基準日額	移動日数		技師（A）	= 47,500	× 1	= 47,500円	技師（B）	= 39,100	× 1	= 39,100円	技術員	= 26,400	× 1	= 26,400円	<p>8-2-2 15日を超える旅費計算（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 業務内容：現地照合 積算上の基地～現地までの距離：210 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>技 師 A</td><td>1</td><td>35</td><td>35</td></tr> <tr><td>技 師 B</td><td>2</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>技 術 員</td><td>2</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>(2) 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,670円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 3,398円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">6,083円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,900円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 2,685円</td> </tr> </table> <p>日当・宿泊料は表7-2参照</p> <p>(3) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>技 師 A</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×2</td> <td>+6,083</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> <td>×5</td> <td>=294,388円</td> </tr> <tr> <td>技 師 B</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×2</td> <td>+6,083</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> <td>×15</td> <td>=344,388円</td> </tr> <tr> <td>技 術 員</td> <td>=</td> <td>1,111</td> <td>×2</td> <td>+6,083</td> <td>×2</td> <td>+10,000</td> <td>×15</td> <td>+7,000×15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+5,000</td> <td>×15</td> <td>=344,388円</td> </tr> <tr> <td colspan="9">旅費交通費計 = 294,388 × 1 + 344,388 × 2 + 344,388 × 2 = 1,671,940円</td> </tr> </table> <p>(4) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>移動日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師（A）</td> <td>= 46,300</td> <td>× 1</td> <td>= 46,300円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 37,900</td> <td>× 1</td> <td>= 37,900円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,200</td> <td>× 1</td> <td>= 26,200円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 46,300 × 1 + 37,900 × 2 + 26,200 × 2 = 174,500円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	技 師 A	1	35	35	技 師 B	2	45	45	技 術 員	2	45	45	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{108}$	= 3,398円	}	6,083円		特急料金	2,900円 × $\frac{100}{108}$	= 2,685円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数	技 師 A	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000×15							+5,000	×5	=294,388円	技 師 B	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000×15							+5,000	×15	=344,388円	技 術 員	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000×15							+5,000	×15	=344,388円	旅費交通費計 = 294,388 × 1 + 344,388 × 2 + 344,388 × 2 = 1,671,940円										基準日額	移動日数		技師（A）	= 46,300	× 1	= 46,300円	技師（B）	= 37,900	× 1	= 37,900円	技術員	= 26,200	× 1	= 26,200円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																			
技 師 A	1	35	35																																																																																																																																																																																																																																			
技 師 B	2	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
技 術 員	2	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{110}$	= 3,336円	}	5,972円																																																																																																																																																																																																																																	
	特急料金	2,900円 × $\frac{100}{110}$	= 2,636円																																																																																																																																																																																																																																			
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																														
技 師 A	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000×15																																																																																																																																																																																																																														
						+5,000	×5	=294,162円																																																																																																																																																																																																																														
技 師 B	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000×15																																																																																																																																																																																																																														
						+5,000	×15	=344,162円																																																																																																																																																																																																																														
技 術 員	=	1,109	×2	+5,972	×2	+10,000	×15	+7,000×15																																																																																																																																																																																																																														
						+5,000	×15	=344,162円																																																																																																																																																																																																																														
旅費交通費計 = 294,162 × 1 + 344,162 × 2 + 344,162 × 2 = 1,670,810円																																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																				
技師（A）	= 47,500	× 1	= 47,500円																																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	= 39,100	× 1	= 39,100円																																																																																																																																																																																																																																			
技術員	= 26,400	× 1	= 26,400円																																																																																																																																																																																																																																			
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																			
技 師 A	1	35	35																																																																																																																																																																																																																																			
技 師 B	2	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
技 術 員	2	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{108}$	= 3,398円	}	6,083円																																																																																																																																																																																																																																	
	特急料金	2,900円 × $\frac{100}{108}$	= 2,685円																																																																																																																																																																																																																																			
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																														
技 師 A	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000×15																																																																																																																																																																																																																														
						+5,000	×5	=294,388円																																																																																																																																																																																																																														
技 師 B	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000×15																																																																																																																																																																																																																														
						+5,000	×15	=344,388円																																																																																																																																																																																																																														
技 術 員	=	1,111	×2	+6,083	×2	+10,000	×15	+7,000×15																																																																																																																																																																																																																														
						+5,000	×15	=344,388円																																																																																																																																																																																																																														
旅費交通費計 = 294,388 × 1 + 344,388 × 2 + 344,388 × 2 = 1,671,940円																																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																				
技師（A）	= 46,300	× 1	= 46,300円																																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	= 37,900	× 1	= 37,900円																																																																																																																																																																																																																																			
技術員	= 26,200	× 1	= 26,200円																																																																																																																																																																																																																																			

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																				
10	<p>9. 旅費交通費積算例</p> <p>9-1 15日まで旅費計算（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>主任技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>技師（B）</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>技術員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: inline-block; text-align: center;"> <p>(工 程)</p>  </div> <p>(2) 交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 3,045円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">計 5,481円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 2,436円</td> </tr> </table> <p>(3) 日当・宿泊費</p> <p style="text-align: center;">表 9-1</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">技術者宿泊費</th> <th colspan="2">技術者日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊費</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td>11,000</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2,440 (1,220)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2,218 (1,109)</td> </tr> <tr> <td>16～30日まで</td> <td>7,700</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td>5,500</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。（ ）内適用</p> <p>(4) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">旅費交通費 = 43,180 + 43,180 + 43,180 = 129,540円</td> </tr> </table> <p>(5) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 53,800</td> <td>× 1</td> <td>= 53,800円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 39,100</td> <td>× 1</td> <td>= 39,100円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,400</td> <td>× 1</td> <td>= 26,400円</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 53,800 + 39,100 + 26,400 = 119,300円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	主任技師	1	3	3	技師（B）	1	3	3	技術員	1	3	3	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	計 5,481円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円	区 分	技術者宿泊費		技術者日当		宿泊費	消費税抜き	日当	消費税抜き	15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)	16～30日まで	7,700	7,000	30日を超える	5,500	5,000		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		主任技師	= 1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	技師（B）	= 1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	技術員	= 1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	旅費交通費 = 43,180 + 43,180 + 43,180 = 129,540円									基準日額	日数		主任技師	= 53,800	× 1	= 53,800円	技師（B）	= 39,100	× 1	= 39,100円	技術員	= 26,400	× 1	= 26,400円	往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 53,800 + 39,100 + 26,400 = 119,300円				<p>9. 旅費交通費積算例</p> <p>9-1 15日まで旅費計算（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 積算上の基地～現地までの距離：190 km</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>主任技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>技師（B）</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>技術員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: inline-block; text-align: center;"> <p>(工 程)</p>  </div> <p>(2) 交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,350円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 3,101円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">計 5,582円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,680円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 2,481円</td> </tr> </table> <p>(3) 日当・宿泊費</p> <p style="text-align: center;">表 9-2</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">技術者宿泊費</th> <th colspan="2">技術者日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊費</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td>10,800</td> <td>10,000</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2,400 (1,200)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2,222 (1,111)</td> </tr> <tr> <td>16～30日まで</td> <td>7,560</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td>5,400</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。（ ）内適用</p> <p>(4) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">旅費交通費 = 43,386 + 43,386 + 43,386 = 130,158円</td> </tr> </table> <p>(5) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 52,700</td> <td>× 1</td> <td>= 52,700円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 37,900</td> <td>× 1</td> <td>= 37,900円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,200</td> <td>× 1</td> <td>= 26,200円</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 52,700 + 37,900 + 26,200 = 116,800円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	主任技師	1	3	3	技師（B）	1	3	3	技術員	1	3	3	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	計 5,582円		特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円	区 分	技術者宿泊費		技術者日当		宿泊費	消費税抜き	日当	消費税抜き	15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)	16～30日まで	7,560	7,000	30日を超える	5,400	5,000		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		主任技師	= 1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	技師（B）	= 1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	技術員	= 1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	旅費交通費 = 43,386 + 43,386 + 43,386 = 130,158円									基準日額	日数		主任技師	= 52,700	× 1	= 52,700円	技師（B）	= 37,900	× 1	= 37,900円	技術員	= 26,200	× 1	= 26,200円	往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 52,700 + 37,900 + 26,200 = 116,800円			
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																			
主任技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	1	3	3																																																																																																																																																																																																																			
技術員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																			
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{110}$	= 3,045円	}	計 5,481円																																																																																																																																																																																																																	
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{110}$	= 2,436円																																																																																																																																																																																																																			
区 分	技術者宿泊費		技術者日当																																																																																																																																																																																																																			
	宿泊費	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																		
15日まで	11,000	10,000	2,440 (1,220)	2,218 (1,109)																																																																																																																																																																																																																		
16～30日まで	7,700	7,000																																																																																																																																																																																																																				
30日を超える	5,500	5,000																																																																																																																																																																																																																				
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																
主任技師	= 1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																															
技師（B）	= 1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																															
技術員	= 1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																															
旅費交通費 = 43,180 + 43,180 + 43,180 = 129,540円																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	日数																																																																																																																																																																																																																				
主任技師	= 53,800	× 1	= 53,800円																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	= 39,100	× 1	= 39,100円																																																																																																																																																																																																																			
技術員	= 26,400	× 1	= 26,400円																																																																																																																																																																																																																			
往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 53,800 + 39,100 + 26,400 = 119,300円																																																																																																																																																																																																																						
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																			
主任技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	1	3	3																																																																																																																																																																																																																			
技術員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																			
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円 × $\frac{100}{108}$	= 3,101円	}	計 5,582円																																																																																																																																																																																																																	
	特急料金	2,680円 × $\frac{100}{108}$	= 2,481円																																																																																																																																																																																																																			
区 分	技術者宿泊費		技術者日当																																																																																																																																																																																																																			
	宿泊費	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																		
15日まで	10,800	10,000	2,400 (1,200)	2,222 (1,111)																																																																																																																																																																																																																		
16～30日まで	7,560	7,000																																																																																																																																																																																																																				
30日を超える	5,400	5,000																																																																																																																																																																																																																				
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																
主任技師	= 1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																															
技師（B）	= 1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																															
技術員	= 1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																															
旅費交通費 = 43,386 + 43,386 + 43,386 = 130,158円																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	日数																																																																																																																																																																																																																				
主任技師	= 52,700	× 1	= 52,700円																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	= 37,900	× 1	= 37,900円																																																																																																																																																																																																																			
技術員	= 26,200	× 1	= 26,200円																																																																																																																																																																																																																			
往復旅行時間にかかる直接人件費計 = 52,700 + 37,900 + 26,200 = 116,800円																																																																																																																																																																																																																						

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																																																				
11	<p>9-2 15日を越える旅費計算（技術者単価は、平成31年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 積算上の基地～現地までの距離：210 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>主任技師</td><td>1</td><td>35</td><td>35</td></tr> <tr><td>技師（B）</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>技術員</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table>  <p>(2) 交通費</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,670円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 3,336円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">計 5,972円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,900円 × $\frac{100}{110}$</td> <td>= 2,636円</td> </tr> </table> <p>(3) 日当・宿泊料 日当・宿泊料は表9-1参照</p> <p>(4) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,972</td> <td>× 2</td> <td>+10,000</td> <td>× 15</td> <td>+7,000</td> <td>× 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+ 5,000</td> <td>× 5</td> <td>=294,162円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,972</td> <td>× 2</td> <td>+10,000</td> <td>× 15</td> <td>+7,000</td> <td>× 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+ 5,000</td> <td>× 15</td> <td>=344,162円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,972</td> <td>× 2</td> <td>+10,000</td> <td>× 15</td> <td>+7,000</td> <td>× 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+ 5,000</td> <td>× 15</td> <td>=344,162円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: center;">旅費交通費=294,162+344,162+344,162=982,486円</td> </tr> </table> <p>(5) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 53,800</td> <td>× 1</td> <td>=53,800円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 39,100</td> <td>× 1</td> <td>=39,100円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,400</td> <td>× 1</td> <td>=26,400円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計=53,800+39,100+26,400=119,300円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	主任技師	1	35	35	技師（B）	1	45	45	技術員	1	45	45	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{110}$	= 3,336円	}	計 5,972円		特急料金	2,900円 × $\frac{100}{110}$	= 2,636円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数	主任技師	= 1,109	× 2	+ 5,972	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15						+ 5,000	× 5	=294,162円		技師（B）	= 1,109	× 2	+ 5,972	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15						+ 5,000	× 15	=344,162円		技術員	= 1,109	× 2	+ 5,972	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15						+ 5,000	× 15	=344,162円		旅費交通費=294,162+344,162+344,162=982,486円										基準日額	日数		主任技師	= 53,800	× 1	=53,800円	技師（B）	= 39,100	× 1	=39,100円	技術員	= 26,400	× 1	=26,400円	<p>9-2 15日を越える旅費計算（技術者単価は、平成30年度単価を用いている）</p> <p>(1) 積算条件 積算上の基地～現地までの距離：210 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>主任技師</td><td>1</td><td>35</td><td>35</td></tr> <tr><td>技師（B）</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>技術員</td><td>1</td><td>45</td><td>45</td></tr> </table>  <p>(2) 交通費</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>鉄道運賃（片道）</td> <td>普通運賃</td> <td>3,670円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 3,398円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">計 6,083円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>2,900円 × $\frac{100}{108}$</td> <td>= 2,685円</td> </tr> </table> <p>(3) 日当・宿泊料 日当・宿泊料は表9-2参照</p> <p>(4) 旅費交通費</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>日当</td> <td>日数</td> <td>交通費</td> <td>往復</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> <td>宿泊料</td> <td>日数</td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 6,083</td> <td>× 2</td> <td>+10,000</td> <td>× 15</td> <td>+7,000</td> <td>× 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+ 5,000</td> <td>× 5</td> <td>=294,388円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 6,083</td> <td>× 2</td> <td>+10,000</td> <td>× 15</td> <td>+7,000</td> <td>× 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+ 5,000</td> <td>× 15</td> <td>=344,388円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 6,083</td> <td>× 2</td> <td>+10,000</td> <td>× 15</td> <td>+7,000</td> <td>× 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+ 5,000</td> <td>× 15</td> <td>=344,388円</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: center;">旅費交通費=294,388+344,388+344,388=983,164円</td> </tr> </table> <p>(5) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>基準日額</td> <td>日数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任技師</td> <td>= 52,700</td> <td>× 1</td> <td>=52,700円</td> </tr> <tr> <td>技師（B）</td> <td>= 37,900</td> <td>× 1</td> <td>=37,900円</td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>= 26,200</td> <td>× 1</td> <td>=26,200円</td> </tr> </table> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計=52,700+37,900+26,200=116,800円</p>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	主任技師	1	35	35	技師（B）	1	45	45	技術員	1	45	45	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{108}$	= 3,398円	}	計 6,083円		特急料金	2,900円 × $\frac{100}{108}$	= 2,685円		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数	主任技師	= 1,111	× 2	+ 6,083	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15						+ 5,000	× 5	=294,388円		技師（B）	= 1,111	× 2	+ 6,083	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15						+ 5,000	× 15	=344,388円		技術員	= 1,111	× 2	+ 6,083	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15						+ 5,000	× 15	=344,388円		旅費交通費=294,388+344,388+344,388=983,164円										基準日額	日数		主任技師	= 52,700	× 1	=52,700円	技師（B）	= 37,900	× 1	=37,900円	技術員	= 26,200	× 1	=26,200円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																			
主任技師	1	35	35																																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
技術員	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{110}$	= 3,336円	}	計 5,972円																																																																																																																																																																																																																																	
	特急料金	2,900円 × $\frac{100}{110}$	= 2,636円																																																																																																																																																																																																																																			
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																														
主任技師	= 1,109	× 2	+ 5,972	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15																																																																																																																																																																																																																														
					+ 5,000	× 5	=294,162円																																																																																																																																																																																																																															
技師（B）	= 1,109	× 2	+ 5,972	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15																																																																																																																																																																																																																														
					+ 5,000	× 15	=344,162円																																																																																																																																																																																																																															
技術員	= 1,109	× 2	+ 5,972	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15																																																																																																																																																																																																																														
					+ 5,000	× 15	=344,162円																																																																																																																																																																																																																															
旅費交通費=294,162+344,162+344,162=982,486円																																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	日数																																																																																																																																																																																																																																				
主任技師	= 53,800	× 1	=53,800円																																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	= 39,100	× 1	=39,100円																																																																																																																																																																																																																																			
技術員	= 26,400	× 1	=26,400円																																																																																																																																																																																																																																			
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																			
主任技師	1	35	35																																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
技術員	1	45	45																																																																																																																																																																																																																																			
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,670円 × $\frac{100}{108}$	= 3,398円	}	計 6,083円																																																																																																																																																																																																																																	
	特急料金	2,900円 × $\frac{100}{108}$	= 2,685円																																																																																																																																																																																																																																			
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																														
主任技師	= 1,111	× 2	+ 6,083	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15																																																																																																																																																																																																																														
					+ 5,000	× 5	=294,388円																																																																																																																																																																																																																															
技師（B）	= 1,111	× 2	+ 6,083	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15																																																																																																																																																																																																																														
					+ 5,000	× 15	=344,388円																																																																																																																																																																																																																															
技術員	= 1,111	× 2	+ 6,083	× 2	+10,000	× 15	+7,000	× 15																																																																																																																																																																																																																														
					+ 5,000	× 15	=344,388円																																																																																																																																																																																																																															
旅費交通費=294,388+344,388+344,388=983,164円																																																																																																																																																																																																																																						
	基準日額	日数																																																																																																																																																																																																																																				
主任技師	= 52,700	× 1	=52,700円																																																																																																																																																																																																																																			
技師（B）	= 37,900	× 1	=37,900円																																																																																																																																																																																																																																			
技術員	= 26,200	× 1	=26,200円																																																																																																																																																																																																																																			

ページ	改正	現行
<p>改1 現1・2</p>	<p>I. 現場技術業務委託</p> <p>1. 適用範囲 この積算基準は、鉄道建設に伴う現場技術業務を外注委託する場合に適用する。</p> <p>2. 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p> <pre> graph LR BC[業務委託料] --- CG[消費税相当額] BC --- BG[業務価格] BG --- GY[業務原価] BG --- GM[一般管理費等] GY --- KY[直接原価] GY --- KYA[間接原価] KY --- KYH[直接人件費] KY --- KYK[直接経費] KYK --- KYK1[事務用品費] KYK --- KYK2[旅費交通費等] KYK --- KYK3[業務用事務所損料、備品等] KYK --- KYK4[電算機使用経費] KYK --- KYK5[その他] KYA --- KYA1[その他原価] </pre> <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>① 直接人件費 直接人件費は、業務に従事する技術者の人件費とする。</p> <p>② 直接経費（積上計上分） 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次に掲げるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務用品費 2) 旅費交通費等（業務用自動車損料、燃料費及び運転手賃金含む） 3) 業務用事務室損料及び備品費等 4) 電算機使用経費 <p>③ 直接経費（積上計上するものを除く） 直接経費（積上計上分）以外の直接経費とする。</p> <p>(2) 間接原価 当該業務担当部署の事務職員の人件費および福利厚生費、水道光熱費等の経費とする。 ※その他原価は、直接経費（積上計上するものを除く）及び間接原価からなる。</p>	<p>I. 現場技術業務委託</p> <p>1. 適用範囲 この積算基準は、鉄道建設に伴う現場技術業務を外注委託する場合に適用する。</p> <p>2. 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p> <pre> graph LR BC[業務委託料] --- CG[消費税相当額] BC --- BG[業務価格] BG --- GY[業務原価] BG --- GM[※一般管理費等] GY --- KY[直接原価] GY --- KYA[間接原価] KY --- KYH[直接人件費] KY --- KYK[直接経費] KYK --- KYK1[事務用品費] KYK --- KYK2[旅費交通費] KYK --- KYK3[業務用自動車損料、燃料費及び運転手賃金等] KYK --- KYK4[業務用事務所損料、備品等] KYK --- KYK5[電算機使用経費] KYK --- KYK6[その他] KYA --- KYA1[※その他原価] </pre> <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>① 直接人件費 直接人件費は、業務処理（打合せを含む）に従事する技術者の人件費とする。</p> <p>② 直接経費 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次の1) から5) までに掲げるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務用品費 2) 旅費交通費 3) 業務用自動車損料、燃料費及び運転手賃金等 4) 業務用事務室損料及び備品費等 5) 電算機使用経費 <p>これ以外の経費については、その他原価として計上する。</p> <p>(2) その他原価 その他原価は、間接原価及び直接経費（積上計上するものを除く）からなる。</p> <p>① 間接原価 当該業務担当部署の部門管理者・事務職員の人件費、当該業務担当部署に係る地代家賃・賃借料・減価償却費・消耗品費・通信運搬費等、当該業務の業務原価のうち直接原価以外のものとする。</p> <p>(注) ※は定められた率による</p>

ページ	改正	現行				
改1 現2	<p>(3) 一般管理費等 業務を処理する建設コンサルタント等における経費のうち直接原価、間接原価以外の経費。一般管理費等は一般管理費及び付加利益よりなる。</p>	<p>(3) 一般管理費等 業務を処理する建設コンサルタント等における経費のうち直接原価、間接原価以外の経費。一般管理費等は一般管理費及び付加利益からなる。</p> <p>① 一般管理費 一般管理費は、建設コンサルタント等の当該業務担当部署以外の経費であって、役員報酬、従業員給与手当、退職金、法定福利費、福利厚生費、事務用品費、通信交通費、動力用水光熱費、広告宣伝費、交際費、寄付金、地代家賃、減価償却費、租税公課、保険料、雑費等を含む。</p> <p>② 付加利益 付加利益は、当該業務を実施する建設コンサルタント等を、継続的に運営するのに要する費用であって、法人税、地方税、株主配当金、役員賞与金、内部保留金、支払利息及び割引料、支払保証料、その他の営業外費用等を含む。</p>				
2	<p>(4) 消費税相当額 消費税相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとする。</p> <p>3. 業務委託料の積算 (1) 業務委託料の積算方式 業務委託料は、次の方式により積算するものとする。 業務委託料 = (業務価格) + (消費税相当額) = [(業務原価) + (一般管理費等)] + (消費税相当額) = [(直接人件費) + (直接経費) + (その他原価)] + (一般管理費等) + (消費税相当額)</p> <p>(2) 各構成費目の算定 ① 直接原価 (イ) 直接人件費 標準歩掛は以下のとおりである。</p>	<p>(4) 消費税相当額 消費税相当額は、消費税相当分とする。</p> <p>3. 業務委託料の積算 (1) 業務委託料の積算方法 業務委託料 = (業務価格) + (消費税相当額) = [(直接人件費) + (直接経費) + (その他原価)] + (一般管理費) × (1 + 消費税率)</p> <p>(2) 各構成費目の算定 ① 直接人件費 標準歩掛は以下のとおりである。</p>				
2	<p>(ロ) 直接経費 事務用品費、業務用事務室損料及び電算機使用経費は業務遂行上特に必要で内容説明書等に明記した場合に計上する。</p> <p>1) 事務用品費 特に必要がある場合に計上する。 なお、土木工事標準示方書その他現場に必要な専門図書は、その他原価に含まれる。</p> <p>2) 旅費交通費等 旅費交通費等に関する算定は土木関係積算標準・積算要領 6-5 (役務編) に準ずる。 なお、通勤により業務を行う場合は、直接人件費に対し、下記表の率を乗じた額を旅費交通費等として積算すること。 往復旅行時間にかかる直接人件費は積算上含まれているため、別途計上しない。</p> <table border="1" data-bbox="448 1688 1219 1766"> <tr> <td>旅費交通費等</td> <td>旅費交通費等の上限 (千円)</td> </tr> <tr> <td>直接人件費の 4.15%</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(注) 旅費交通費等の率は、打合せ、現地確認、段階確認、工事検査等への臨場の費用とする。</p>	旅費交通費等	旅費交通費等の上限 (千円)	直接人件費の 4.15%	—	<p>② 直接経費</p> <p>1) 事務用品費 事務用品費が必要となる場合に計上するものとする。その場合、業務遂行上特に必要で内容説明書等に明記した場合のみ計上する。 なお、土木工事標準示方書その他現場に必要な専門図書は、その他原価に含まれる。</p> <p>2) 旅費交通費 本業務は、本支店から業務場所まで通勤可能範囲を標準とするので、旅費交通費は計上しないものとする。 なお、上記によりがたい場合は、「役務関係技術者等の旅費交通費」により計上する。</p>
旅費交通費等	旅費交通費等の上限 (千円)					
直接人件費の 4.15%	—					

ページ	改 正	現 行
2・3	<p>3) 業務用事務室損料、備品等 発注者施設を無償使用する場合は計上しないものとする。</p> <p>4) 電算機使用経費 電算機リース料等が必要となる場合に計上するものとする。</p> <p>5) その他 電子成果品作成費が必要となる場合は、別途計上する。</p> <p>② その他原価 その他原価は、次式により算定した額とする。 (その他原価) = (直接人件費) × α / (1 - α) ただし、α は原価 (直接経費の積上計上分を除く) に占めるその他原価の割合であり、25%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>③ 一般管理費等 一般管理費等は次式により算定した額とする。 (一般管理費等) = (業務原価) × β / (1 - β) ただし、β は業務価格に占める一般管理費等の割合であり、35%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>(3) 変更の取扱い 業務委託の変更は、次の各号に基づいて行うものとし、機構積算書を基にして次の式により算出する。</p> $\text{変更業務委託料} = \text{変更積算金額} \times \frac{\text{直前の請負金額}}{\text{直前の積算金額}}$ <p>① 直接人件費は、業務内容の変更に応じて変更する。</p> <p>② 直接経費</p> <ol style="list-style-type: none"> 業務用自動車損料、燃料費及び運転手賃金等は、現地調査に業務用自動車を使用する場合において、調査箇所の増減、変更があった場合に変更を行うものとする。 旅費交通費は、業務内容の変更に伴い当初発注の旅費交通費が変わる場合に変更する。 <p>③ その他原価及び一般管理費等は、直接人件費の変更に伴い変更を行う。</p> <p>④ その他の業務委託料に関する算定については、必要に応じて、土木関係積算標準・積算要領 6-1 (標準・共通編) 及び 6-5 (役務編) を参考とする。</p>	<p>3) 現場業務用自動車 ア. 業務用自動車は、5人乗りライトバン (1500 cc) とする。 イ. 1日の運転時間は2時間とし、燃料及び運転時間当り損料は、当該時間、供用日当り損料は1日分を計上する。 ウ. 運転労務費は、現場技術員が直接運転するものとして計上しない。 エ. 運転対象日数は、19日/月とし、供用日数は、30日/月とする。</p> <p>4) 事務室損料 等 発注者施設を無償使用する場合は、計上しないものとする。</p> <p>5) 電算機使用経費 電算機リース料等が必要となる場合に計上するものとする。</p> <hr/> <p>③ その他原価 その他原価は、次式により算定した額とする。 (その他原価) = (直接人件費) × α / (1 - α) ただし、α は原価 (直接経費の積上計上分を除く) に占めるその他原価の割合であり、25%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>④ 一般管理費等 一般管理費等は次式により算定した額とする。 (一般管理費等) = (業務原価) × β / (1 - β) ただし、β は業務価格に占める一般管理費等の割合であり、35%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>⑤ 消費税相当額 消費税相当額は、業務価格に消費税率を乗じて得た額とする。</p> <p>(追加)</p>

ページ	改正	現行
4	<p>II. 非現業技術業務委託</p> <p>1. 適用範囲 この積算基準は、工事等の発注や設計変更等に係る資料作成、設計協議に係る資料及び議事録の作成等の作業を外注委託する場合に適用する。</p> <p>2. 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p> <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>① 直接人件費 直接人件費は、業務に従事する技術者の人件費とする。</p> <p>② 直接経費 (積上計上分) 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次に掲げるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務用品費 2) 旅費交通費等 (業務用自動車損料、燃料費及び運転手賃金含む) 3) 業務用事務室損料及び備品費等 4) 電算機使用経費 <p>③ 直接経費 (積上計上するものを除く) 直接経費 (積上計上分) 以外の直接経費とする。</p> <p>(2) 間接原価 当該業務担当部署の事務職員の人件費および福利厚生費、水道光熱費等の経費とする。 ※その他原価は、直接経費 (積上計上するものを除く) 及び間接原価からなる。</p> <p>(3) 一般管理費等 業務を処理する建設コンサルタント等における経費のうち直接原価、間接原価以外の経費。一般管理費等は一般管理費及び付加利益からなる。</p>	<p>II. 非現業技術業務委託</p> <p>1. 適用範囲 この積算基準は、工事等の発注や設計変更等に係る資料作成、設計協議に係る資料及び議事録の作成等の作業を外注委託する場合に適用する。</p> <p>2. 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p> <p>(注) ※は定められた率による</p> <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>① 直接人件費 直接人件費は、業務処理 (打合せを含む) に従事する技術者の人件費とする。</p> <p>② 直接経費 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次の 1) から 4) までに掲げるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務用品費 2) 旅費交通費 3) 業務用事務室損料及び備品費等 4) 電算機使用経費 <p>これ以外の経費については、その他原価として計上する。</p> <p>(2) その他原価 その他原価は、間接原価及び直接経費 (積上計上するものを除く) からなる。</p> <p>① 間接原価 当該業務担当部署の部門管理者・事務職員の人件費、当該業務担当部署に係る地代家賃・賃借料・減価償却費・消耗品費・通信運搬費等、当該業務の業務原価のうち直接原価以外のものとする。</p> <p>(3) 一般管理費等 業務を処理する建設コンサルタント等における経費のうち直接原価、間接原価以外の経費。一般管理費等は一般管理費及び付加利益からなる。</p>

ページ	改正	現行																																										
5	<p>(4) 消費税相当額 消費税相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとする。</p> <p>3. 業務委託料の積算</p> <p>(1) 業務委託料の積算方式 業務委託料は、次の方式により積算するものとする。 業務委託料 = (業務価格) + (消費税相当額) = [(業務原価) + (一般管理費等)] + (消費税相当額) = [(直接人件費) + (直接経費) + (その他原価)] + (一般管理費等) × (消費税相当額)</p> <p>(2) 各構成費目の算定</p> <p>① 直接原価</p> <p>(イ) 直接人件費 標準歩掛は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="418 743 1397 919"> <caption>(1ヶ月当り)</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">技師A</th> <th rowspan="2">技師C</th> <th rowspan="2">記 事</th> </tr> <tr> <th>内 容</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">技術業務委託</td> <td>管理技術者</td> <td>人</td> <td>○</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>必要人数</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 管理技術者は、技師Aを1ヶ月当り0.5人工を標準とする。 注2. 技術員の人工は、業務内容により査定するものとし、1人工当りの業務日数は1ヶ月当り19日を標準とする。 注3. 時間外手当は、必要により計上する。 時間外手当1時間当り = 基準賃金 × 1/8 × 125/100 × θ θ : 基準賃金に対する割増対象相当額の比率</p> <p>(ロ) 直接経費 事務用品費、業務用事務室損料及び電算機使用経費は業務遂行上特に必要で内容説明書等に明記した場合に計上する。</p> <p>1) 事務用品費 特に必要がある場合に計上する。 なお、土木工事標準示方書その他必要な専門図書は、その他原価に含まれる。</p> <p>2) 旅費交通費等 旅費交通費等に関する算定は「役務関係技術者等の旅費交通費」に準ずる。 なお、通勤により業務を行う場合は、直接人件費に対し、下記表の率を乗じた額を旅費交通費等として積算すること。 往復旅行時間にかかる直接人件費は積算上含まれているため、別途計上しない。</p> <table border="1" data-bbox="448 1570 1219 1650"> <thead> <tr> <th>旅費交通費等</th> <th>旅費交通費等の上限 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接人件費の0.63%</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 旅費交通費等の率は、打合せ、現地確認の費用とする</p> <p>3) 業務用事務室損料、備品等 発注者施設を無償使用する場合は、計上しないものとする。</p> <p>4) 電算機使用経費 電算機リース料等が必要となる場合に計上するものとする。</p>	職 種		単位	技師A	技師C	記 事	内 容	単位	技術業務委託	管理技術者	人	○	—		技術員	人	—	必要人数		旅費交通費等	旅費交通費等の上限 (千円)	直接人件費の0.63%	244	<p>① 一般管理費 一般管理費は、建設コンサルタント等の当該業務担当部署以外の経費であって、役員報酬、従業員給与手当、退職金、法定福利費、福利厚生費、事務用品費、通信交通費、動力用水光熱費、広告宣伝費、交際費、寄付金、地代家賃、減価償却費、租税公課、保険料、雑費等を含む。</p> <p>② 付加利益 付加利益は、当該業務を実施する建設コンサルタント等を、継続的に運営するのに要する費用であって、法人税、地方税、株主配当金、役員賞与金、内部保留金、支払利息及び割引料、支払保証料、その他の営業外費用等を含む。</p> <p>(4) 消費税相当額 消費税相当額は、消費税 _____ 相当分とする。</p> <p>3. 業務委託料の積算</p> <p>(1) 業務委託料の積算方法 業務委託料 = (業務価格) + (消費税相当額) = [(直接人件費) + (直接経費) + (その他原価)] + (一般管理費) × (1 + 消費税率)</p> <p>(2) 各構成費目の算定</p> <p>① 直接人件費 標準歩掛は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1679 995 2659 1171"> <caption>(1ヶ月当り)</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">技師A</th> <th rowspan="2">技師C</th> <th rowspan="2">記 事</th> </tr> <tr> <th>内 容</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">技術業務委託</td> <td>管理技術者</td> <td>人</td> <td>○</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>技術員</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>必要人数</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 管理技術者は、技師Aを1ヶ月当り0.5人工を標準とする。 注2. 技術員の人工は、業務内容により査定するものとし、1人工当りの業務日数は1ヶ月当り19日を標準とする。 注3. 時間外手当は、必要により計上する。 時間外手当1時間当り = 基準賃金 × 1/8 × 125/100 × θ θ : 基準賃金に対する割増対象相当額の比率</p> <p>② 直接経費 事務用品費、業務用事務室損料及び電算機使用経費は業務遂行上特に必要で内容説明書等に明記した場合のみ計上する。</p> <p>1) 事務用品費 事務用品費が必要となる場合に計上するものとする。 なお、土木工事標準示方書その他必要な専門図書等は、その他原価に含まれる。</p> <p>2) 旅費交通費 本業務は、本支店から業務場所まで通勤可能範囲を標準とするので、交通費は計上しないものとする。 現地調査及び現地立会について、「役務関係技術者等の旅費交通費」を準用するものとする。</p> <p>3) 業務用事務室損料 _____ 等 発注者施設を無償使用する場合は、計上しないものとする。</p> <p>4) 電算機使用経費 電算機リース料等が必要となる場合に計上するものとする。</p>	職 種		単位	技師A	技師C	記 事	内 容	単位	技術業務委託	管理技術者	人	○	—		技術員	人	—	必要人数	
職 種		単位	技師A					技師C	記 事																																			
内 容	単位																																											
技術業務委託	管理技術者	人	○	—																																								
	技術員	人	—	必要人数																																								
旅費交通費等	旅費交通費等の上限 (千円)																																											
直接人件費の0.63%	244																																											
職 種		単位	技師A	技師C	記 事																																							
内 容	単位																																											
技術業務委託	管理技術者	人	○	—																																								
	技術員	人	—	必要人数																																								

ページ	改 正	現 行
6	<p>5) その他 電子成果品作成費が必要となる場合は、別途計上する。</p> <p>② その他原価 その他原価は、次式により算定した額とする。 (その他原価) = (直接人件費) × α / (1 - α) ただし、αは原価(直接経費の積上計上分を除く)に占めるその他原価の割合であり、25%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>③ 一般管理費等 一般管理費等は次式により算定した額とする。 (一般管理費等) = (業務原価) × β / (1 - β) ただし、βは業務価格に占める一般管理費等の割合であり、35%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>(3) 変更の取扱い 業務委託の変更は、次の各号に基づいて行うものとし、機構積算書を基にして次の式により算出する。</p> $\text{変更業務委託料} = \text{変更積算金額} \times \frac{\text{直前の請負金額}}{\text{直前の積算金額}}$ <p>① 直接人件費は、業務内容の変更に応じて変更する。 ② 直接経費 1) 業務用自動車損料、燃料費及び運転手賃金等は、現地調査に業務用自動車を使用する場合において、調査箇所の増減、変更があった場合に変更を行うものとする。 2) 旅費交通費は、業務内容の変更に伴い当初発注の旅費交通費が変わる場合に変更する。 ③ その他原価及び一般管理費等は、直接人件費の変更に伴い変更を行う。 ④ その他の業務委託料に関する算定については、必要に応じて、土木関係積算標準・積算要領 6-1 (標準・共通編) 及び 6-5 (役務編) を参考とする。</p>	<p>5) その他 1) ~4) のほか、<u>電子成果品作成費が必要な場合は、別途計上するものとし、その他の費用については、その他原価として計上する。</u></p> <p>③ その他原価 その他原価は、次式により算定した額とする。 (その他原価) = (直接人件費) × α / (1 - α) ただし、αは原価(直接経費の積上計上分を除く)に占めるその他原価の割合であり、25%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>④ 一般管理費等 一般管理費等は次式により算定した額とする。 (一般管理費等) = (業務原価) × β / (1 - β) ただし、βは業務価格に占める一般管理費等の割合であり、35%とする。また、経費を算出する際の係数の値は、パーセント表示の小数第3位を四捨五入して第2位止めとする。</p> <p>⑤ <u>消費税相当額</u> <u>消費税相当額は、業務価格に消費税率を乗じて得た額とする。</u></p> <p>(3) 変更の取扱い</p> <hr/> <p>① 直接人件費は業務内容(業務対象工事件数等)の変更に応じて変更する。 ② 直接経費</p> <hr/> <p>1) 旅費交通費は、業務内容の変更に伴い当初発注の旅費交通費が変わる場合に変更する。 ③ その他原価及び一般管理費等は、直接人件費の変更に伴い変更を行う。</p> <hr/>

ページ	改正	現行																																																																																																																																																																																																																																																								
6	<p>2-5-1 旅費交通費の構成 (1) 旅費交通費の計算 旅費交通費 = (日当 + 交通費) + 宿泊料 × 必要日数 ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>2-5-2 旅費交通費積算例 (1) 15日までの旅費計算 (技術者単価は、平成31年度単価を用いている)</p> <p>① 積算条件 業務内容 : 地質調査業務 積算上の基地～現地までの距離 : 190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工程)</p> <p>移動日数 0.5日 + 0.5日 = 1.0日 (往路) (復路)</p> </div> <div style="flex: 1;"> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p>(工程)</p> <p>移動日数 0.5日 + 0.5日 = 1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>鉄道運賃 (片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>$3,350 \text{円} \times \frac{100}{110} = 3,045 \text{円}$</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,481円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>$2,680 \text{円} \times \frac{100}{110} = 2,436 \text{円}$</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">宿泊費</th> <th colspan="2">日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td>11,000</td> <td>10,000</td> <td>2,440</td> <td>2,218</td> </tr> <tr> <td>16～30日まで</td> <td>7,700</td> <td>7,000</td> <td>(1,220)</td> <td>(1,109)</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td>5,500</td> <td>5,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。()内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th></th> <th>日当</th> <th>日数</th> <th>交通費</th> <th>往復</th> <th>宿泊料</th> <th>日数</th> <th></th> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>1,109</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,481</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,180円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 43,180 + 43,180 + 43,180 = 129,540円</td> </tr> </table> <p>④ 往復旅行時間にかかる直接人件費 (参考)</p> <table style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th></th> <th>基準日額</th> <th>移動日数</th> <th></th> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>45,400</td> <td>× 1</td> <td>= 45,400円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>34,200</td> <td>× 1</td> <td>= 34,200円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>24,500</td> <td>× 1</td> <td>= 24,500円</td> </tr> <tr> <td>往復旅行時間にかかる直接人件費計</td> <td></td> <td></td> <td>= 45,400 × 1 + 34,200 × 1 + 24,500 × 1 = 104,100円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	3	3	主任地質調査員	1	3	3	地質調査員	1	3	3	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	3	3	主任地質調査員	1	3	3	地質調査員	1	3	3	鉄道運賃 (片道)	普通運賃	$3,350 \text{円} \times \frac{100}{110} = 3,045 \text{円}$	}	5,481円		特急料金	$2,680 \text{円} \times \frac{100}{110} = 2,436 \text{円}$	区分	宿泊費		日当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	15日まで	11,000	10,000	2,440	2,218	16～30日まで	7,700	7,000	(1,220)	(1,109)	30日を超える	5,500	5,000				日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		地質調査技師	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	主任地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円	旅費交通費計							= 43,180 + 43,180 + 43,180 = 129,540円		基準日額	移動日数		地質調査技師	45,400	× 1	= 45,400円	主任地質調査員	34,200	× 1	= 34,200円	地質調査員	24,500	× 1	= 24,500円	往復旅行時間にかかる直接人件費計			= 45,400 × 1 + 34,200 × 1 + 24,500 × 1 = 104,100円	<p>2-5-1 旅費交通費の構成 (1) 旅費交通費の計算 旅費交通費 = (日当 + 交通費) + 宿泊料 × 必要日数 ※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>2-5-2 旅費交通費積算例 (1) 15日までの旅費計算 (技術者単価は、平成30年度単価を用いている)</p> <p>① 積算条件 業務内容 : 地質調査業務 積算上の基地～現地までの距離 : 190 km</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>(工程)</p> <p>移動日数 0.5日 + 0.5日 = 1.0日 (往路) (復路)</p> </div> <div style="flex: 1;"> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr><th>職種区分</th><th>編成</th><th>外業延所要日数</th><th>宿泊日数</th></tr> <tr><td>地質調査技師</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>主任地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>地質調査員</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p>(工程)</p> <p>移動日数 0.5日 + 0.5日 = 1.0日 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p>② 交通費・日当・宿泊料</p> <table style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>鉄道運賃 (片道)</td> <td>普通運賃</td> <td>$3,350 \text{円} \times \frac{100}{108} = 3,101 \text{円}$</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">5,582円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特急料金</td> <td>$2,680 \text{円} \times \frac{100}{108} = 2,481 \text{円}$</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">宿泊費</th> <th colspan="2">日当</th> </tr> <tr> <th>宿泊料</th> <th>消費税抜き</th> <th>日当</th> <th>消費税抜き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15日まで</td> <td>10,800</td> <td>10,000</td> <td>2,400</td> <td>2,222</td> </tr> <tr> <td>16～30日まで</td> <td>7,560</td> <td>7,000</td> <td>(1,200)</td> <td>(1,111)</td> </tr> <tr> <td>30日を超える</td> <td>5,400</td> <td>5,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。()内適用。</p> <p>③ 旅費交通費</p> <table style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th></th> <th>日当</th> <th>日数</th> <th>交通費</th> <th>往復</th> <th>宿泊料</th> <th>日数</th> <th></th> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>1,111</td> <td>× 2</td> <td>+ 5,582</td> <td>× 2</td> <td>+ 10,000</td> <td>× 3</td> <td>= 43,386円</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>= 43,386 + 43,386 + 43,386 = 130,158円</td> </tr> </table> <p>⑤ 往復旅行時間にかかる直接人件費 (参考)</p> <table style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th></th> <th>基準日額</th> <th>移動日数</th> <th></th> </tr> <tr> <td>地質調査技師</td> <td>42,900</td> <td>× 1</td> <td>= 42,900円</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>33,800</td> <td>× 1</td> <td>= 33,800円</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>23,500</td> <td>× 1</td> <td>= 23,500円</td> </tr> <tr> <td>往復旅行時間にかかる直接人件費計</td> <td></td> <td></td> <td>= 42,900 × 1 + 33,800 × 1 + 23,500 × 1 = 100,200円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	3	3	主任地質調査員	1	3	3	地質調査員	1	3	3	職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数	地質調査技師	1	3	3	主任地質調査員	1	3	3	地質調査員	1	3	3	鉄道運賃 (片道)	普通運賃	$3,350 \text{円} \times \frac{100}{108} = 3,101 \text{円}$	}	5,582円		特急料金	$2,680 \text{円} \times \frac{100}{108} = 2,481 \text{円}$	区分	宿泊費		日当		宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き	15日まで	10,800	10,000	2,400	2,222	16～30日まで	7,560	7,000	(1,200)	(1,111)	30日を超える	5,400	5,000				日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数		地質調査技師	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	主任地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円	旅費交通費計							= 43,386 + 43,386 + 43,386 = 130,158円		基準日額	移動日数		地質調査技師	42,900	× 1	= 42,900円	主任地質調査員	33,800	× 1	= 33,800円	地質調査員	23,500	× 1	= 23,500円	往復旅行時間にかかる直接人件費計			= 42,900 × 1 + 33,800 × 1 + 23,500 × 1 = 100,200円
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
主任地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
主任地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
鉄道運賃 (片道)	普通運賃	$3,350 \text{円} \times \frac{100}{110} = 3,045 \text{円}$	}	5,481円																																																																																																																																																																																																																																																						
	特急料金	$2,680 \text{円} \times \frac{100}{110} = 2,436 \text{円}$																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	宿泊費		日当																																																																																																																																																																																																																																																							
	宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																																						
15日まで	11,000	10,000	2,440	2,218																																																																																																																																																																																																																																																						
16～30日まで	7,700	7,000	(1,220)	(1,109)																																																																																																																																																																																																																																																						
30日を超える	5,500	5,000																																																																																																																																																																																																																																																								
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																																				
地質調査技師	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																																			
主任地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																																			
地質調査員	1,109	× 2	+ 5,481	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,180円																																																																																																																																																																																																																																																			
旅費交通費計							= 43,180 + 43,180 + 43,180 = 129,540円																																																																																																																																																																																																																																																			
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																								
地質調査技師	45,400	× 1	= 45,400円																																																																																																																																																																																																																																																							
主任地質調査員	34,200	× 1	= 34,200円																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査員	24,500	× 1	= 24,500円																																																																																																																																																																																																																																																							
往復旅行時間にかかる直接人件費計			= 45,400 × 1 + 34,200 × 1 + 24,500 × 1 = 104,100円																																																																																																																																																																																																																																																							
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
主任地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
職種区分	編成	外業延所要日数	宿泊日数																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査技師	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
主任地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査員	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																							
鉄道運賃 (片道)	普通運賃	$3,350 \text{円} \times \frac{100}{108} = 3,101 \text{円}$	}	5,582円																																																																																																																																																																																																																																																						
	特急料金	$2,680 \text{円} \times \frac{100}{108} = 2,481 \text{円}$																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	宿泊費		日当																																																																																																																																																																																																																																																							
	宿泊料	消費税抜き	日当	消費税抜き																																																																																																																																																																																																																																																						
15日まで	10,800	10,000	2,400	2,222																																																																																																																																																																																																																																																						
16～30日まで	7,560	7,000	(1,200)	(1,111)																																																																																																																																																																																																																																																						
30日を超える	5,400	5,000																																																																																																																																																																																																																																																								
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	日数																																																																																																																																																																																																																																																				
地質調査技師	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																																			
主任地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																																			
地質調査員	1,111	× 2	+ 5,582	× 2	+ 10,000	× 3	= 43,386円																																																																																																																																																																																																																																																			
旅費交通費計							= 43,386 + 43,386 + 43,386 = 130,158円																																																																																																																																																																																																																																																			
	基準日額	移動日数																																																																																																																																																																																																																																																								
地質調査技師	42,900	× 1	= 42,900円																																																																																																																																																																																																																																																							
主任地質調査員	33,800	× 1	= 33,800円																																																																																																																																																																																																																																																							
地質調査員	23,500	× 1	= 23,500円																																																																																																																																																																																																																																																							
往復旅行時間にかかる直接人件費計			= 42,900 × 1 + 33,800 × 1 + 23,500 × 1 = 100,200円																																																																																																																																																																																																																																																							